SHOGAKUKAN

呂后君臨

史記

横山光輝

13

CHINESE HISTORY [SHIKI]

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS

BGC BIG GOLD COMICS

BGC BIG GOLD COMICS

史記 13

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS CHINESE HISTORY [SHIKI]

小学館

9784091891938

1910379006703

ISBN4-09-189193-4

C0379 P670E

定価670円
(本体650円)

BGC BIG GOLD COMICS

CHINESE HISTORY [SHIKI]

ポスト秦をめぐる項羽VS劉邦の戦いは、ようやく終わりを告げた。
しかし、あれほど人々が切望し、目指した世の平和は、
漢の天下統一によっても、ほんのわずかな期間であった……。
陰謀、讒言により憤死した韓信、戦いの傷により世を去った劉邦、
常に劉邦の陰としての一生を終えた蕭何。これによって権力を握った
呂后の、劉一族に対するすさまじい復讐劇の幕が切って落とされた!!

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PROFILE

昭和29年に「音無しの剣」でデビュー。「鉄人28号」「おてんば天使」「伊賀の影丸」等で不動の地位を確立する。昭和42年より「水滸伝」を連載、さらに昭和46年からライフワークともいえる「三国志」の連載を開始する。「バビル2世」「時の行者」等、SFの傑作も多い。「史記」は、古代中国史全体を見極めようとする新しいライフワークだ。

BGC
BIG GOLD COMICS
ビッグゴールド・コミックス

史記①～⑬……………………横山光輝
平成野球草子①～⑨………水島新司
妖怪博士の朝食　全4巻…水木しげる
ゼンマイ仕掛けの犯罪白書　全2巻　……青柳裕介
青柳裕介作品集①～②……青柳裕介
ケースハード①～⑥　………松本零士
アトンの娘　全3巻………里中満智子
博愛の人　全8巻………ジョージ秋山
齋藤なずな作品集①～②……齋藤なずな
紅にほふ　全3巻　…………竹宮惠子
トワイライト・ミュージアム　……………岡崎二郎
理想宮　全2巻………………畑中　純
HATAGO〈旅籠〉全2巻　…石ノ森章太郎
石ノ森版立川文庫①～③　…石ノ森章太郎
心の迷宮①～②……………近藤ようこ
ワールド漂流記　全1巻………藤子不二雄Ⓐ
たらちねストリート　全2巻　…画家哲郎&高井研一郎
野性伝説①～②　戸川幸夫&矢口高雄
無限海漂流記①～②………松本零士
職人尽百景①……………村野守美
新・藩翰譜　森一族①　……久保田千太郎&ほんまりう

以下続刊!!

SHOGAKUKAN

呂后君臨

史記

横山光輝

13

BIG GOLD COMICS

BIG GOLD COMICS

史記

13

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS /CHINESE HISTORY[SHIKI]

小学館

BIG GOLD COMICS

CHINESE HISTORY[SHIKI]

SHOGAKUKAN

呂后君臨

史記

横山光輝

⑬

BGC
BIG GOLD COMICS

史記⑬呂后君臨

目次

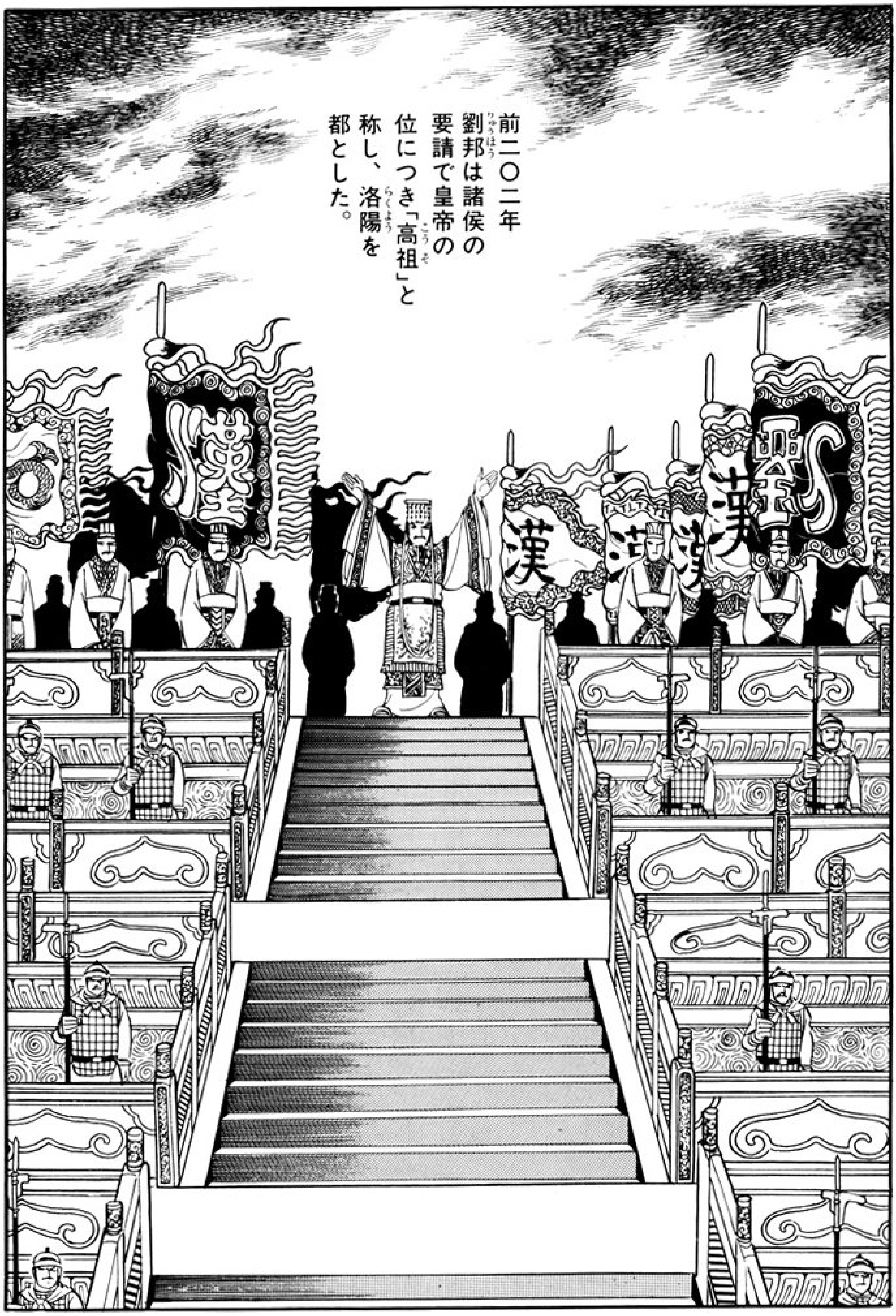
CHINESE HISTORY [SHIKI]

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS

第1話 淮陰侯韓信……5
第2話 禍、これより始まらん……65
第3話 後継者争い……125
第4話 呂后専横……187

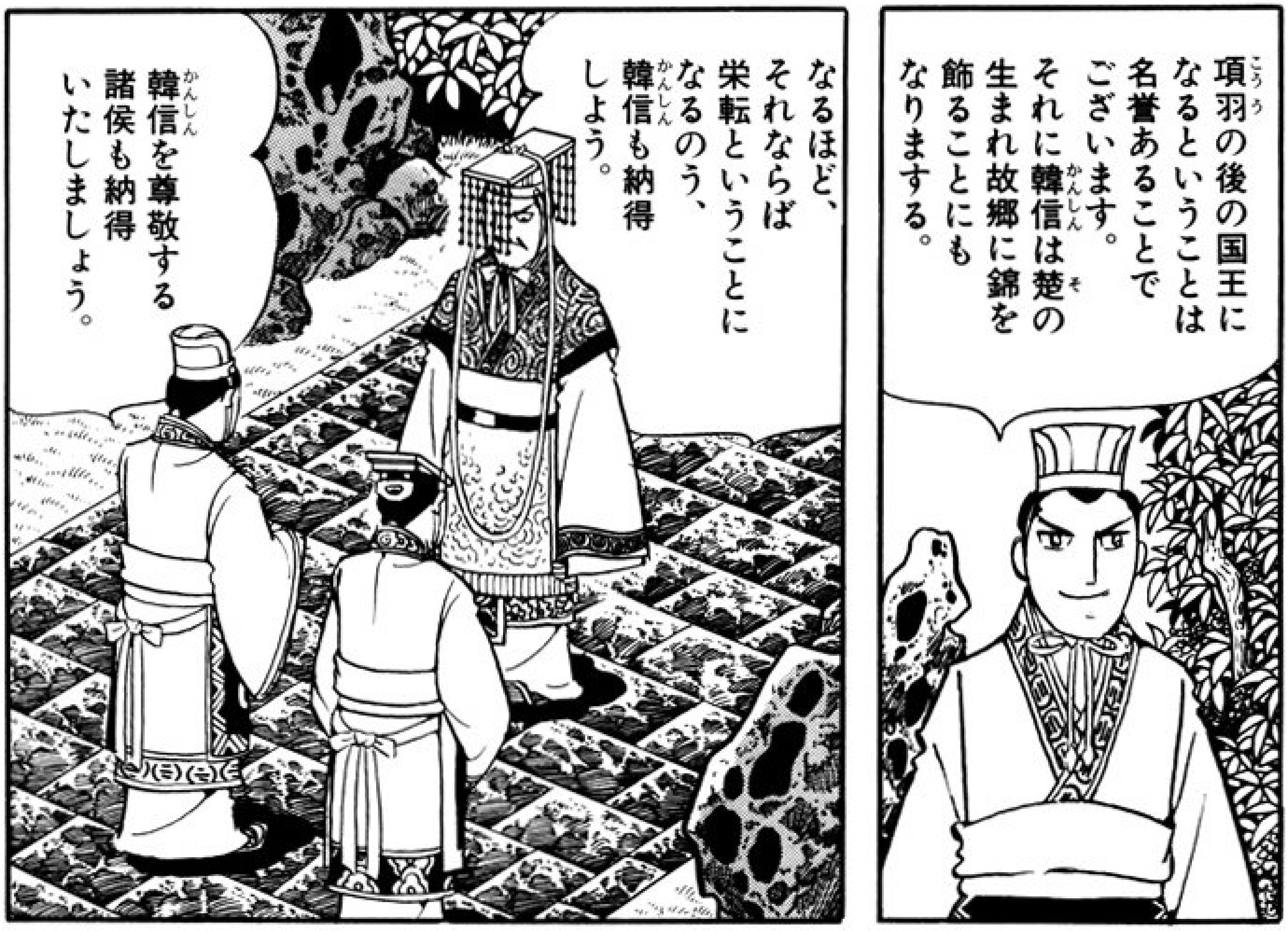
第1話

淮陰侯韓信


前二〇二年劉邦は諸侯の要請で皇帝の位につき「高祖」と称し、洛陽を都とした。
漢
漢
漢

のうこれから論功行賞を決めねばならんが、わしが悩んでいるのは韓信だ。
韓信の斉王になにか異存がござりまするか？

韓信は自分で
斉王の地位を求め
項羽との戦いに
参加しなくなった。
韓信が出陣したのは
陳以東、海岸に
いたるまでの楚領を
与えると約束した
からだ。
これでは
領土が大きすぎるし、
斉は七十余城をもつ
要害の地だ。
ここで変な野心を
もたれたら
項羽以上のやっかいな
存在となる。
といって
韓信を変な
土地に国替え
させれば韓信は
納得すまい。
陛下は
韓信を
恐れておられる。
………
陛下のお気持ちは
よくわかりました。
それならば
楚王になされては
いかがにございます。
斉にわけ与えた分
楚領はせまく
なっております。
楚王にのう。



項羽の後の国王になるということは名誉あることでございます。それに韓信は楚の生まれ故郷に錦を飾ることにもなりまする。
なるほど、それならば栄転ということになるのう、韓信も納得しよう。
韓信を尊敬する諸侯も納得いたしましょう。

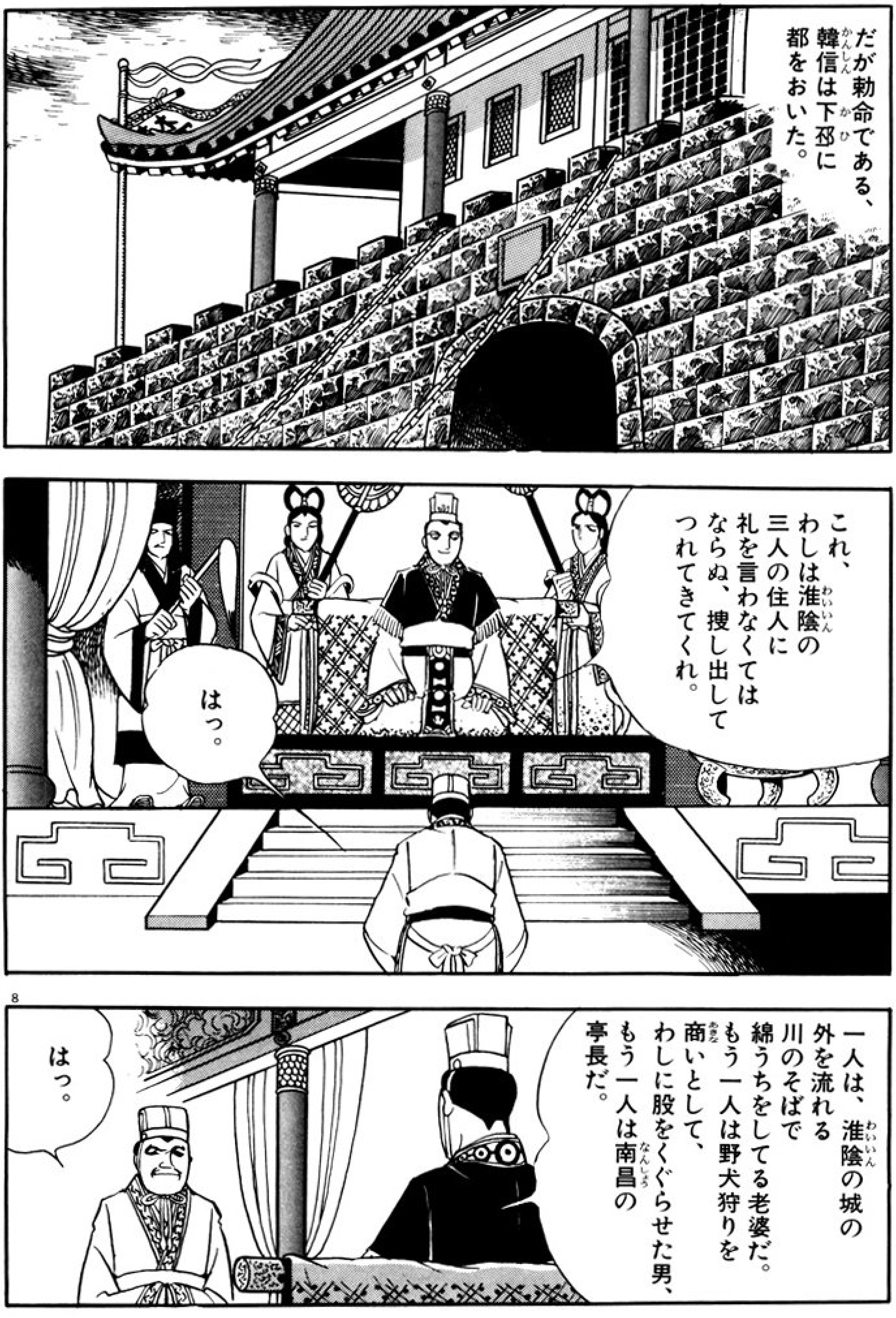
よし、すぐに韓信をよべ。
ははーっ。

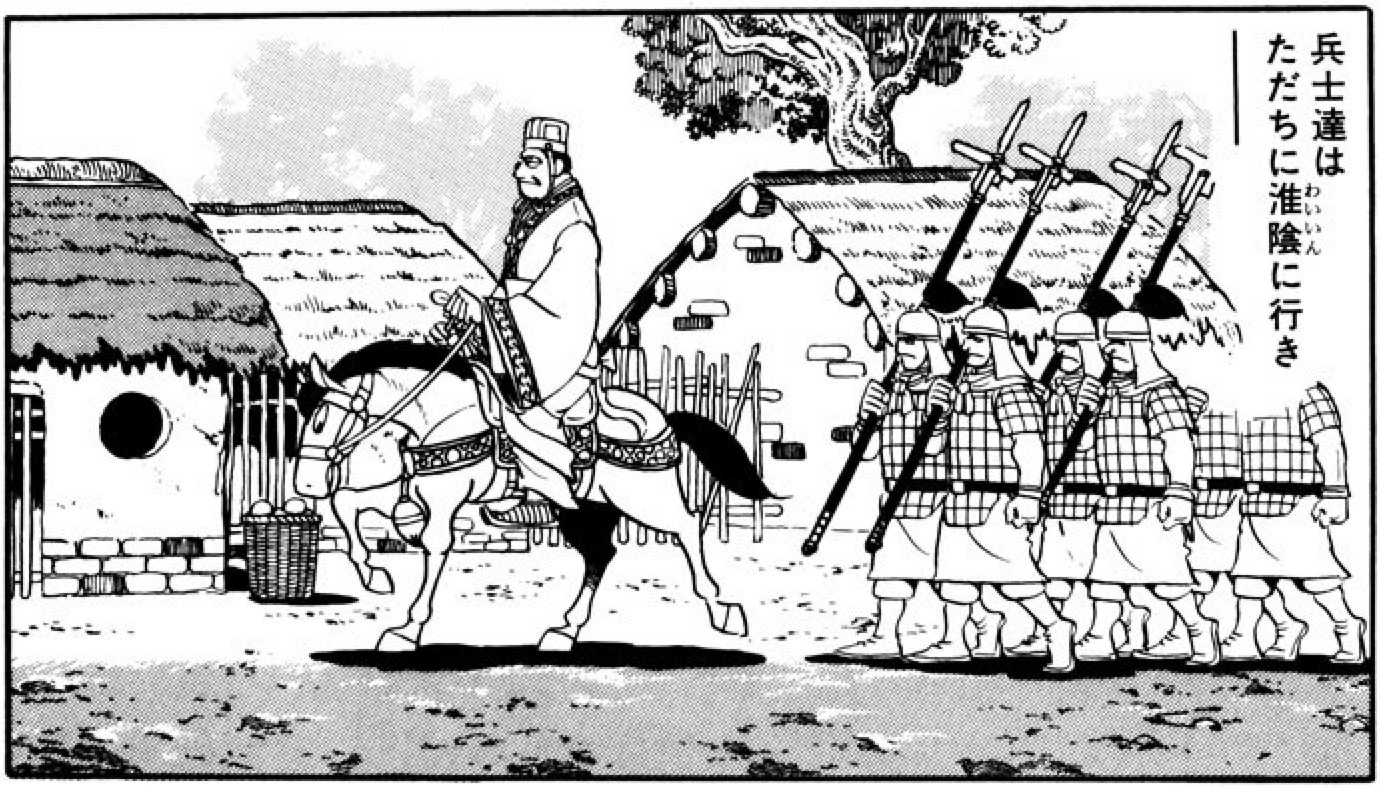
代
燕
斉
済水
沛
下邳
彭城
陳
淮陰
淮水
烏江
長江

韓信よ、天下統一のためのそなたの功績の大きさにどう報いようかと考えた。
はっ。
そこで項羽亡きあとの楚王に封じる。
楚王!!

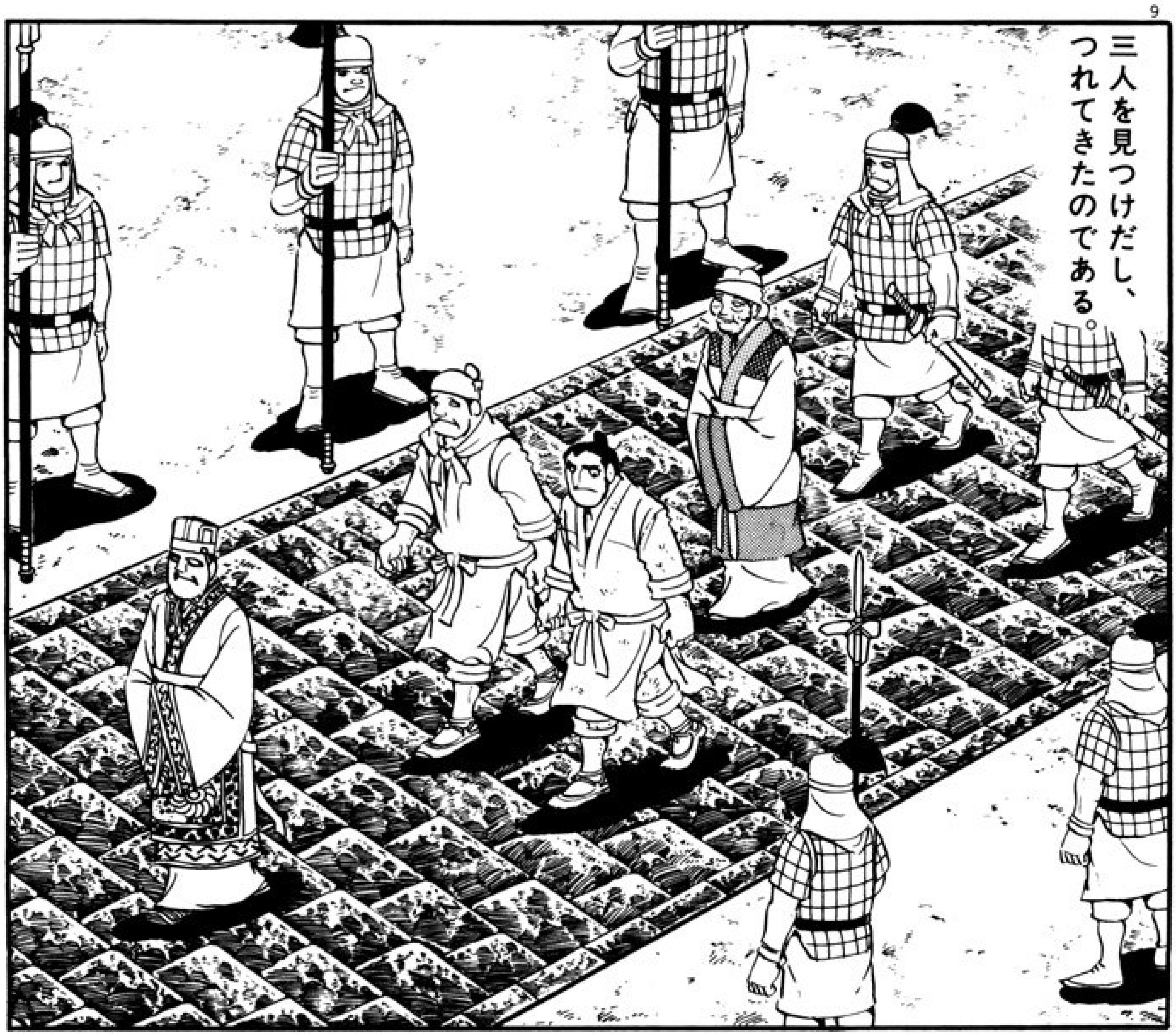
楚は由緒ある地、
そなたも故郷の王になれるのじゃ。
下邳を都とするがよい。
ご配慮感謝いたします。
だが韓信は不満だった――
確かに項羽の後の王にされるのは名誉なことである。しかし今の楚ならわしが手に入れた斉の方の領土の方がはるかに大きい……
「主を震わしたる者、身危うく 功、天下を蓋う者賞されず」と蒯通が申したが、その通りかも知れん。

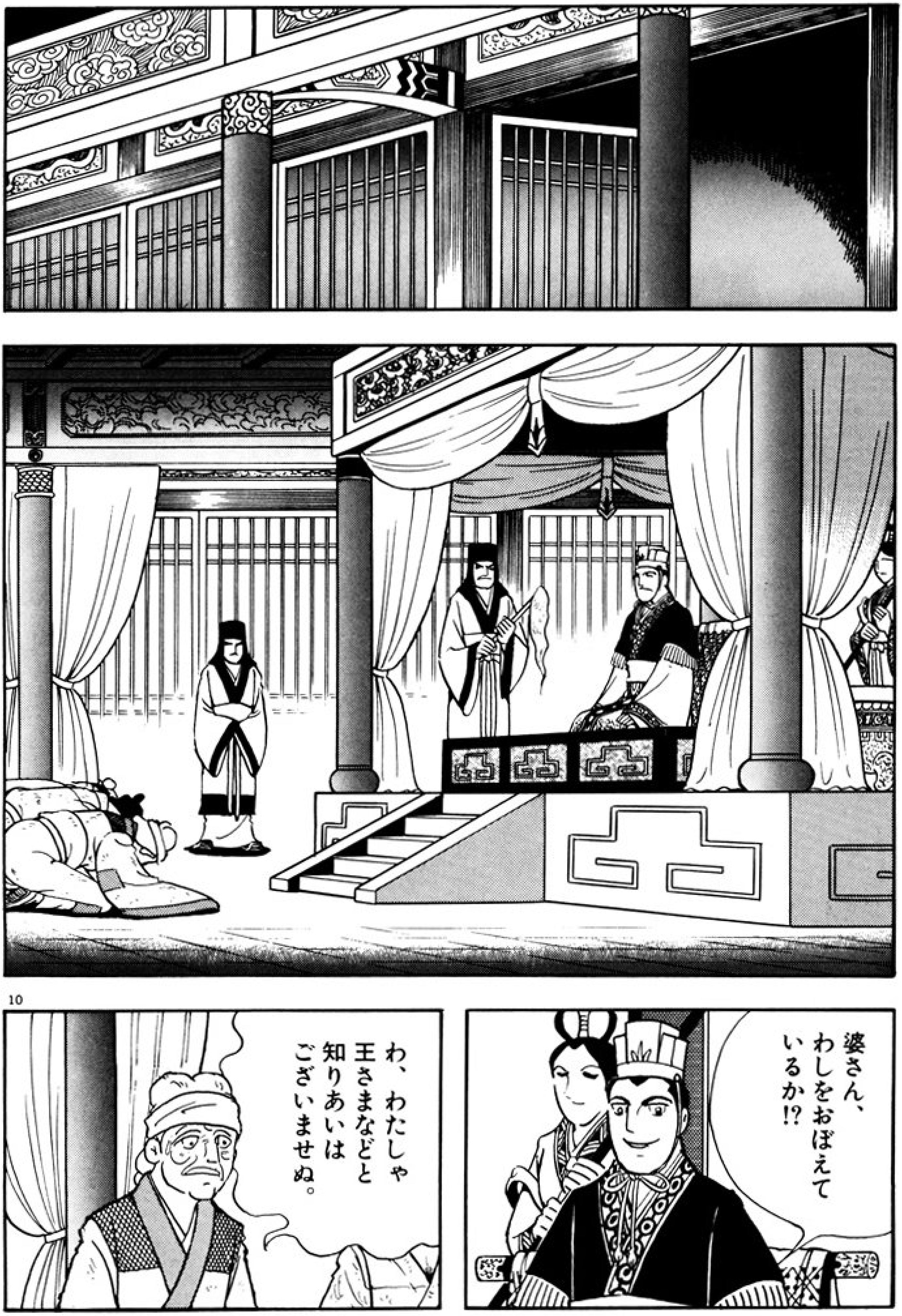
7


だが勅命である、韓信は下邳に都をおいた。
これ、わしは淮陰の三人の住人に礼を言わなくてはならぬ、捜し出してつれてきてくれ。
はっ。
一人は、淮陰の城の外を流れる川のそばで綿うちをしてる老婆だ。もう一人は野犬狩りを商いとして、わしに股をくぐらせた男、もう一人は南昌の亭長だ。
はっ。



9





10

おれだよ、おれが浮浪者の時、いつも飯を与えてくれたであろう。
えっ！
わたしの昼飯じゃ、お食べ。
婆さんすまない、いずれ出世したらこの恩は返すよ。
冗談じゃないよ、自分の食事も満足に出来ない能なしが、なんで出世できるもんかね。そんな才があるなら自分の食事くらい自分でかせげるよう考えるんだね。

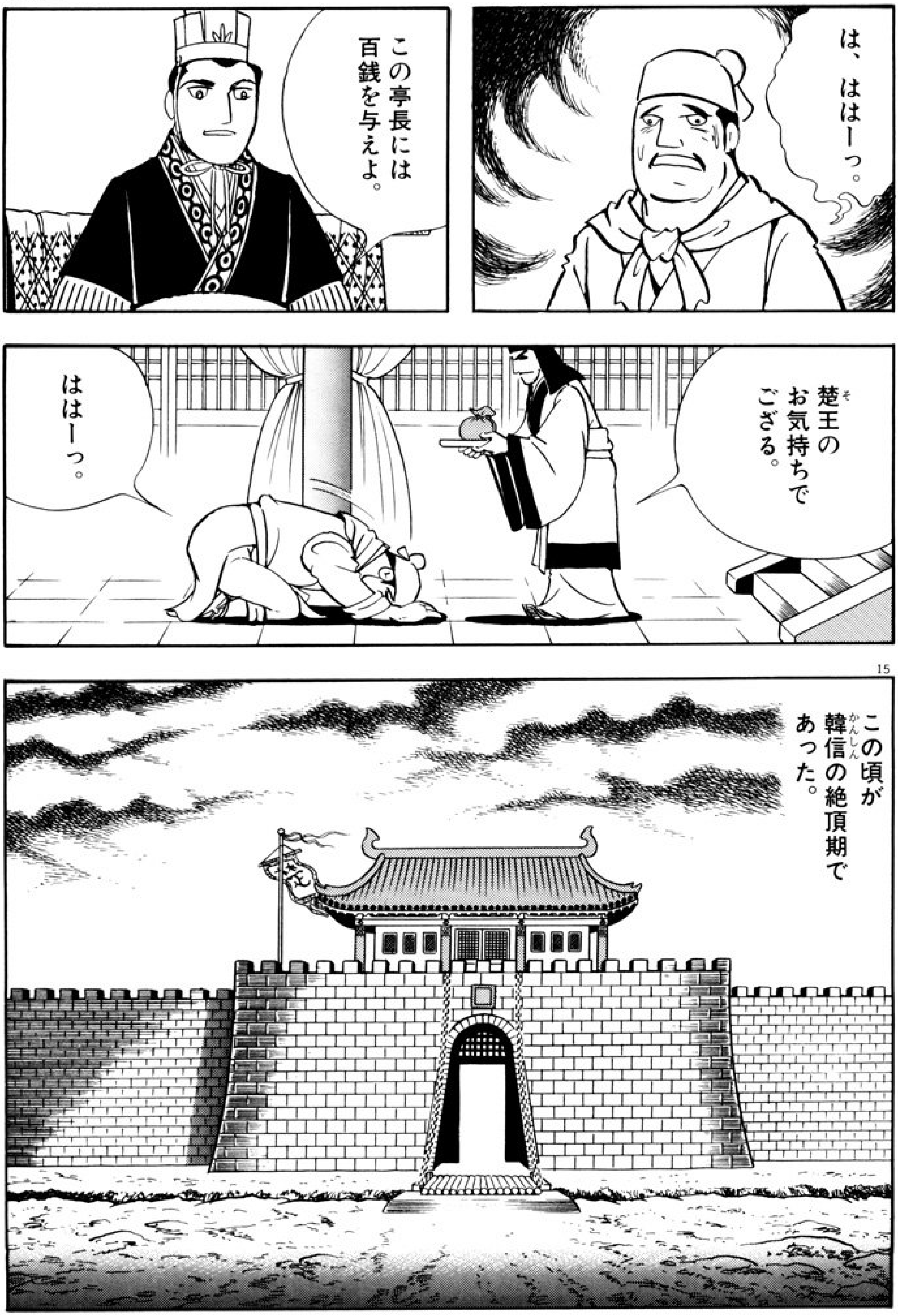
あ、あ、あの時の！
そうだ、あの時の韓信だ。
あの時の恩をいま返させてもらうよ。
ひえーっ、と、とんでもない。
これ、この老婆に千金（一万両）を与えよ。
ひえーっ、わ、わ、わたしゃそんな大金の遣い方もしらねえだ。
もう働かず、老後をのんびりと暮らすがよい。

さて、そこの家畜商もうわしのことを思いだしたであろう。
は、はいー。
おまえに股くぐりをせよと言われた時は、おまえを殺そうと思えば出来た。
も、申し訳ねえ、お許しを……
あの時、殺そうと思えば殺せた、だが手柄になるわけでなく、罪人になるだけである。
わしは、おまえから我慢というものを学んだ。そのおかげで今の地位にのぼれた。よって、おまえを中尉(警察長官)にとりたてる。
ええっ。

13

あ、あっしが中尉に……
都の治安を守り、しっかり盗賊を捕えてくれ。
へへーっ。
さて、南昌の亭長よ。
は、はい。
亭長の身分で居候を一人おくのは大変であることはわかる。
だが、最後は食事まで出さなくなった。人のめんどうを見る時は最後までみるものだ、安易なひきうけ方をするものではない。

14


は、ははーっ。
この亭長には百銭を与えよ。
楚王のお気持ちでござる。
ははーっ。
15
この頃が韓信の絶頂期であった。

楚王さま、同郷で親しくしていたと申す者が謁見を求めておりますが……
同郷で親しくしていた者……!? 名は……!?
16
それが会えばわかると申して名乗りませぬ。
ふーん、誰であろう。
よし、通せ。

お久しぶりでございます。
ウッ
鍾……
17
おう、このお方はよく知っている、そち達は下がっていよ。
はっ。

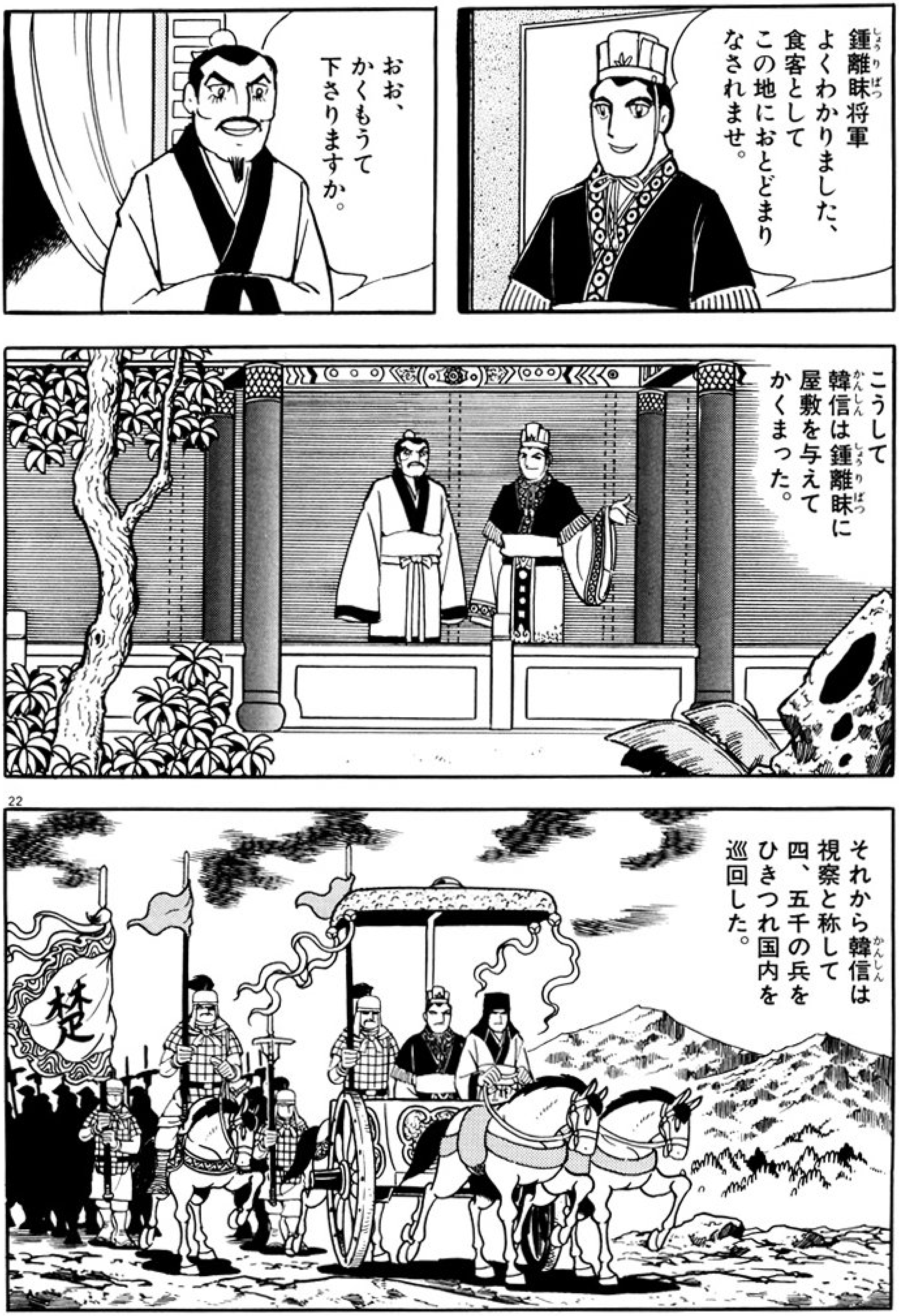
鍾離昧将軍。
韓信どの……
いや楚王さま、
お久しぶりで
ございます。
韓信と鍾離昧は、
同郷で秦の政治に
不満を持って
語りあった仲であった。
こんな時に、
項梁、項羽が江東で
蜂起した。

18

韓信も……
鍾離眛も、すぐに楚軍にはせ参じた。
だが韓信は秦が滅亡しても雑兵のままであり、それがいやで漢王のもとに走ったのである。
一方、鍾離眛はその勇猛さで大活躍をし
19
項羽軍の将では三本の指に数えられるほどの存在となっていた。
楚
鍾

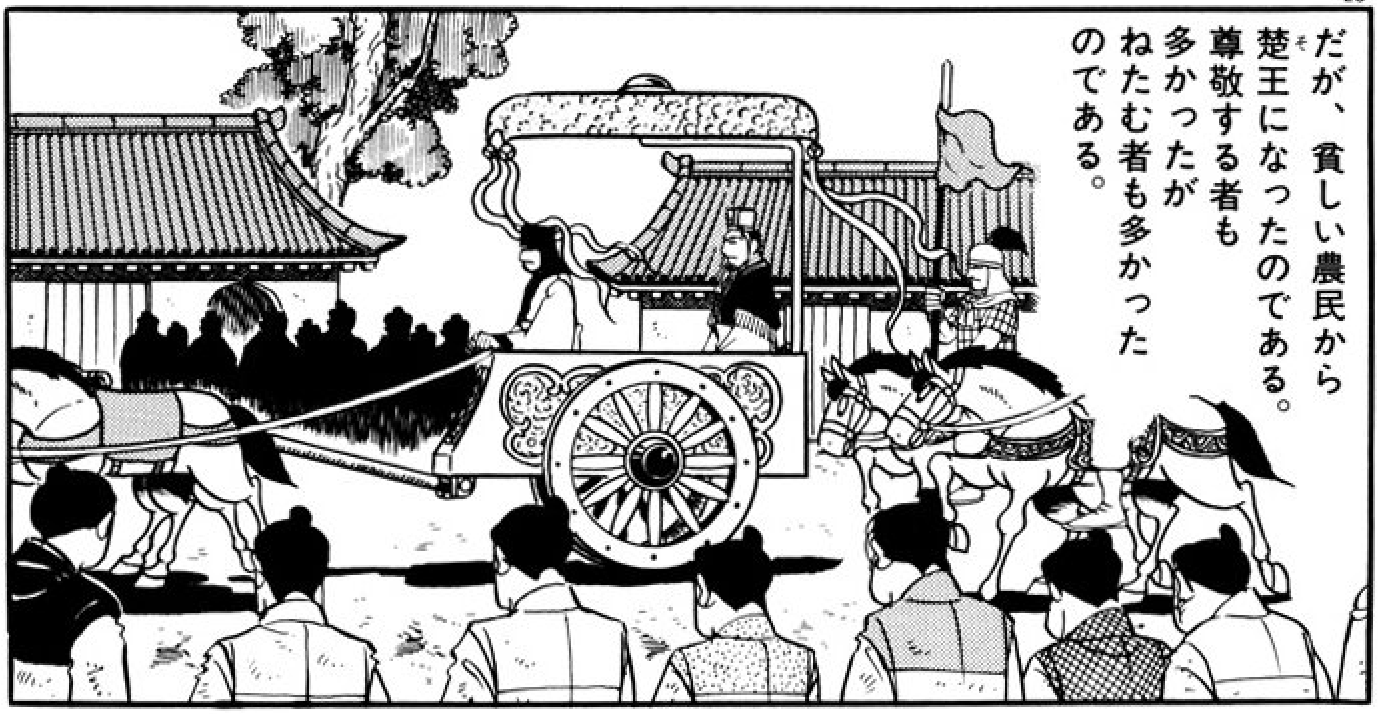
だが、陳平の「離間の策」で
范増や鍾離昧は
謀叛を企んでいると
項羽に疑われ、
遠ざけられてしまった。
垓下の合戦で
漢は四方から楚の歌を
聞かせ望郷の念を
かりたてる作戦を
とった。
兵士たちは
戦意を喪失し、
続々と脱走
しはじめた。
鍾離昧もその中に
まじって脱走
したのであった。

だが、劉邦は自分を散々痛めつけた鍾離眛を捜し出すよう諸侯に命令を出したのである。
ご存じのようにそれがしはこの大地で身をかくす場所もございませぬ。それゆえ同郷のよしみで頼って参ったのでございます。
さようでございますか。
これほどの人物殺すには惜しい。それに天下は統一されたといえどもまだ各地で反乱が起こっている、この男をそばにおいておく方がよいかもしれぬ。


鍾離昧将軍
よくわかりました、
食客として
この地におとどまり
なされませ。
おお、
かくもうて
下さりますか。
こうして
韓信は鍾離昧に
屋敷を与えて
かくまった。
22
それから韓信は
視察と称して
四、五千の兵を
ひきつれ国内を
巡回した。
楚

韓信は戦う時に
常に地形をよく
調べてから合戦した。
これも国内の地形を
熟知するための
ものであった。

23


だが、貧しい農民から
楚王になったのである。
尊敬する者も
多かったが
ねたむ者も多かった
のである。

洛陽(らくよう)
な、なにっ。
陛下、どうなされました?
陳平(ちんぺい)、この上申書を読んでみよ。
拝見いたします。

韓信が謀叛を企んでいると……
そうじゃ、視察と称して四、五千の兵をひきつれ国境をおびやかしている。そればかりか、わしが捕えよと命じた楚の将軍、鍾離眛をかくまっているという。
韓信と鍾離眛に組まれたらわが天下も危ういぞ、すぐ兵を出して韓信を捕えるべきじゃ。
陛下、あわてててはなりませぬ。
陛下の精鋭と、韓信の兵とどちらが強いと思いますか？
それは韓信の兵じゃ。

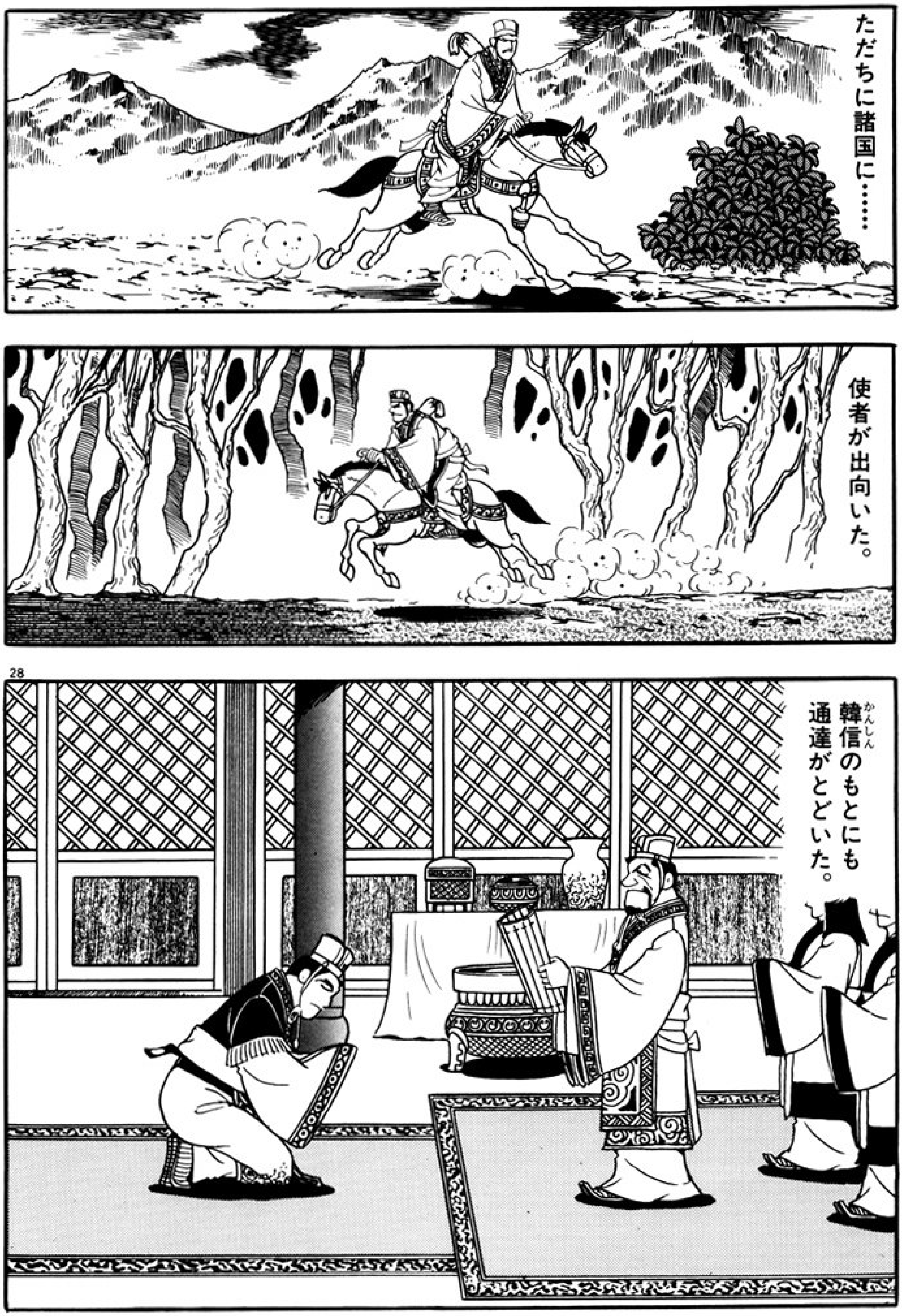
25

陛下の諸将と韓信では、どちらが用兵が達者でしょう？
それも韓信じゃ。
戦って勝目のない戦さはやるべきではありませぬ。
では、どうすればよいのじゃ？
この上申書のことは、韓信は知っておりましょうか？
いや、おそらく知るまい。
ならば、手はございます。
おおっ、どうするのじゃ？

26

昔、天子は天下を巡幸し、諸侯と会見いたしました。陛下もそうなさるのです。
南方に雲夢湖がありまする。この際、陛下はここを巡幸すると偽って諸侯と陳で会見なされませ。陳は楚の西境、韓信は出向いて来ぬわけにはまいりますまい。その時、捕えるのです。
なるほど、さっそく諸侯に通達を出せ。
はっ。

27


ただちに諸国に……
使者が出向いた。
韓信のもとにも通達がとどいた。

おかしいのう、陛下が突然、楚にこられるという。これをどう思う、わしは何か変な予感がするのだが……
ひょっとしたら鍾離眛将軍をかくまっていることが露見したのでは……
たしかに鍾離眛はかくまっている。しかし彼はすぐれた人物で殺すに忍びなかったのじゃ。
しかし、勅命を無視してかくまったとわかれば、罪に問われましょう。
そうじゃのう、陛下も鍾離眛にはずい分と痛めつけられたからのう。
こうなれば、鍾離眛どのを斬ったうえで陛下に謁見なされませ、陛下は喜びましょう。それしか方法はありませぬ。
そうか、斬らねば身の安全は保てぬか……
しかたがない、鍾離眛どのに話してみる。

なに
わたしに
自害せよと。
どうやら
貴公を
かくまっている
ことが露見
したようじゃ。
あなたとわたしが
手を組めば、
はせ参じる諸侯も
多かろう。
漢朝を倒すのも
わけはない、兵を
挙げましょう。
いや、
貧乏農民の
わたしを王にまで
して下さった
陛下を裏切れぬ。
30
そうか、
劉邦を裏切れぬと
いうのでは、わしが
お役に立てるのは
この首を差し出す
ことだけじゃのう。
武将たる者、
常に死は覚悟
している。
今さら死は恐れぬ、
だがひとつ言って
おきたい。

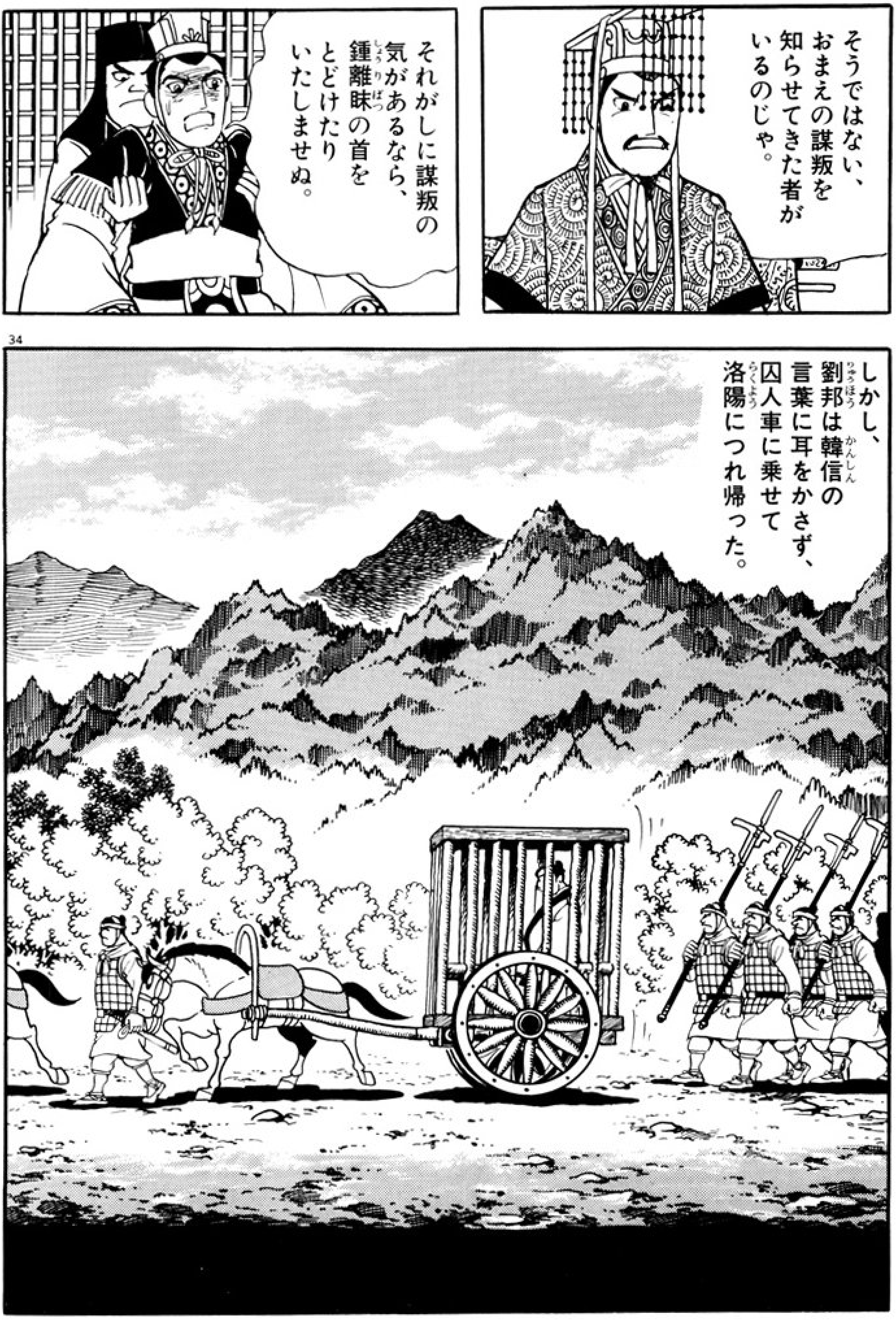
劉邦が、わしを
血眼になって捜すのは
わしが恐ろしいからじゃ。
だが、あなたも
恐れられていることを
忘れなさるな、
明日はあなたの
番ですぞ。
鍾離眜は
その場で自決した。
……
韓信は、
その首を持って
陳へ向かった。

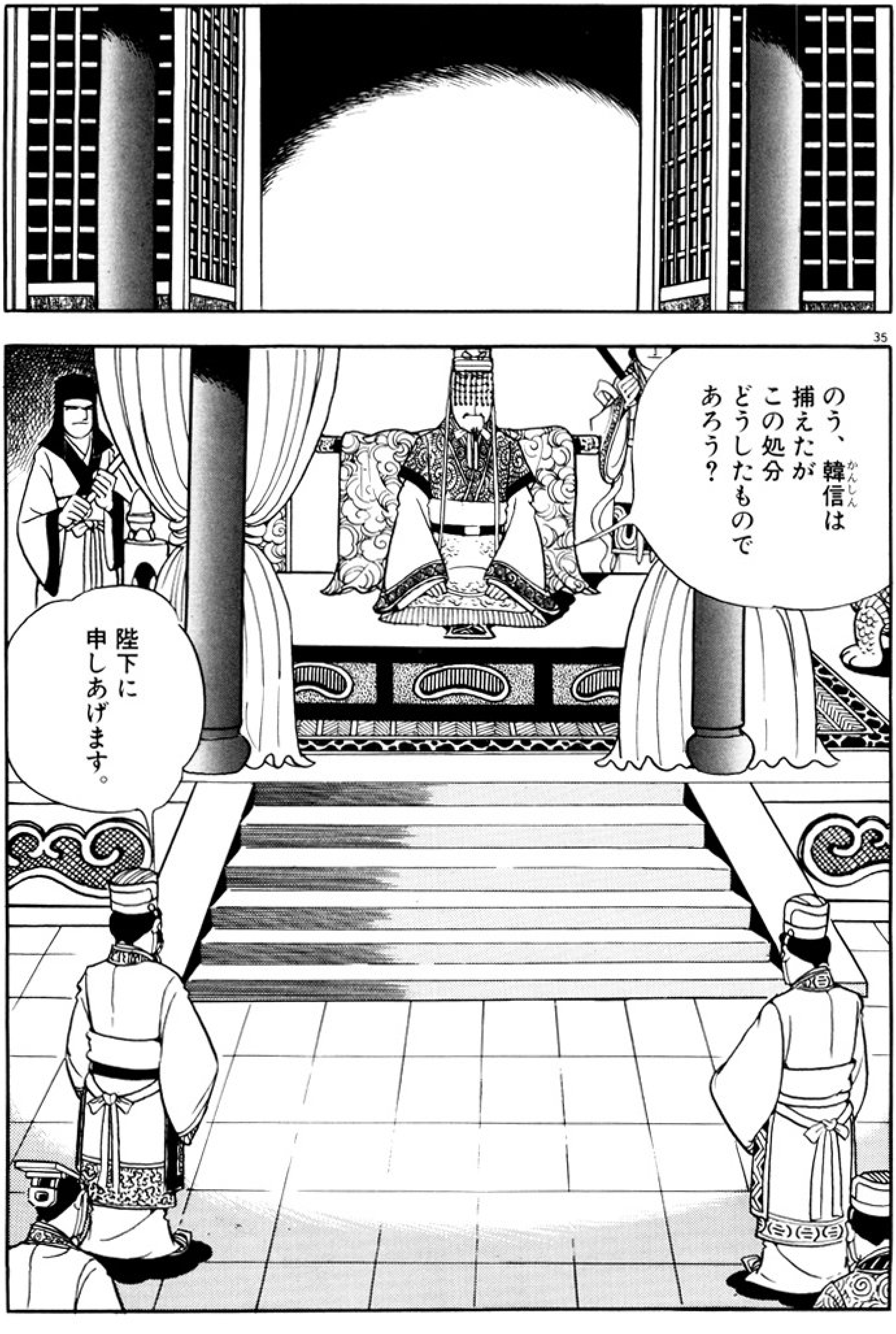
31

陳──
陛下にはご健勝うるわしく喜びにたえませぬ。
おう、楚王も元気そうでなによりだ。
今日、持参いたしましたのは鍾離眛の首でございます。
ほう。

32

これ、首を持って参れ。
はっ。
あっ、何をする？
陛下、これはどういうことでございます？「狡兎(うさぎ)死して良狗(猟犬)烹られる」ということですか、天下が平定されればわたしはもうご用済みということですか!?


そうではない、
おまえの謀叛を
知らせてきた者が
いるのじゃ。
それがしに謀叛の
気があるなら、
鍾離眛の首を
とどけたり
いたしませぬ。
34
しかし、
劉邦は韓信の
言葉に耳をかさず、
囚人車に乗せて
洛陽につれ帰った。


35
のう、韓信は捕えたがこの処分どうしたものであろう?
陛下に申しあげます。

韓信の漢朝誕生に尽くした功績はあまりにも大きく、また韓信を尊敬する諸侯も多くございます。ここで韓信を処刑するには問題が大きすぎます。
蕭何、そちも韓信の尊敬者の一人であったな。
えっ、いや、それは……
陛下、これだけ漢朝に功績のあった韓信を殺せば、他国の王は次は自分がと警戒し、陛下の命に従わなくなる者も現われましょう。寛大な態度でのぞむべきです。
ふむっ。
問題は韓信から兵を取り上げてしまえばよいのです。侯に格下げいたしますれば……
確かに兵を持たさなければ心配ないな。

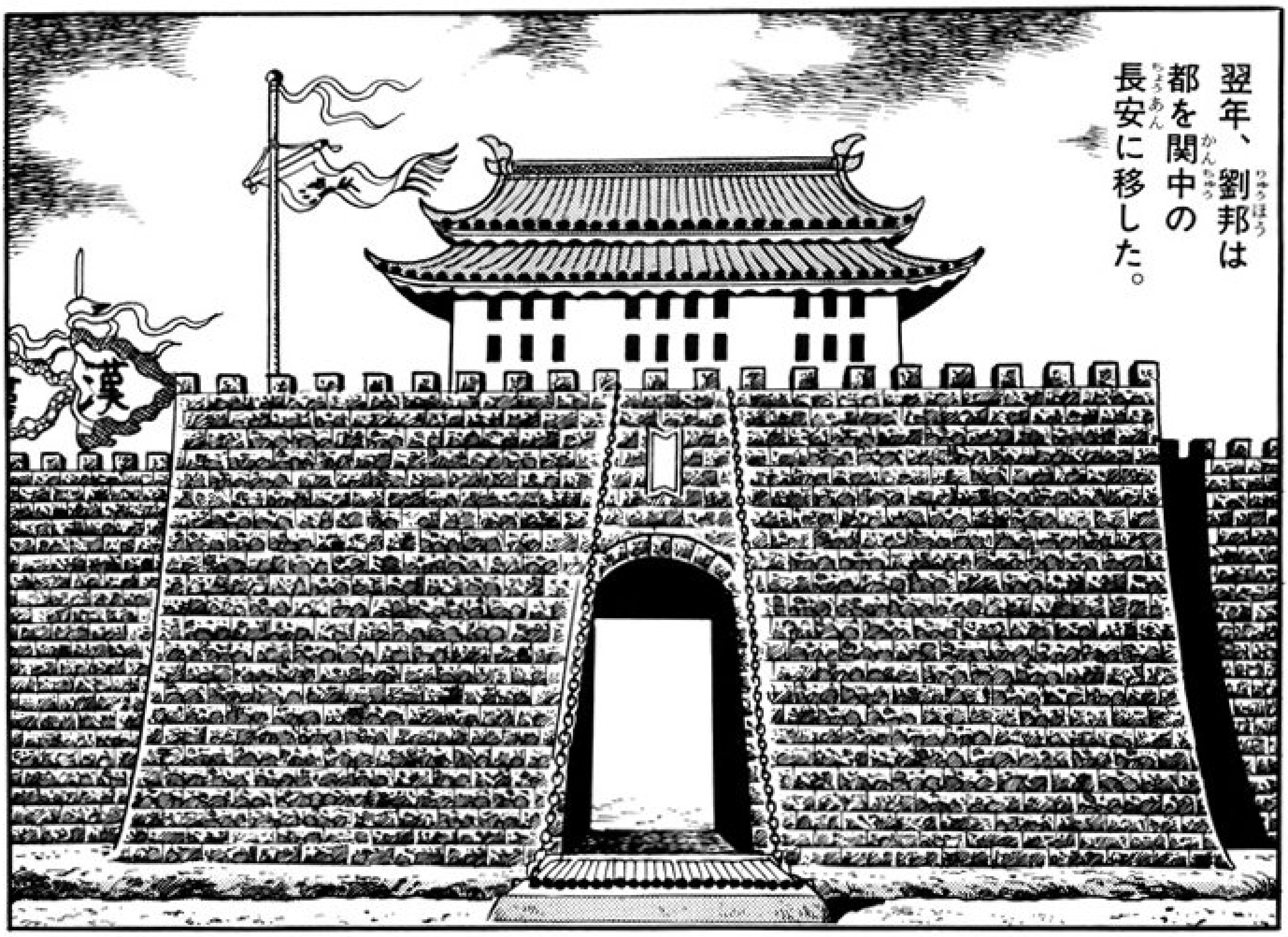
36

韓信。
あっ、陛下。
どうじゃ牢暮らしは?
快適と申す者はおりますまい。
37
ところでそなたの目から見て、わしはどのくらいの兵をひきいる力があると思う?
陛下は十万くらいでしょう。

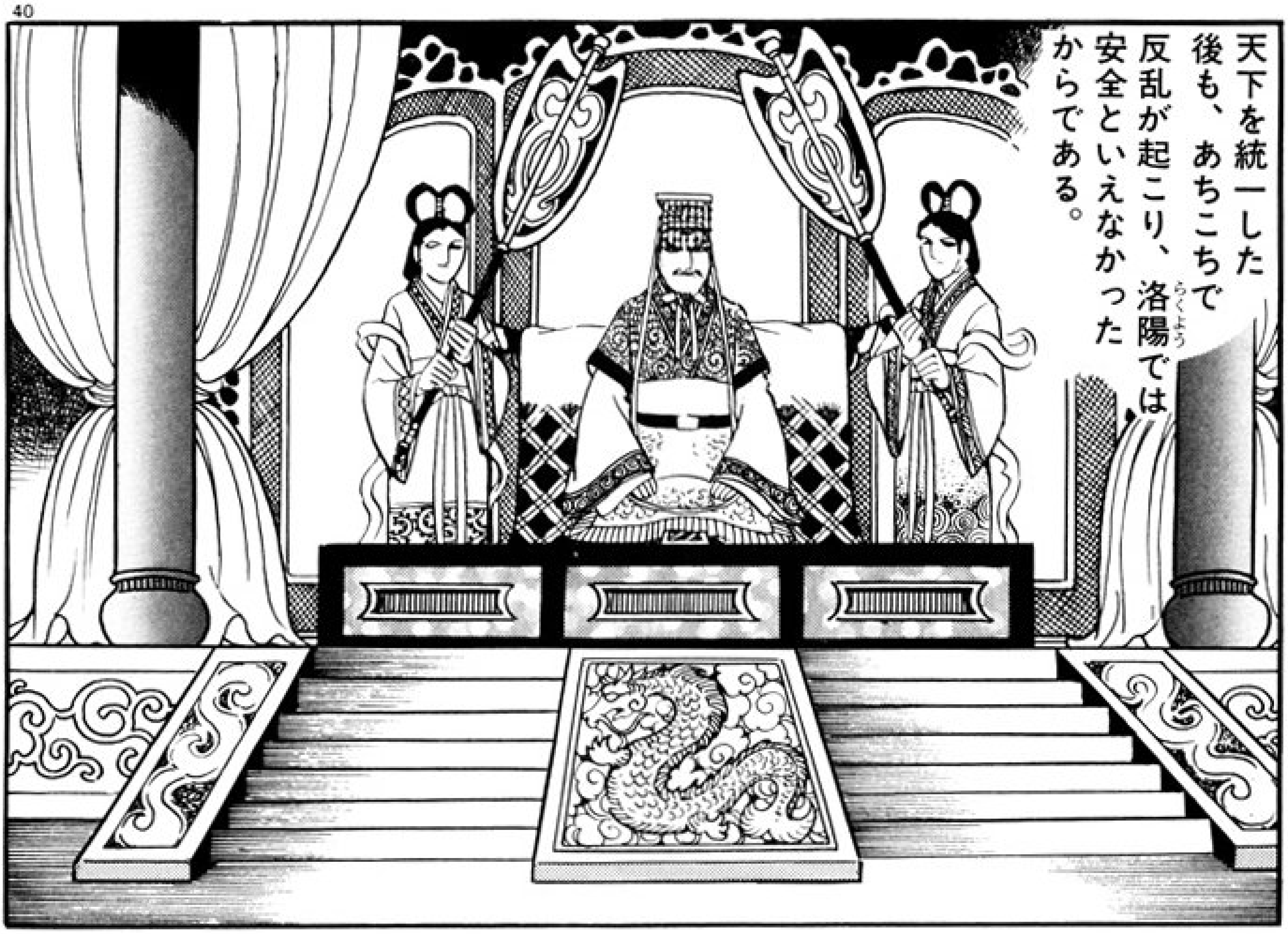
ならば
おまえは？
百万を
動かせます。
それなら
どうしてわたしに
捕えられた？
わたしは
兵を使うのが
うまい「兵の将」です。
だが陛下は将を
使うのがうまい
「将の将」なのです。
38
陛下のこの才能は
天性のもので、
誰もが持っている
ものでは
ありませぬ。
なるほど
わしは将の将か。

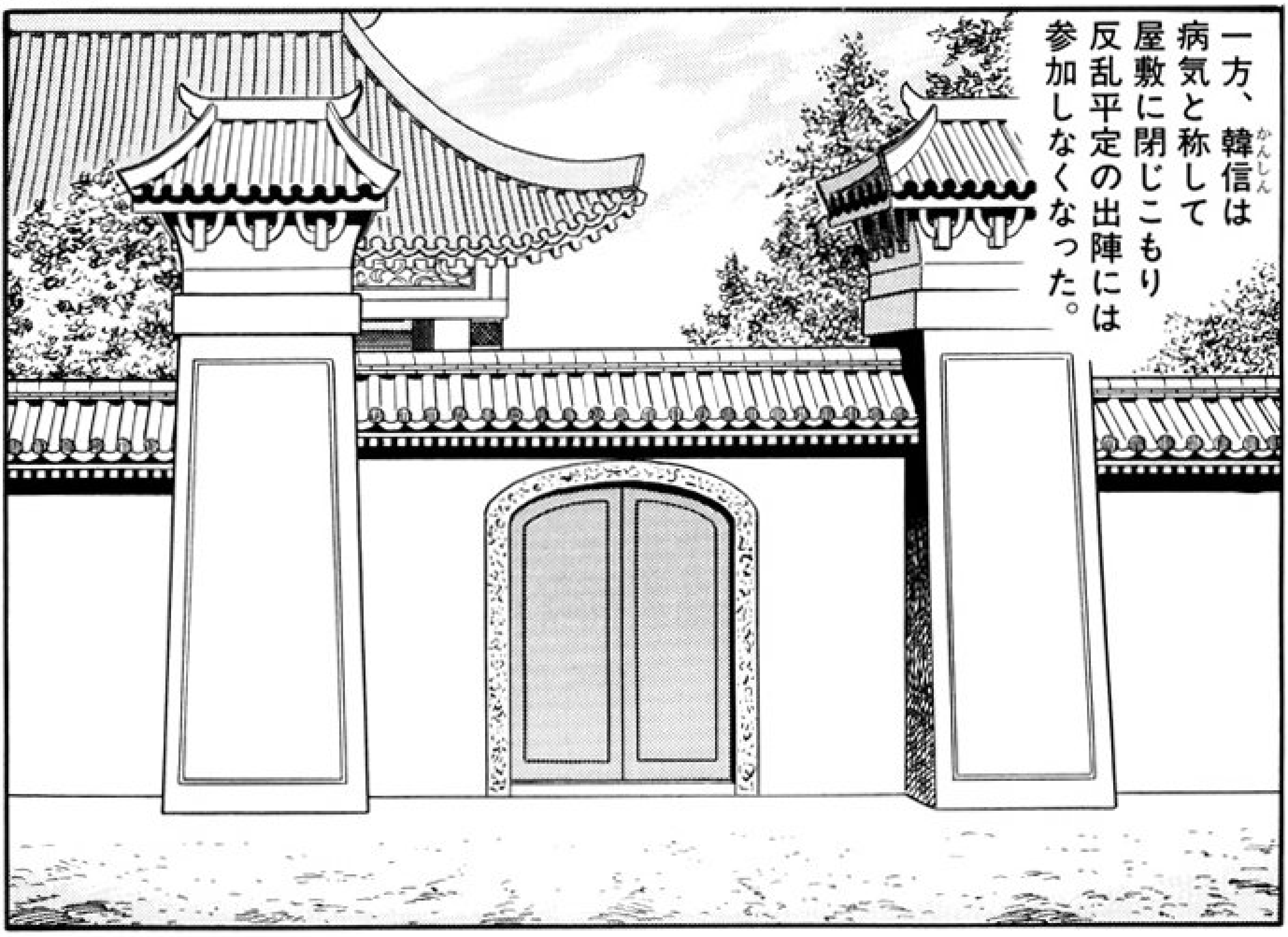
ところで
おまえの今までの
功績を考え
処刑はいたさぬ、
だが王ではなく
侯にいたす。
だが、疑いは
晴れたわけでは
ないぞ、それを
忘れるな。
ご恩情
感謝いたします。
間もなく韓信は
牢から出された。
肩書は
淮陰侯であった。
侯とはひとつの国に
五十人ほどいて
現代の知事の
ような役目であった。

39


翌年、劉邦は都を関中の長安に移した。
漢

40


天下を統一した後も、あちこちで反乱が起こり、洛陽では安全といえなかったからである。

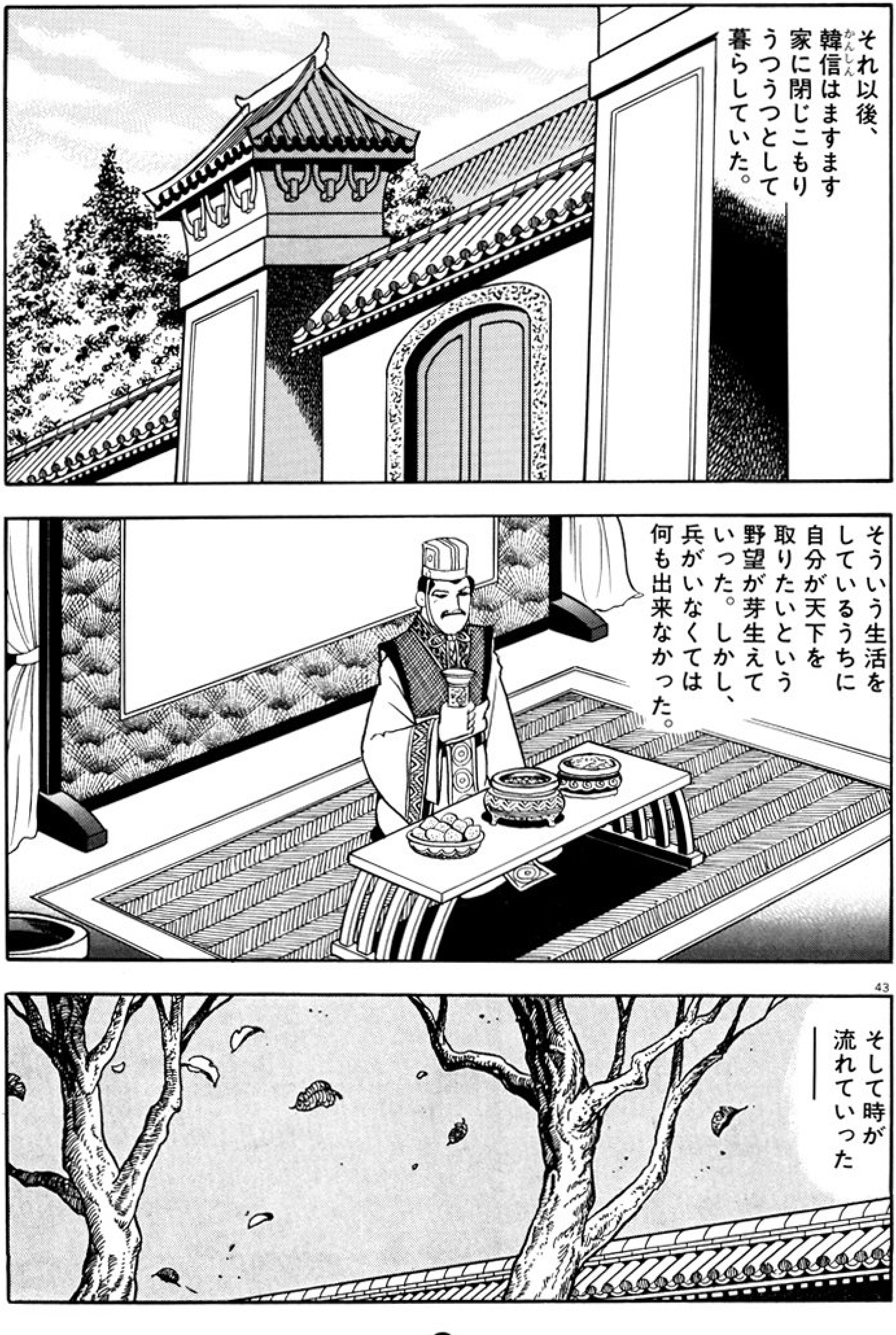

一方、韓信は病気と称して屋敷に閉じこもり反乱平定の出陣には参加しなくなった。

41

その韓信がある日ふらりと劉邦の義弟の樊噲のもとに立ち寄った。

樊噲は韓信
尊敬者の一人で
あったので、
大喜びして
ひざまずいて
韓信を迎えた。
そしていまは同格の
韓信に対して
「臣下」の礼をとった
のである。
この時、韓信は
心の中でやりきれぬ
さびしさに襲われた。
項羽が天下を三つに
分けて統治しようと
言ってきた話を断り、
漢王に天下を取らせた
その報いが、この男と
同格の侯とは……

42


それ以後、
韓信はますます
家に閉じこもり
うつうつとして
暮らしていた。
そういう生活を
しているうちに
自分が天下を
取りたいという
野望が芽生えて
いった。しかし、
兵がいなくては
何も出来なかった。
そして時が
流れていった——

陳豨将軍、そなたを鉅鹿の大守に任命いたす。しっかり務をはたせ。
ははーっ、光栄に存じます。
陳豨も韓信尊敬者の一人であった。陳豨は別れの挨拶を述べに韓信の屋敷を訪れた。

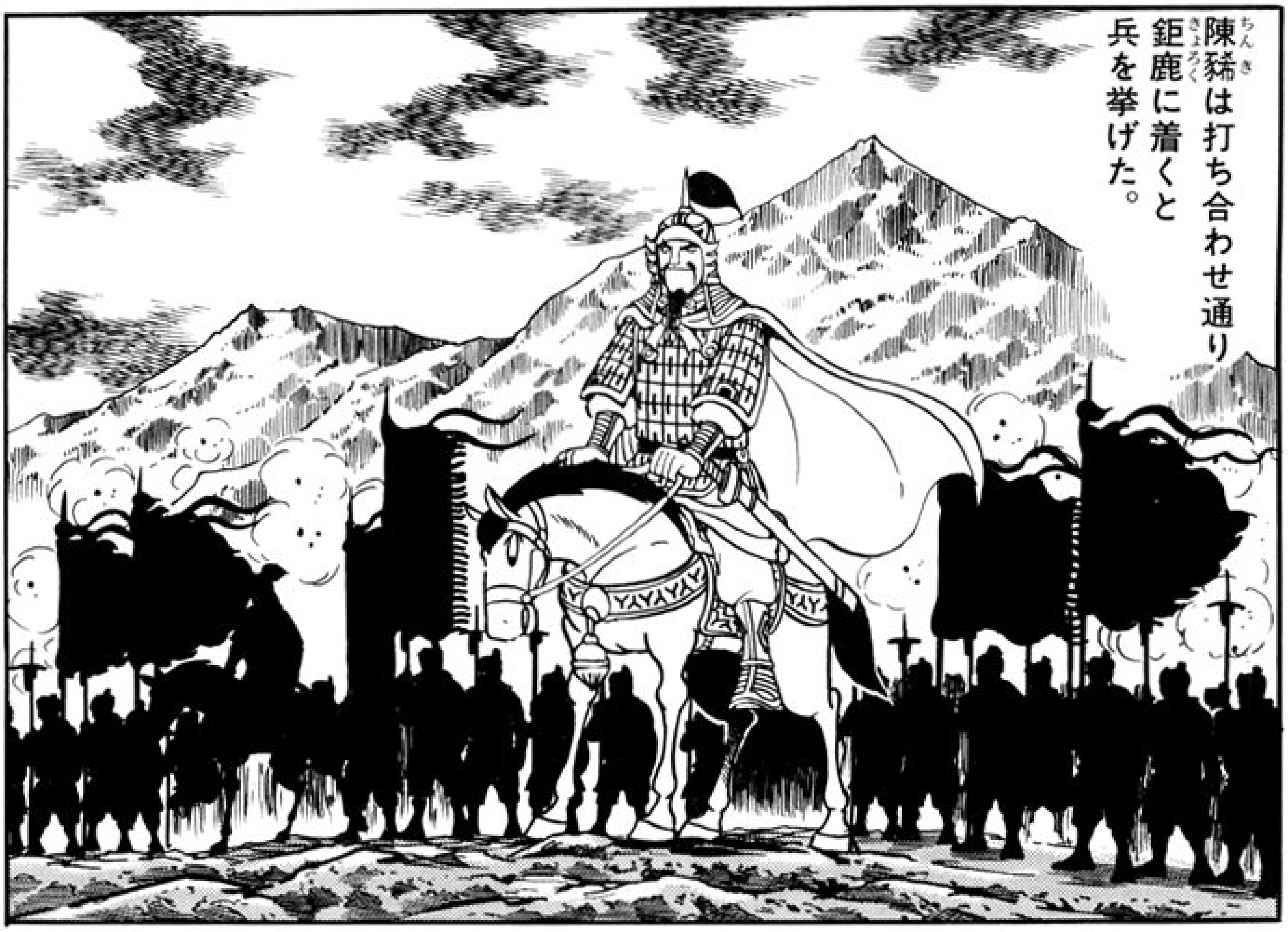
おお、陳豨どの突然どうなされた?
はい、こんど鉅鹿の大守に任命されました。それでご挨拶にうかがいました。
鉅鹿に!!
はい。
ふむう。
陳豨どのわしも肚をきめましたぞ。
はっ?
漢朝が今日あるのもわたしの働きのおかげだ。
それは誰もが承知いたしておりまする。

だが、その功に対して
この報われかたただ。
ご同情いたして
おりまする。
そこで決心した。
陛下が天下を
統一したといっても、
まだ反乱はあいついでいる。
わしが反乱の罪で
捕えられた翌年には、
韓王が、その翌年には
趙の大臣が陛下の
暗殺をはかった。
いま、わたくしが
立ち上れば
不平分子は
わたしにつく。
わたしが天下を
取る。
えっ！
どうじゃ、
わたしに力を
貸してくださらぬか？
韓信さまの
おためならば。
でも、どうすれば
よいのです？

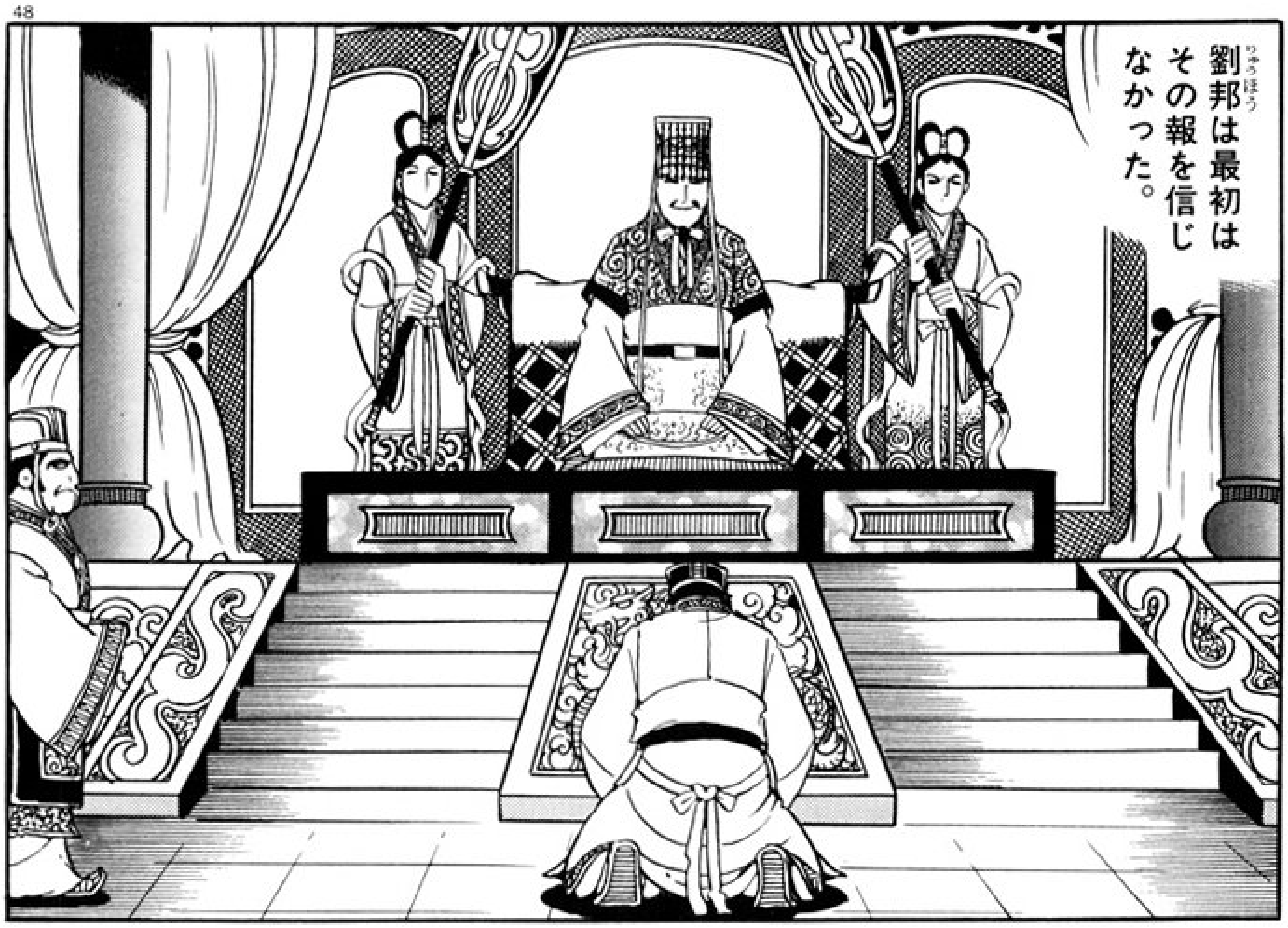
46

鉅鹿は精鋭の集まっているところじゃ。貴公はここで兵を挙げてもらいたい。
貴公は陛下の信頼が厚い。謀叛を告げる者がいても、陛下は本気にすまい。
その報が二度つづいても、せいぜい疑う程度であろう。だが三度目だと陛下は激怒しかならず自ら出陣いたすであろう。
そうなると都は空になる。この機を逃さずわたしが都を制圧し、不満を持っている諸侯に声をかける、そうなれば天下は思いのままだ。
このお方ならそれくらいのことが出来るお方だ。
どうじゃ、協力して下さるか？
わかりました、仰せの通りにいたします。
うむ。

47



48



だが陳豨がまわりの城を侵略しはじめたのでがくぜんとした。

49

信頼を裏切られた劉邦は激怒し、自ら出陣していった。

50
みなの者、陳豨が約束通り兵を挙げた。思った通り高祖は激怒し自ら出陣し、都は空となった。だが鉅鹿は精鋭ぞろい、おそらく一年では制圧できまい。
その間に、われらは長安を制圧し、諸侯に声をかける。かならずや天下はわがものとなる。

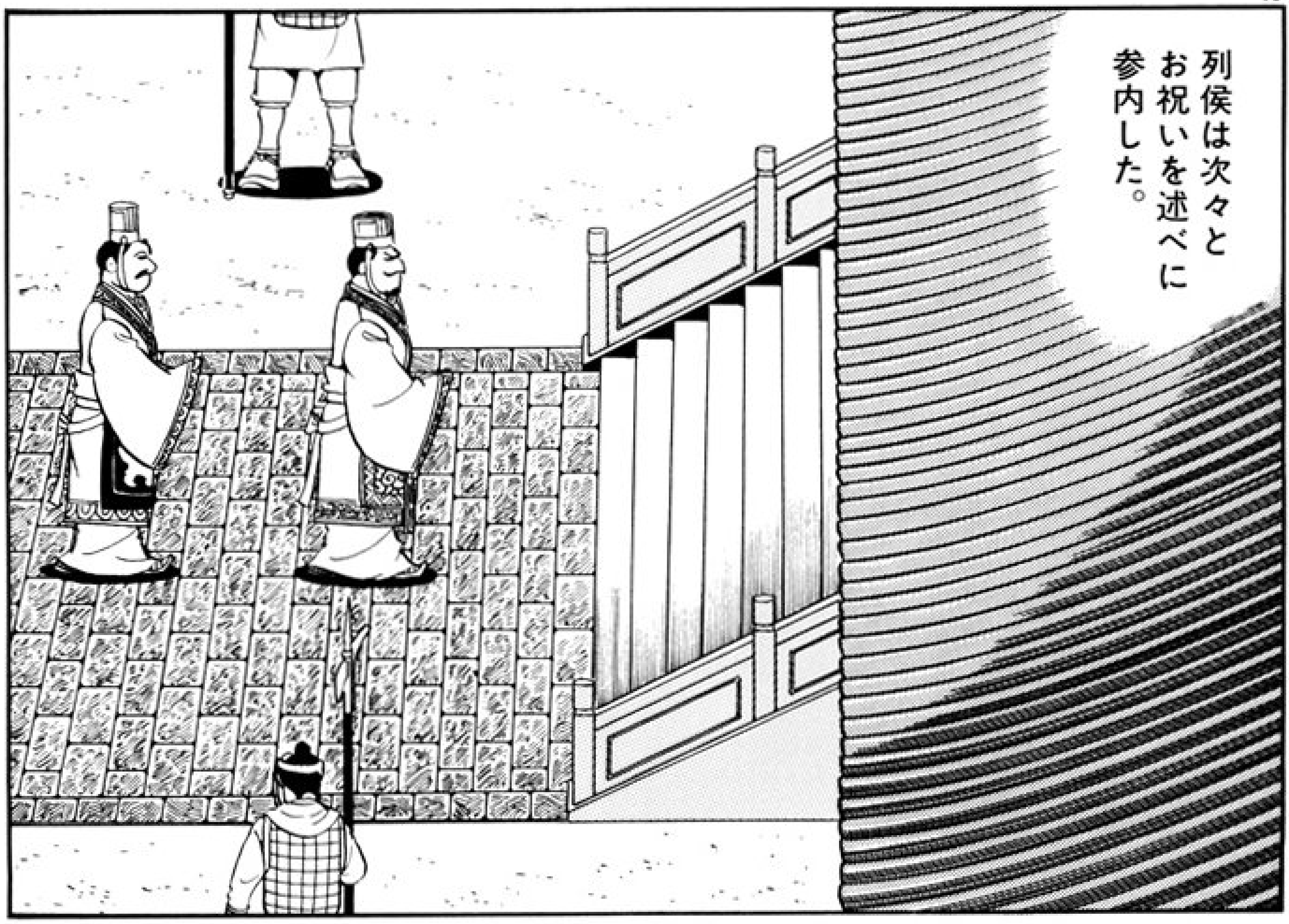
しかし、われらの兵はわずかにございます。どうやって都を制圧いたします!?
まず、勅命といつわってすべての囚人を釈放し、都を騒乱状態におとしいれるのだ。
そのどさくさに呂后と皇太子を捕え、留守居の兵は降伏させる。あとはそちたちが定めた部署につき、陳豨の連絡を待つ。決行日はおって伝える、準備だけはしておけ。
51
ところが、この打ち合わせを召使いの一人が聞いていた。この召使いの兄は韓信の召使いであったが、不正を働き死刑を宣告されていたのである。

この男は、手柄をたてて兄の命を救おうと呂后のもとに走った。
なんですと、韓信が謀叛を企んでいると。
はい、韓信の召使いが知らせて参りました。
52
これ、すぐ蕭何をおよび。
ははーっ。

なんですと、韓信が謀叛を計画していると。
そうなのじゃ 韓信の召使いが知らせてまいった。
韓信が決行をする前に捕えねば……
しかし、そのようなことを企んでいるとあらば、すでに警戒はしてございましょう。
韓信の屋敷に兵を向かわせて、もし取り逃すようなことがあれば、野に虎を放つようなものでございます。

ならば宮中に召し出して捕えれば。
いいえ、病気と称して出仕もせぬ韓信が急の召し出しに応じるとは思えませぬ。
蕭何、何かよい知恵はないのか!?
そうですな、なにしろ用心深い男ですから。
そうじゃ、陛下が陳豨軍を討伐したと嘘の噂を流しましょう。
?
列侯達はお祝いを述べに参内いたします。その時、韓信を捕えるのです。
おお、それはよい。

それから間もなく
高祖の陳豨を
討伐したとの
噂が長安に流れた。


列侯は次々と
お祝いを述べに
参内した。

これはこれは、蕭何丞相 突然のお越しとは 何事で ございます?
韓信どのが 病気であることは 百も承知で参った。
このたび陛下は 陳豨軍を討伐なされた ことはもう ご存じであろう。
はい。

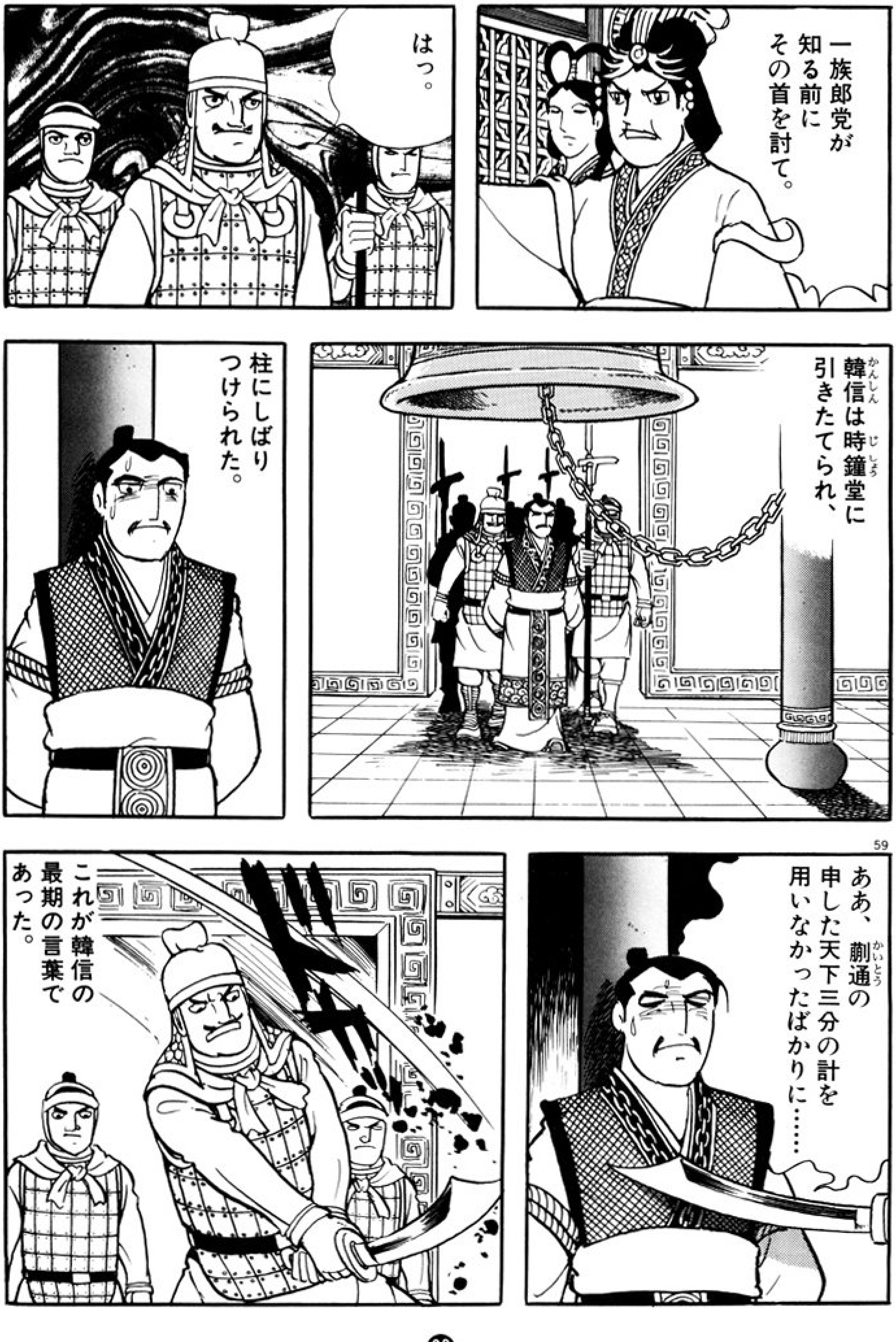
56

列侯達は次々とお祝いを述べに参内しています。
ここは韓信どのも病をおしてでもお祝いに参内すべきです。
陛下はあなたに疑いの目を向けられている。あなたがお祝いに参内すればその疑いも解けましょう。
わかりました、丞相のお言葉にしたがいまする。
そうしなされ。
韓信は自分を上将軍にまで推挙してくれた蕭何だけは信用していた。

57

韓信は疑いをさけるために参内した。
ところがあっという間に捕えられた。
これはどういうことです？
韓信、そなたの謀叛の企みはそなたの召使いによって知らされた。

58

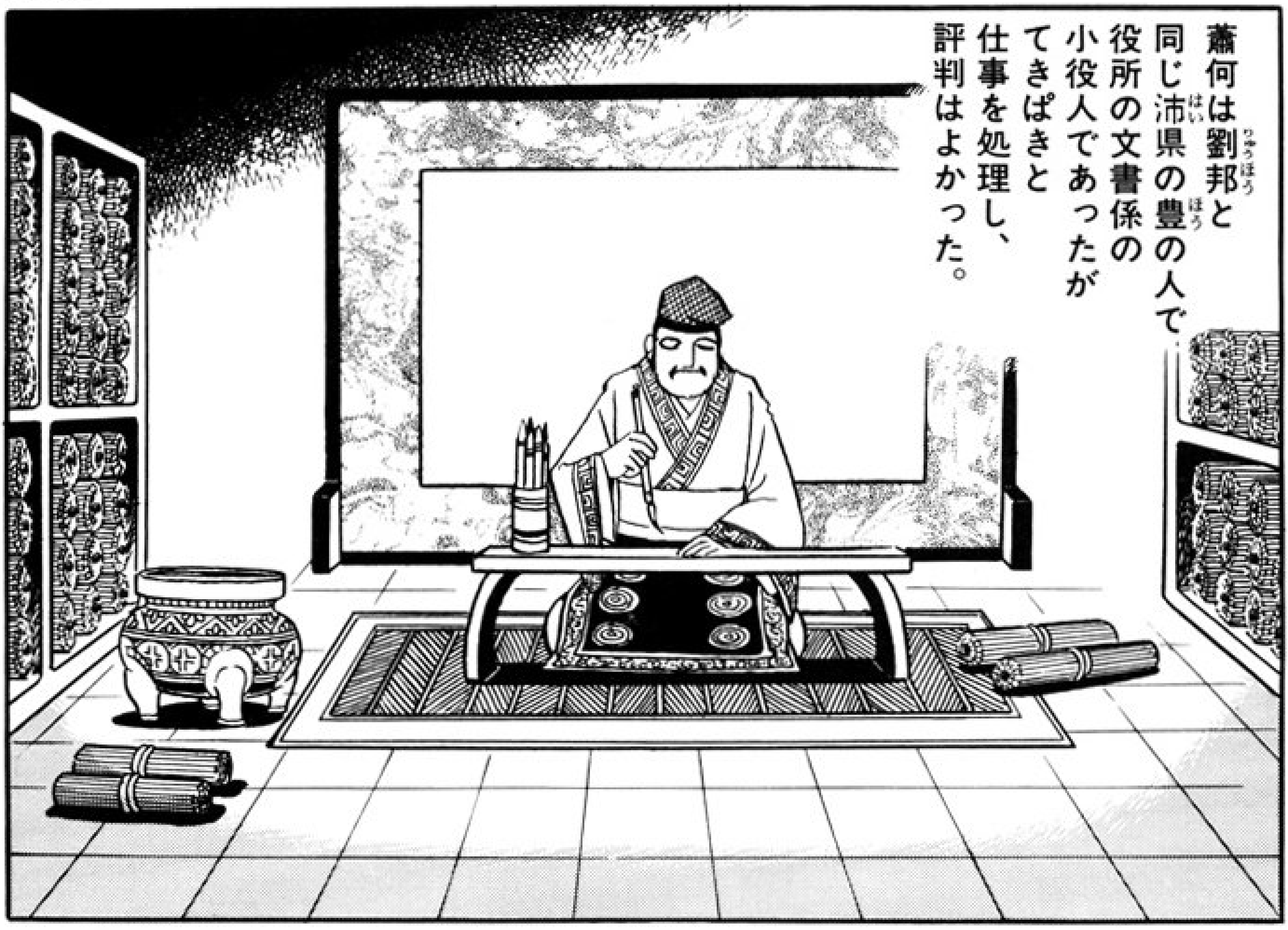

一族郎党が知る前にその首を討て。
はっ。
韓信は時鐘堂に引きたてられ、
柱にしばりつけられた。
ああ、蒯通の申した天下三分の計を用いなかったばかりに……
これが韓信の最期の言葉であった。

59

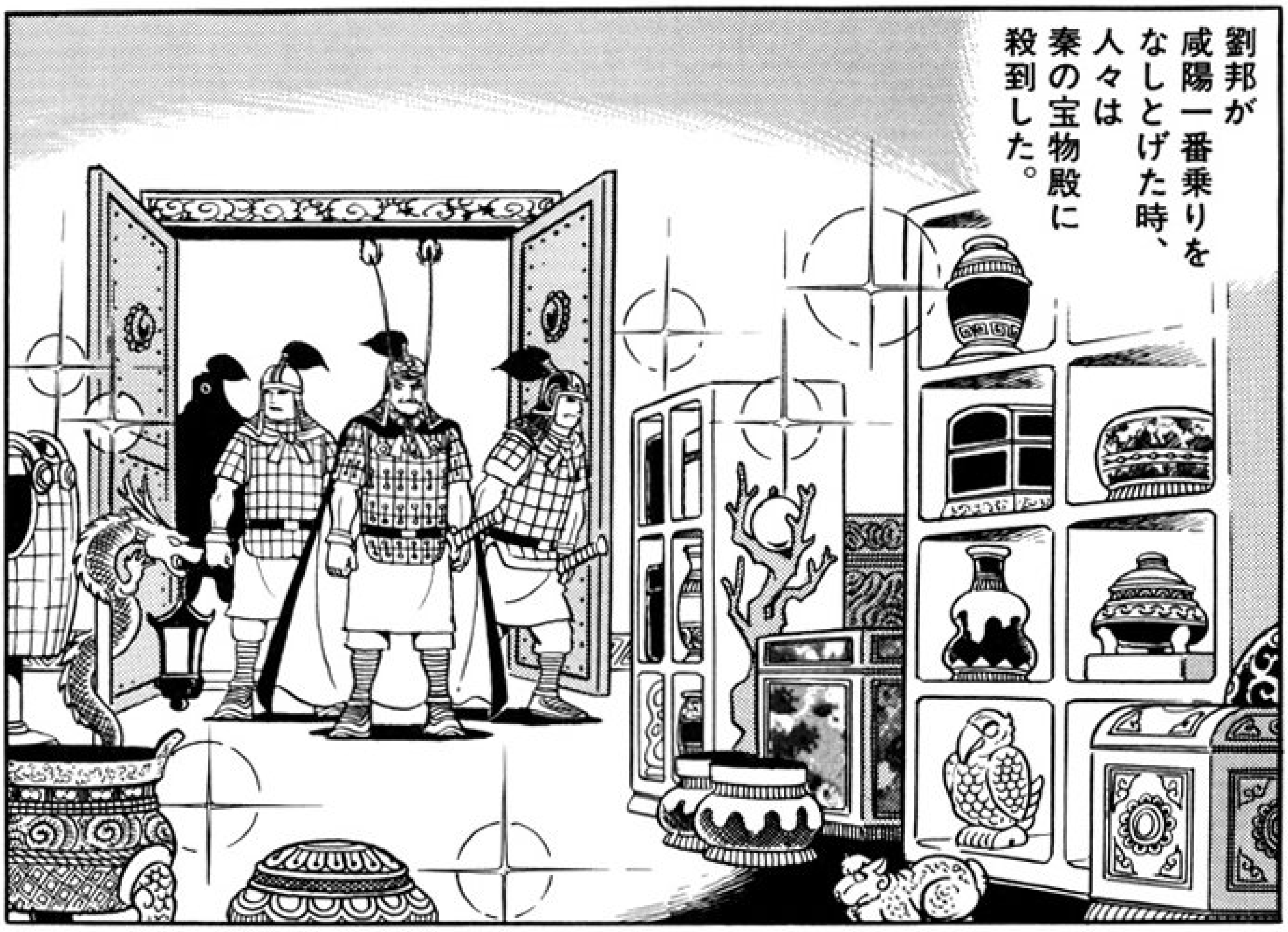
国士無双とまで
言われた韓信の
最期であった。
人々は「韓信は
蕭何によって
出世し蕭何によって
その生涯を閉じた」
と語りあった。

第2話 禍、これより始まらん

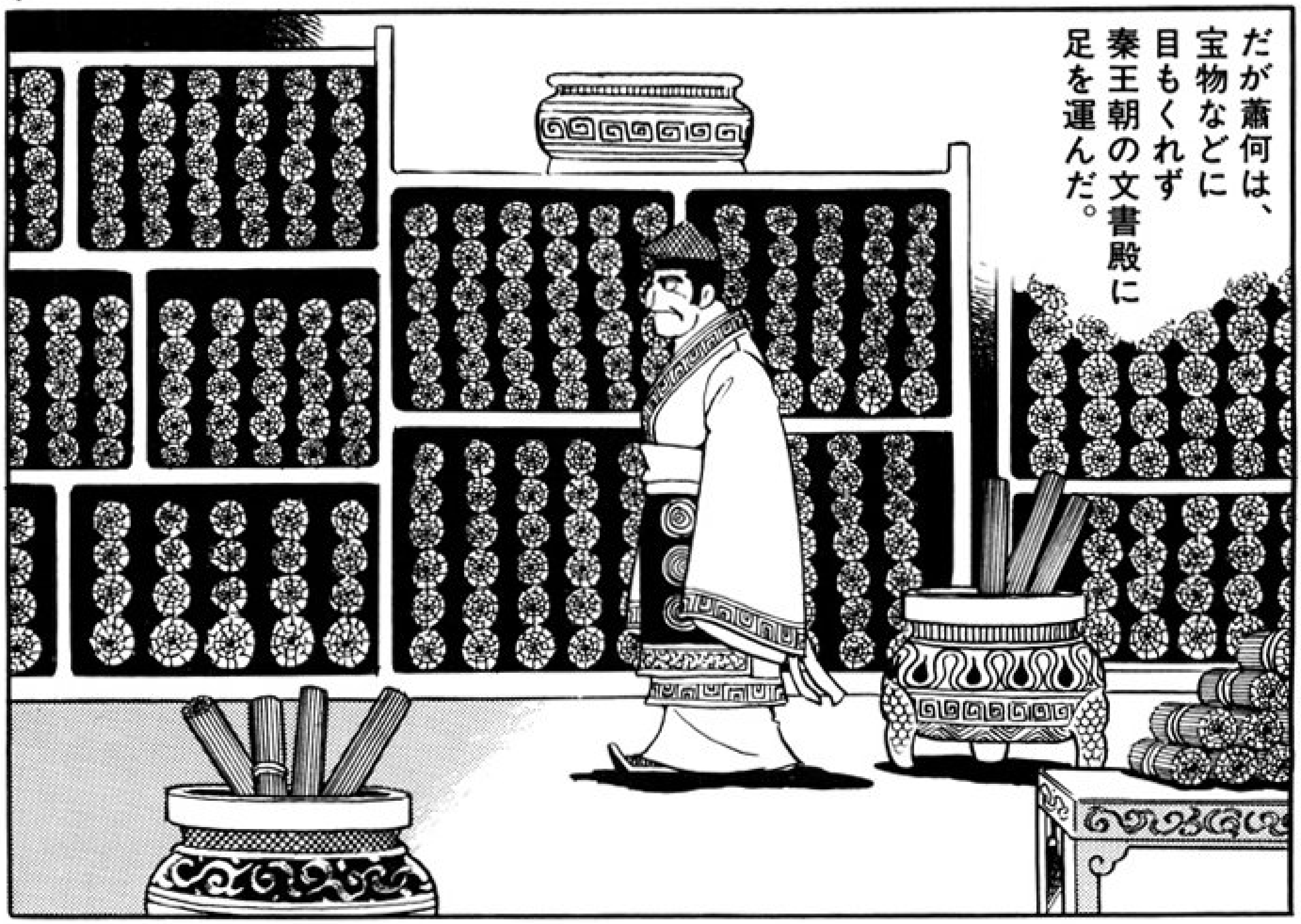
2


蕭何は劉邦と
同じ沛県の豊の人で、
役所の文書係の
小役人であったが
てきぱきと
仕事を処理し、
評判はよかった。

だが、劉邦が沛県から
秦打倒で蜂起すると
劉邦の補佐役として
ずっと行動を共にした。


劉邦が
咸陽一番乗りを
なしとげた時、
人々は
秦の宝物殿に
殺到した。

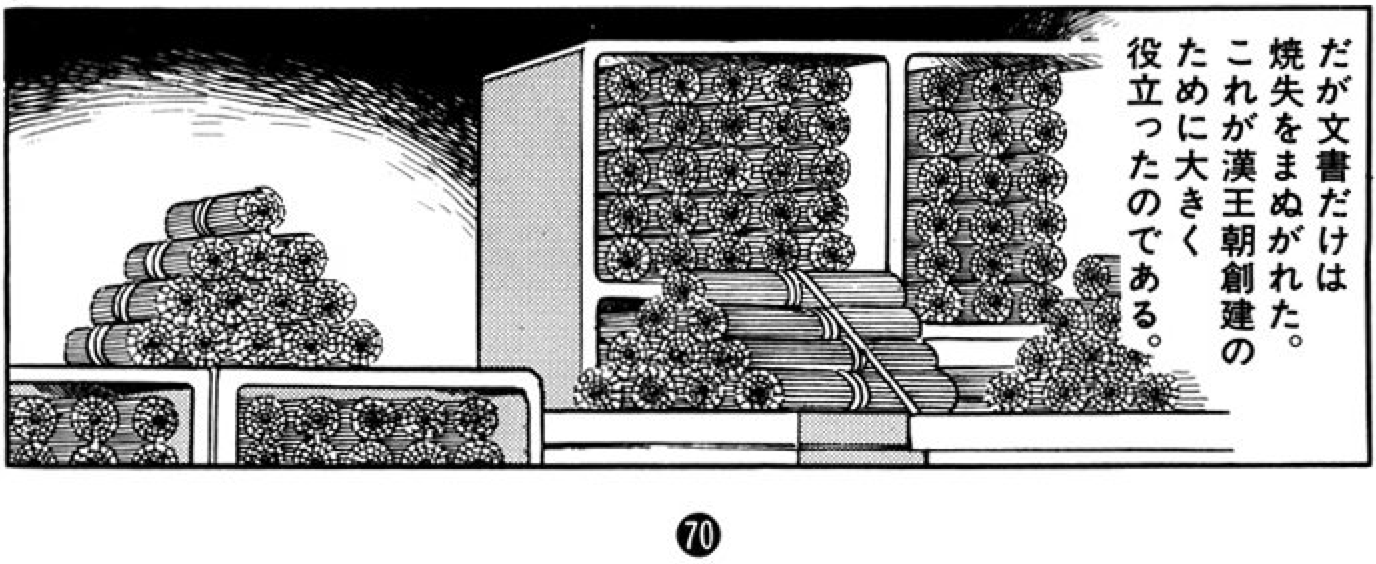
4


だが蕭何は、
宝物などに
目もくれず
秦王朝の文書殿に
足を運んだ。

す、すごい
天下の要害の地、
人口、各国の
戦力などが
すべて記されて
いる。
これは
巨万の富に
まさる宝だ。
これっ
これをすべて
運び出せ。
はっ。
蕭何はこれを
すべて漢の
陣営の中に
運びこんだ。

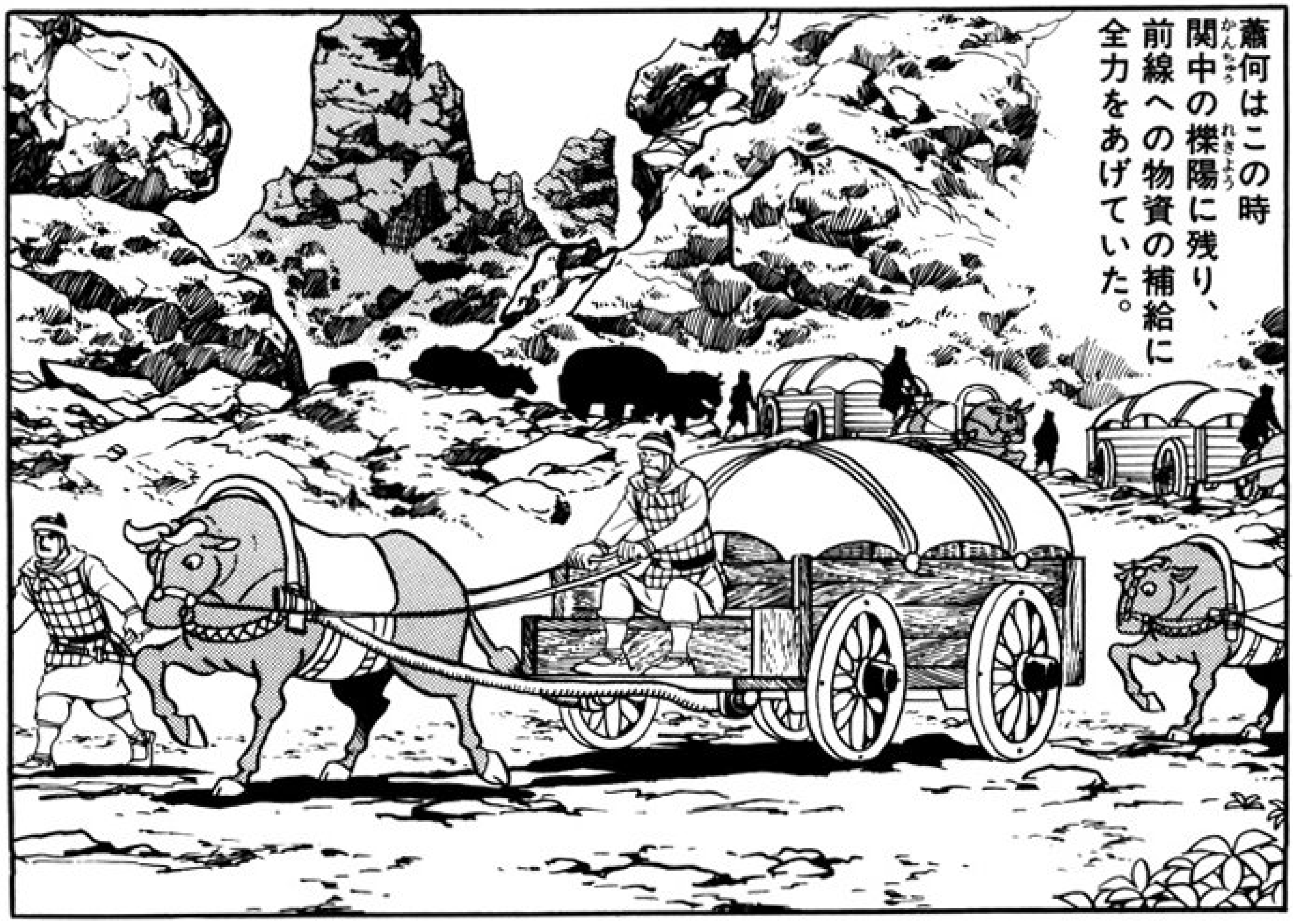
その夜項羽は、
秦の都 咸陽を
焼き払った。

6


だが文書だけは
焼失をまぬがれた。
これが漢王朝創建の
ために大きく
役立ったのである。

漢王となった劉邦は韓信を得て東進を開始した。

7


蕭何はこの時関中（かんちゅう）の櫟陽（れきよう）に残り、前線への物資の補給に全力をあげていた。

漢軍は楚軍との戦いで
常に苦戦を
強いられていた。

8

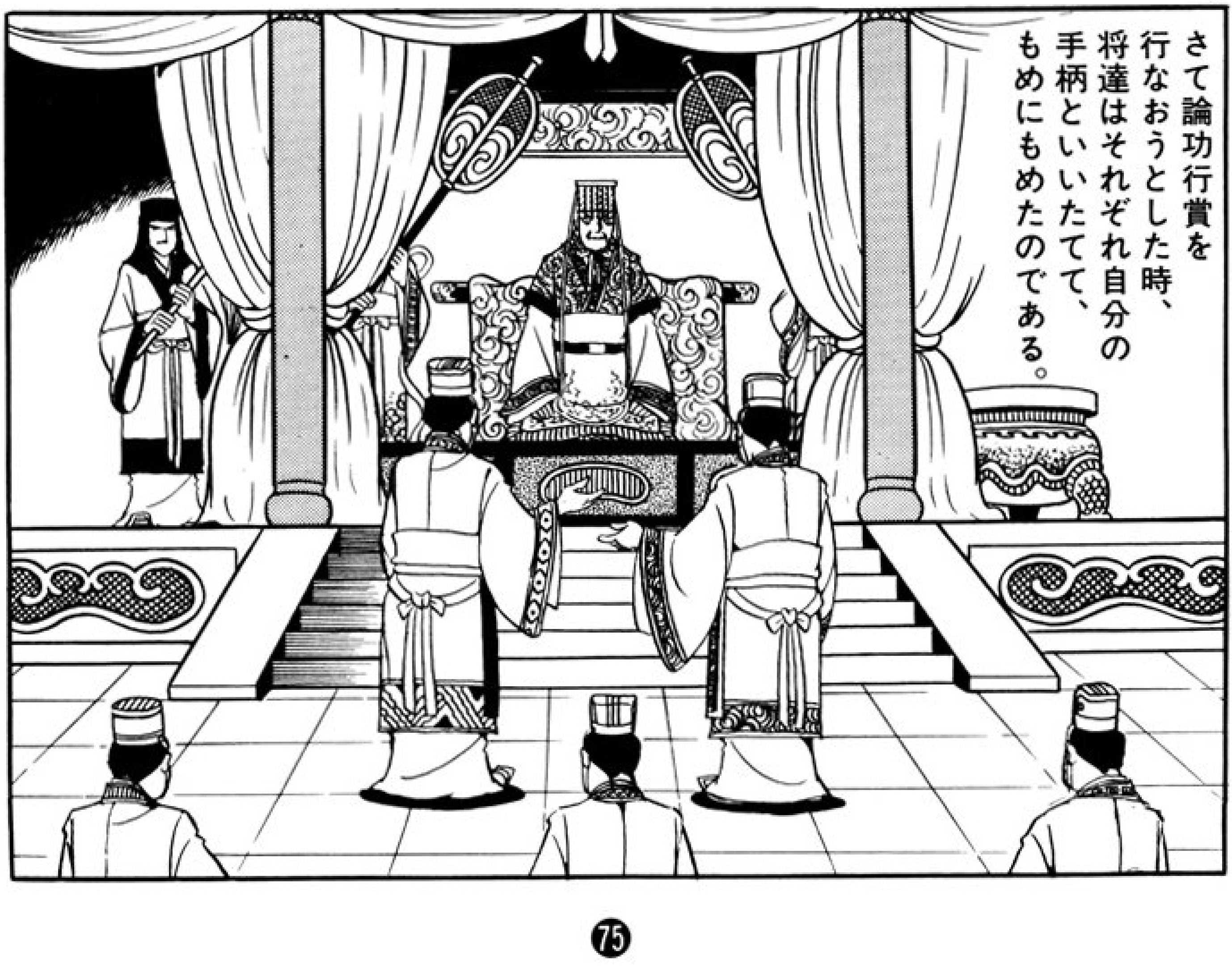
そんな激戦の中で
劉邦はたびたび
蕭何の労を
ねぎらう使者を
櫟陽に送った。

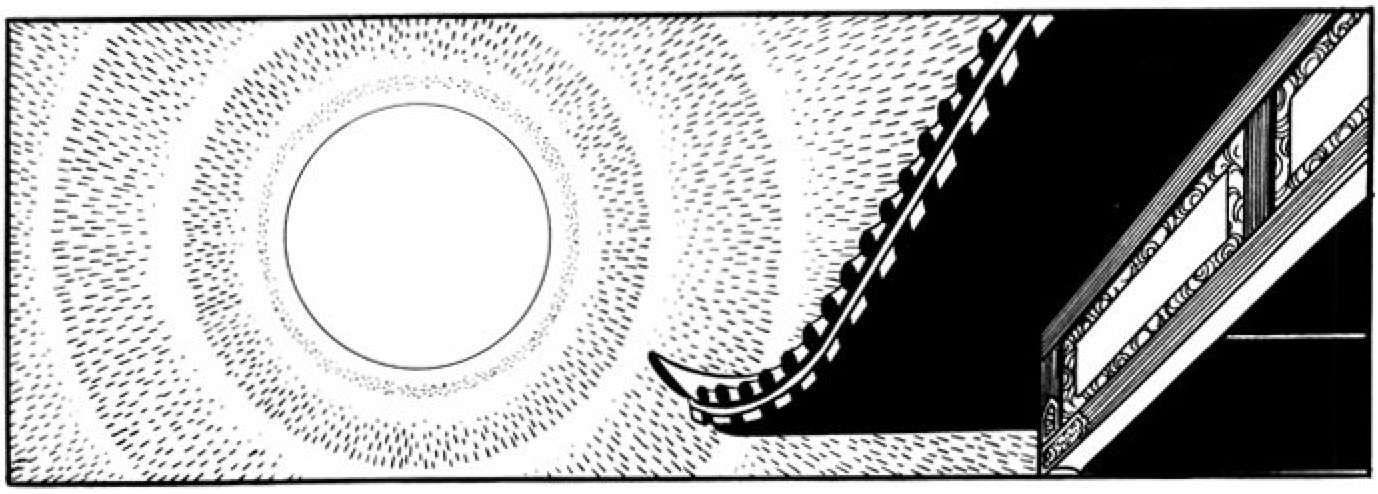
櫟陽
櫟
丞相さま また漢王さまから 労苦のねぎらいの 使者でございますか。
おう そうじゃ。激戦の最中でも わたしを気遣って くださる 有難いことじゃ。
わたしは そうではないと 思います。
なにっ？

前線の漢王さまは苦戦なさっておられます。それなのに後方のあなたをねぎらうとは、ただごとではありません。これはあなたを疑っている証拠です。
わしを疑う……
漢王さまは関中のことは、すべてあなたにまかせきりです。あなたは関中の主になろうと思えばいつでもなれる立場です、心配するのも当然かもしれません。
うむむ……どうすればよかろう。
あなたの身内で、戦場に出れる者は、すべて出陣させるべきです。ならば漢王も安心なされるでしょう。
10
蕭何は急いで数十人の身内を出陣させた。

漢の五年
(前二〇二)
劉邦はついに
楚の項羽を倒し、
皇帝となった。
漢
漢
漢
漢

11


さて論功行賞を
行なおうとした時、
将達はそれぞれ自分の
手柄といいたてて、
もめにもめたのである。


12

みなの者、そちたちの言い分を充分に検討したが、最高の功労者は蕭何である。よって簫何には、鄼(湖北省光化県)を封地として与える。

陛下、お言葉を返すようですが、その決定には納得しかねます。われわれは躰をはって戦いぬき楚軍を打ち破って今日にいたったのです。
その通りです、蕭何どのは後ろにいて机上で戦略を練っていただけではありませんか、それが功労第一とはどういうわけでございます。
そちたちは、狩猟というものを知っているか。
存じておりますが……？
ならば猟犬を知っておろう。
よいか、狩猟をする時獲物（えもの）を追って仕止めるのは猟犬……だがその猟犬を放ち指図するのは人じゃ。
そちたちは逃げ回る獲物をしとめただけのことで、その手柄は「犬」の手柄である。

ところが蕭何は、おまえ達の綱を解き指図したわけで、これは「人間」の手柄だ。
それだけではない、そちたちは身ひとつでわしについて来た、だが蕭何は一族あげて数十人も戦場に送りだしたその功績も無視できぬ。
そうか陛下は蕭何を功労第一としたいのだ。
陛下にうかがいます。平陽侯の曹参どのは身に七十か所も傷を受け戦いぬき、城を落としていきました。これでも「犬」の手柄と申されますか……
御一同、その意見は間違っておりますぞ。

たしかに曹参どのは、野戦において目を見張るほどの功績をあげられた、しかしそれは一時の功にすぎません。
なんですと！
まあお聞き下さい、陛下は楚軍と戦うこと五年、その間いつも追いつめられ、戦いに敗れて身ひとつで脱出されたことも再三ありました。
そのたびに蕭何どのは、関中から数万の兵力を補充し、滎陽から西へは楚軍を入れさせませんでした。
そればかりか、楚軍が常に兵糧の確保に苦労をしているのに、蕭何どのは漢軍を飢えさせることなく兵糧の補給をつづけ、陛下がいつでも関中に帰れるよう守りました。
これこそ万世にわたる功績です。百人の曹参どのを失ってもわが漢はびくともせず、また百人の曹参どのがいるからといって、漢は安泰であるとはいえませぬ。蕭何どのの功を第一とするのは、正しいと思いまする。

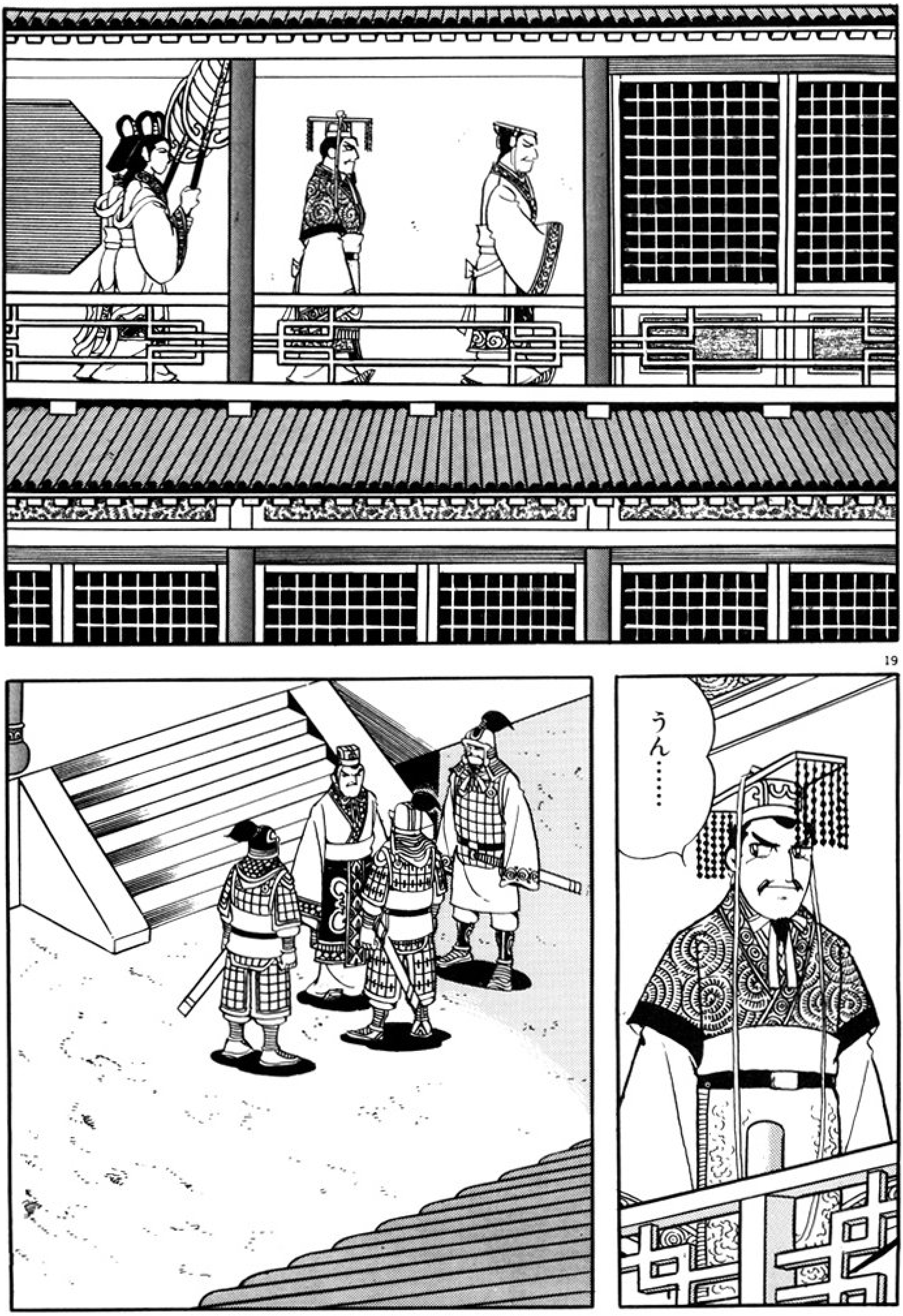
そ、その通りじゃ
鄂君よ、わしの言いたかったことはそれじゃ、よくぞ代弁してくれた。
みなの者、わしの気持ちがわかったであろう。
ところで鄂君よ、「賢を推薦する者は厚賞にあたいする」とわしは聞いておる。そちの言葉で蕭何の功績はより明らかとなった、そなたの爵位を一級あげて、安平侯といたす。
ははっ。
16
このやりとりを聞いて諸将は黙ってしまった。

張良よ、そなたは陰になり日向になって、わしを助けてくれた。恩賞として斉の三万戸を与える、好きな場所を申せ。
とんでもない、わたしは下邳で兵を挙げ 留の地で陛下にお会いしました。これは天のおひきあわせでございましょう。
陛下がわたくしの策をお用いくだされ、それが成功したのは時のなりゆきでございます。わたしは留の地だけで充分で三万戸など分に過ぎます。
ほう、欲がないのう。

17

本当にそれだけでよいのか。
はい、充分にございます。
よし、ではそなたを留侯に封じる。
ははーっ。
ところで陛下、それがしと共に少し宮殿を歩いていただきたいのですが……
かまわぬが、何があるのか？
歩いていただければわかります。

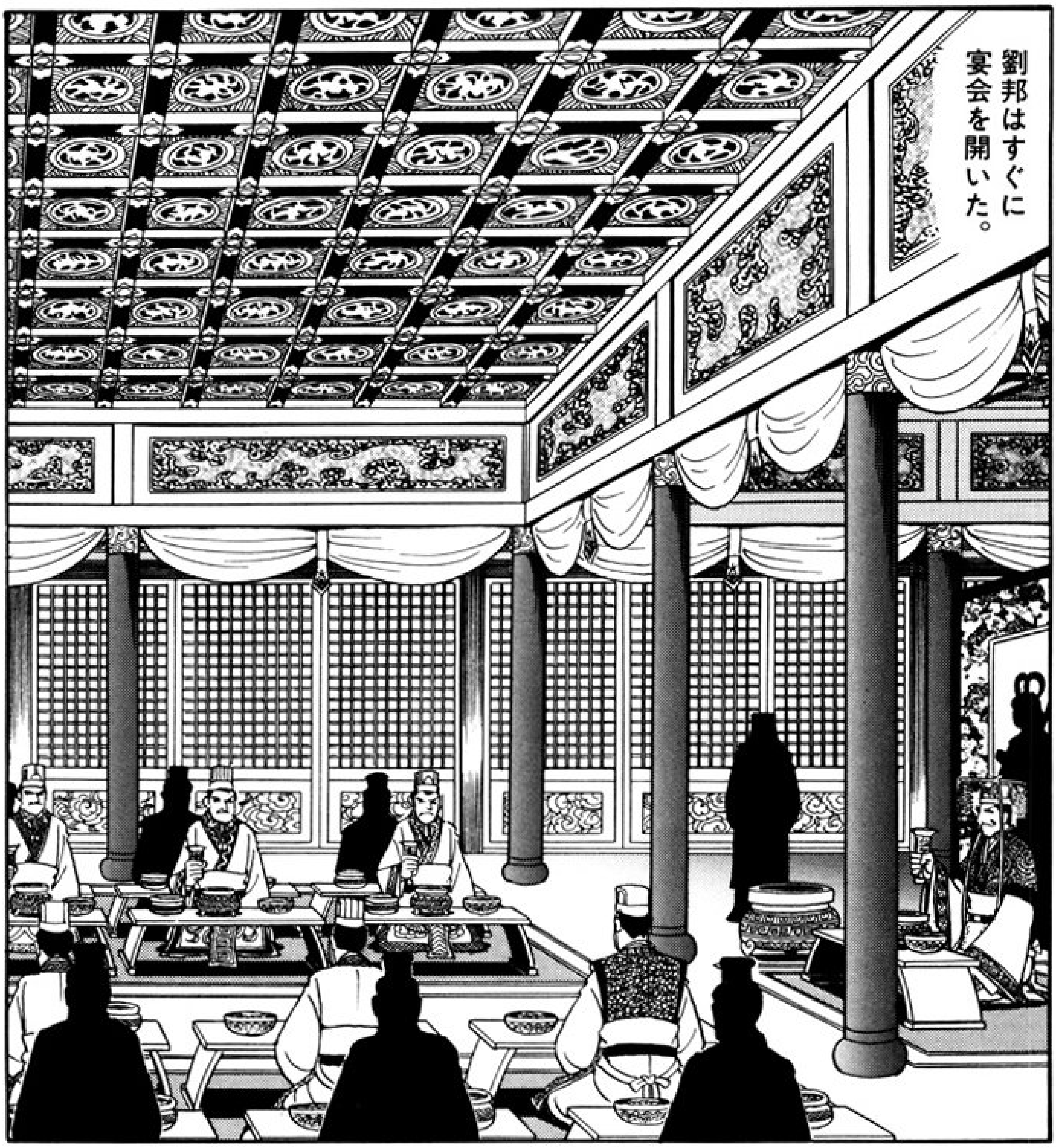
18



19

あの者達何をいたしているのじゃ。
反乱を相談しているのでございます。
な、なにっ!?
漢に集まった諸国の将は、陛下への大義名分のためや忠誠心のためではありませぬ、陛下の恩賞の多さ…「利」を求めて集まってきたのです。
ところがまだ恩賞が決まっておりませぬ、それが不平で反乱を起そうかと相談しているのです。
な なんと……

それは大変だ、張良 これを鎮める方法はないか？
陛下が日頃もっとも毛嫌いしていて、それを誰もが知っている人物はどなたでございます。
雍歯だ。やつはわしにたてつき、殺してやりたいと思ったこともある、だが功績が大きいので我慢している。
それではまず、雍歯に封地を与えてまわりの者にお示し下さい。雍歯が封じられたとあらばみなも落ち着きましょう。
よし、すぐに宴会を開いてみなの目前で雍歯の封地を発表しよう。
それが、ようございます。

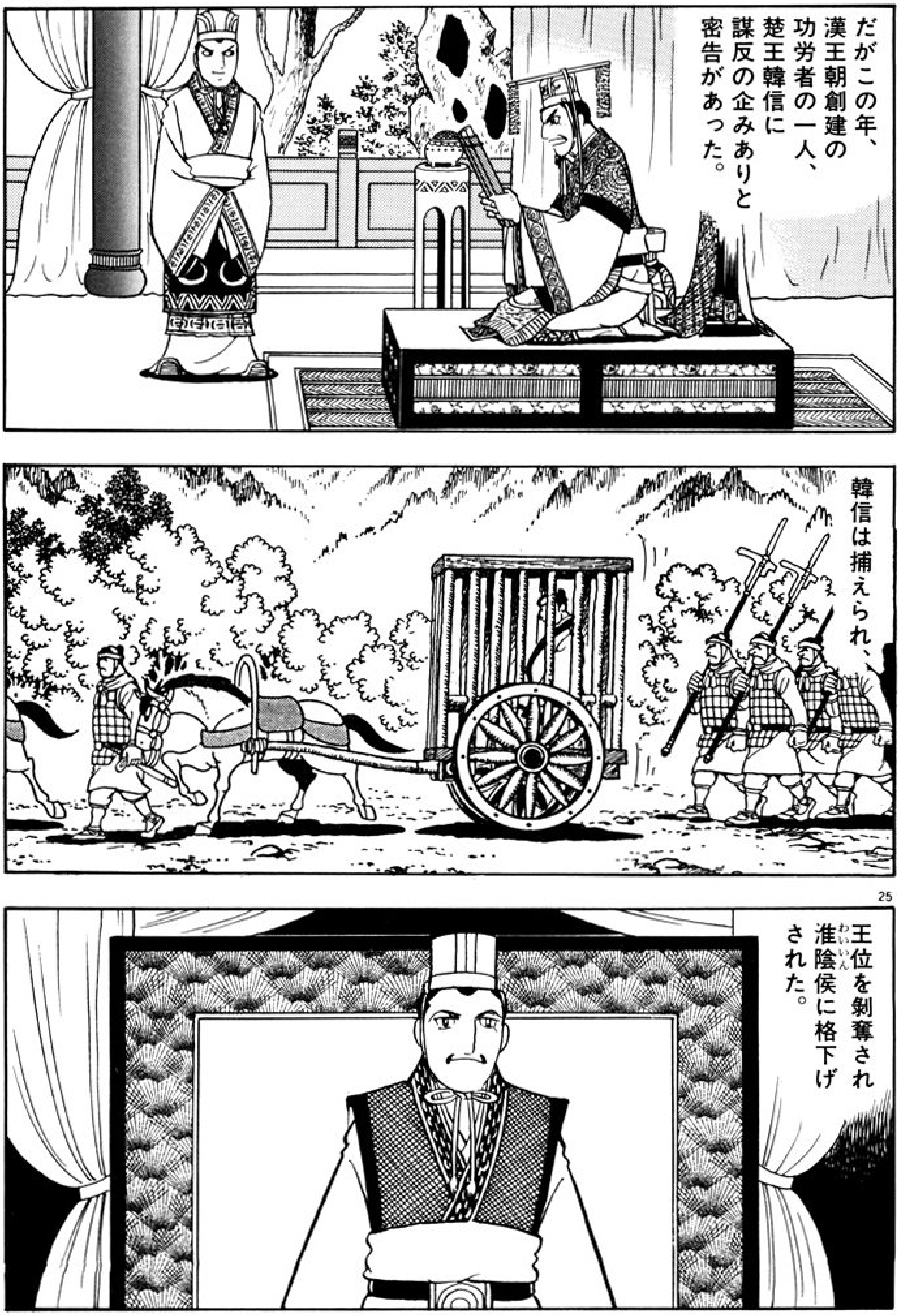


22

雍歯よ。
はっ。
そちの功績は大きい、よって今日の晴れの席で そなたを什方侯に封じる。
ええっ それがしを什方侯に!?
まわりの諸将は一瞬キョトンとした。
これは驚いた、陛下に一番嫌われている雍歯が恩賞を与えられたぞ。
ならば、われわれにも恩賞が与えられる。

23

なお、
他の者達も
丞相に急がせて
出来るだけ早く
論功行賞を
決めることにする。
これで険悪に
なりかけた
君臣との間は
一気に和らいだ
のであった。
ワァッ
ワァーッ

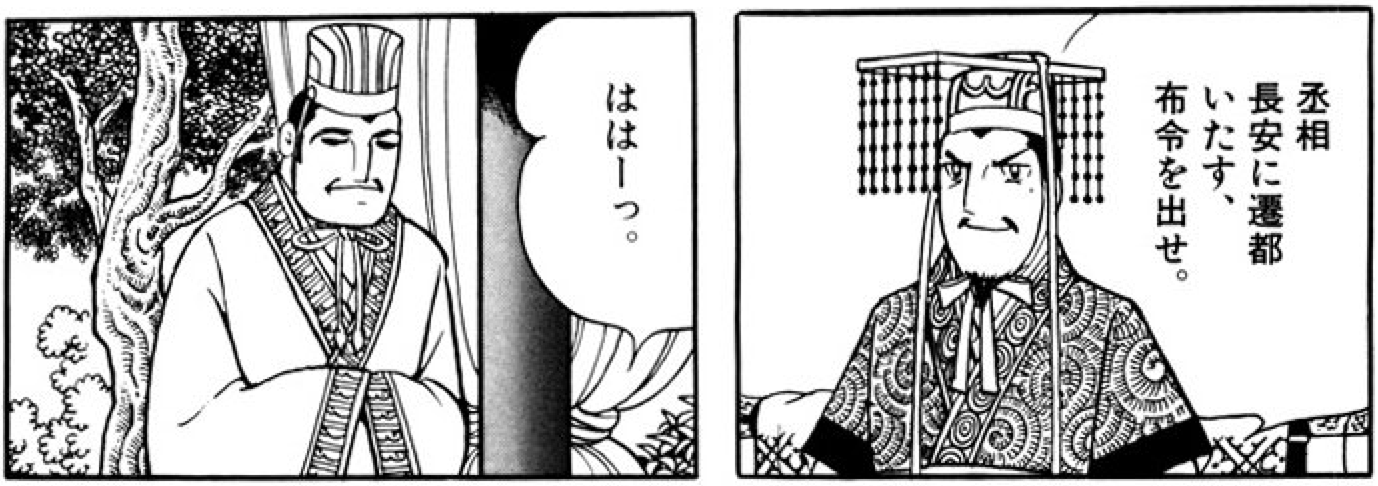

だがこの年、
漢王朝創建の
功労者の一人、
楚王韓信に
謀反の企みありと
密告があった。
韓信は捕えられ、
王位を剝奪され
淮陰侯に格下げ
された。

25

張良よ、
劉敬というものが、
関中に都を定めるよう
奏上して
まいったが
どう思う。
それはよい
ことで
ございます。
26
天下はまだまだ
不安定……
洛陽は堅固で
ありますが土地はやせ、
中原に位置して
おりますゆえ、
四方から攻められると
孤立してしまいます。

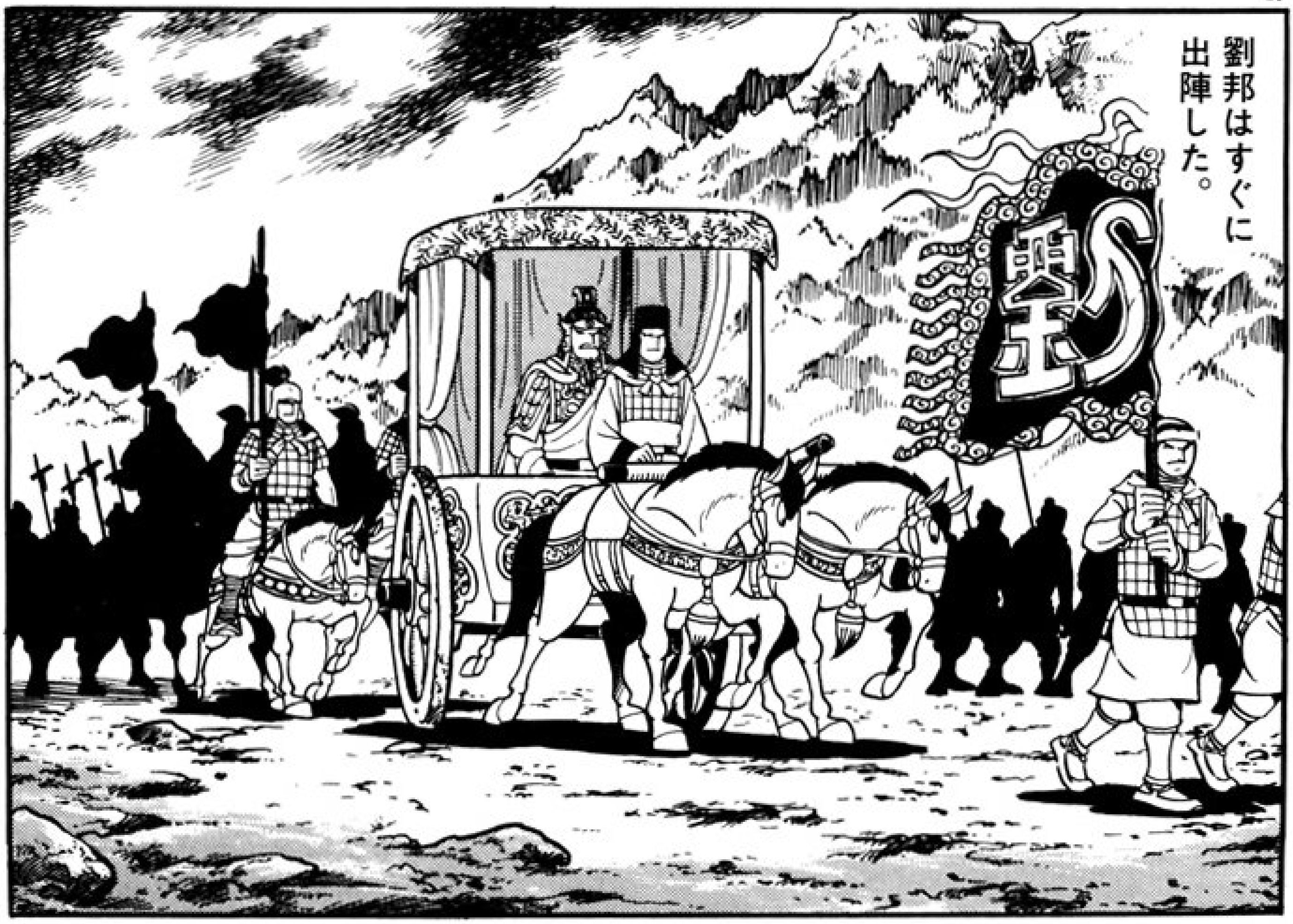
だが関中ならば、
東に殽山 函谷関、
西に隴山から岷山
南には巴・蜀の
天険に守られており、
沃野千里……
これこそ王城の地で
ございます。
長安あたりに
都を遷せば
万全かと
思いまする。
なるほど……

27

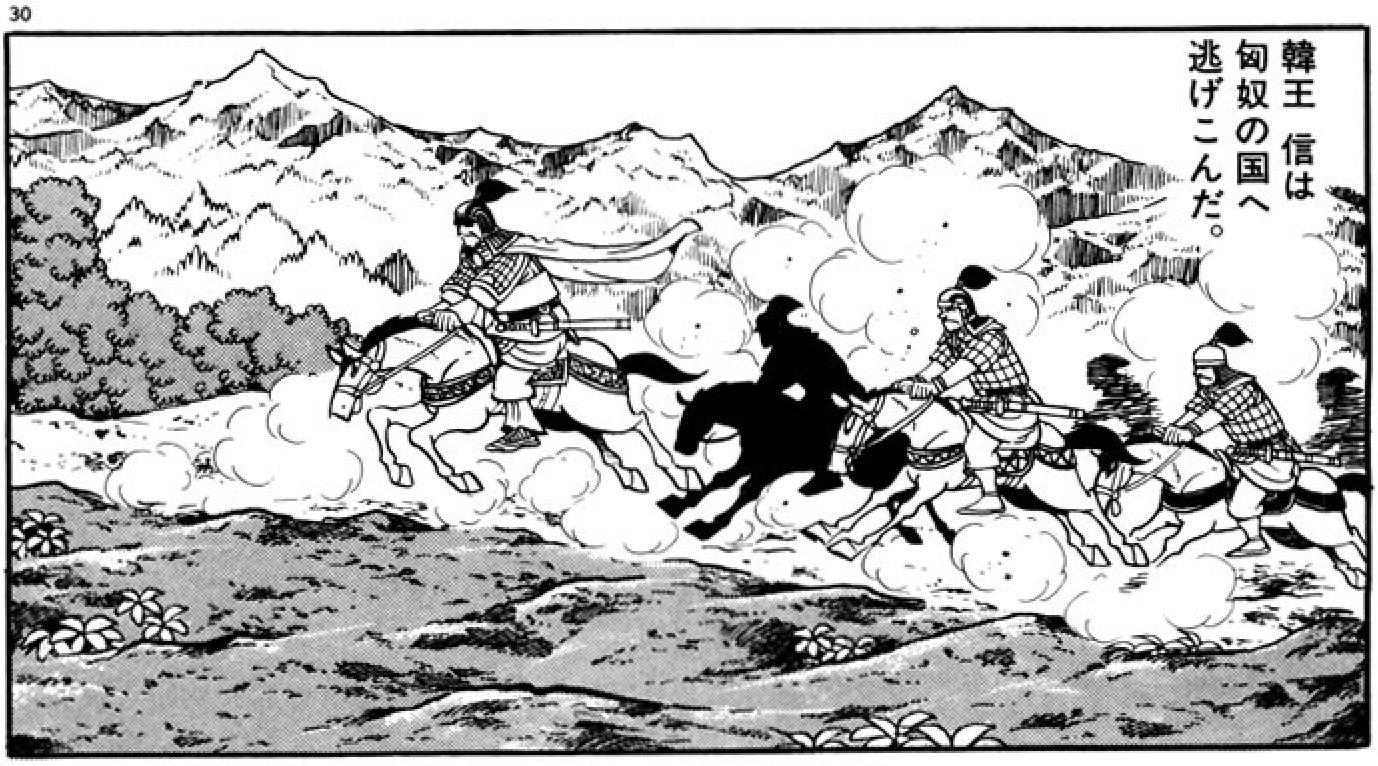


28

29



30



そして部下の将軍
曼丘臣 王黄らに
連絡をとり、
趙王の子孫の
趙利を王として立て
反乱を起した。
趙

31

劉邦は今度は
趙利軍討伐に
軍を進めた。

そして趙利軍も
撃破し長安に
引き返した。

32

だがこの時、
漢軍の兵の三割が
凍傷にかかり
指を切りおとす
ありさまで、
長安に凱旋した。

33

蕭何！
天下は戦いに
あけくれ いまだ
勝敗がわからんのに
こんな大きな
宮殿を建てるとは
どういうつもりだ！
天下のゆくえが
定まらぬゆえ、
このような
宮殿が必要
なのです。
なんだと
？
天子たるもの
これくらいの
宮殿に住ま
なければ
なりません。
34
だがな 天下の
安定するまでは
まだまだ軍費も
必要とする
こんなものは
無駄使いだ。
いいえ 今が
一番必要なのです。
これで陛下が
天子であることを
天下に示し
威厳を保つのです。

それにこうしておけば後世にこれ以上の立派な宮殿を建てる必要はありませぬ、これが政治というものです。
この完成祝いに諸侯をまねくのです。諸侯はあらためて陛下の力を知り、おとなしくなりましょう。
そうか、贅沢だけの宮殿ではないのだな。
劉邦はすっかり機嫌をなおし、兵糧庫から武器庫まで備えた宮殿を見てまわった。

35

漢の十二年鉅鹿の大守になった陳豨が反乱を起した。これは淮陰侯韓信と打ち合わせのうえであった。

36

韓信は劉邦が出陣するや、都を乗っ取る計画であった。

しかし韓信の
計画は召使いの
密告で事前に
もれ……

韓信は宮中に
参内した所を
捕えられ殺され
……

韓信の一族は
ことごとく
処刑された。

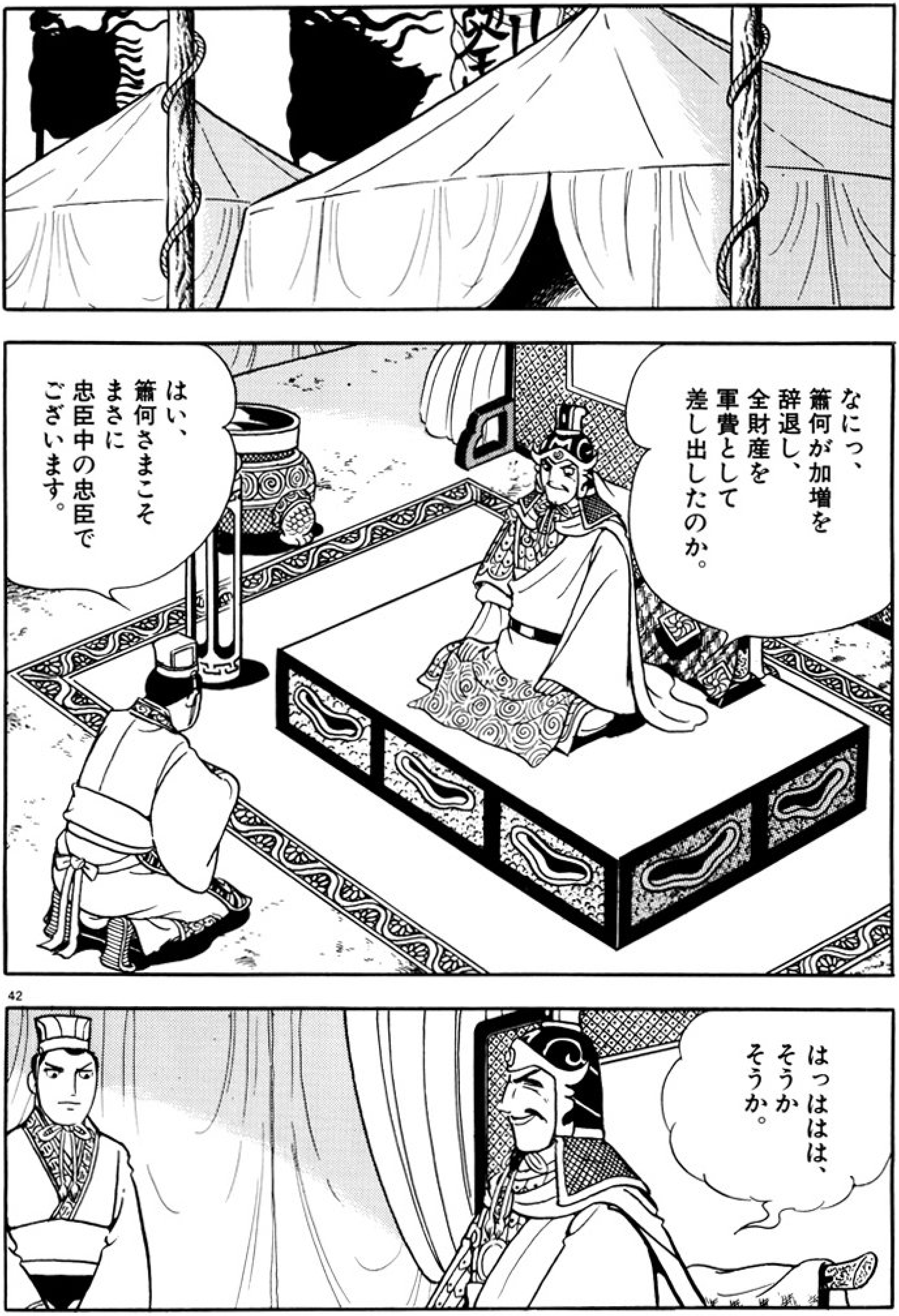
なにっ やはり韓信も この謀反に一枚 かんでいたのか!!
…はっ、蕭何丞相が うまく韓信を 討ち取り、関中での反乱は 未然に防ぎました。
そうか、よくやった 韓信に反乱を 起されていたら 長安はあっという間に 乗っ取られていたで あろう。

38

よし、
その手柄により
蕭何を宰相といたし
五千戸の
領地を加増すると
伝えい。
はっ。
それから
屋敷には
五百名の
警備の兵も
つけてやるのじゃ。
ははっ。
39
使者は
戦場から
長安に走った。

蕭何の屋敷には次々と祝いを述べに客が訪れた。
40
だが一人、もと秦の時代の東陵侯で今は庶民となっている人物だけは召平悔みを述べたのである。
蕭何どの、これよりあなたの身に禍が始まりまするぞ。
召平どの、それはどういうわけでござる。

陛下は戦場で身をさらし 危険となりあわせです。蕭何どのは国内の留守番で身の危険もない、それなのに加増し護衛兵までつけたのはなぜでございます。
韓信を上将軍にまで推挙したのはあなたです。韓信の謀反であなたも疑われたのです。
なんと!?
護衛兵をつけたのはあなたを思ってのことではなく、あなたを監視するためでしょう。ここは加増を辞退し、全財産を軍費として献納なさるべきです。そうすれば、陛下も安心なされるでありましょう。
41
召平先生、よくぞ教えてくださいました。


なにっ、簫何が加増を辞退し、全財産を軍費として差し出したのか。
はい、簫何さまこそまさに忠臣中の忠臣でございます。
はっははは、そうかそうか。

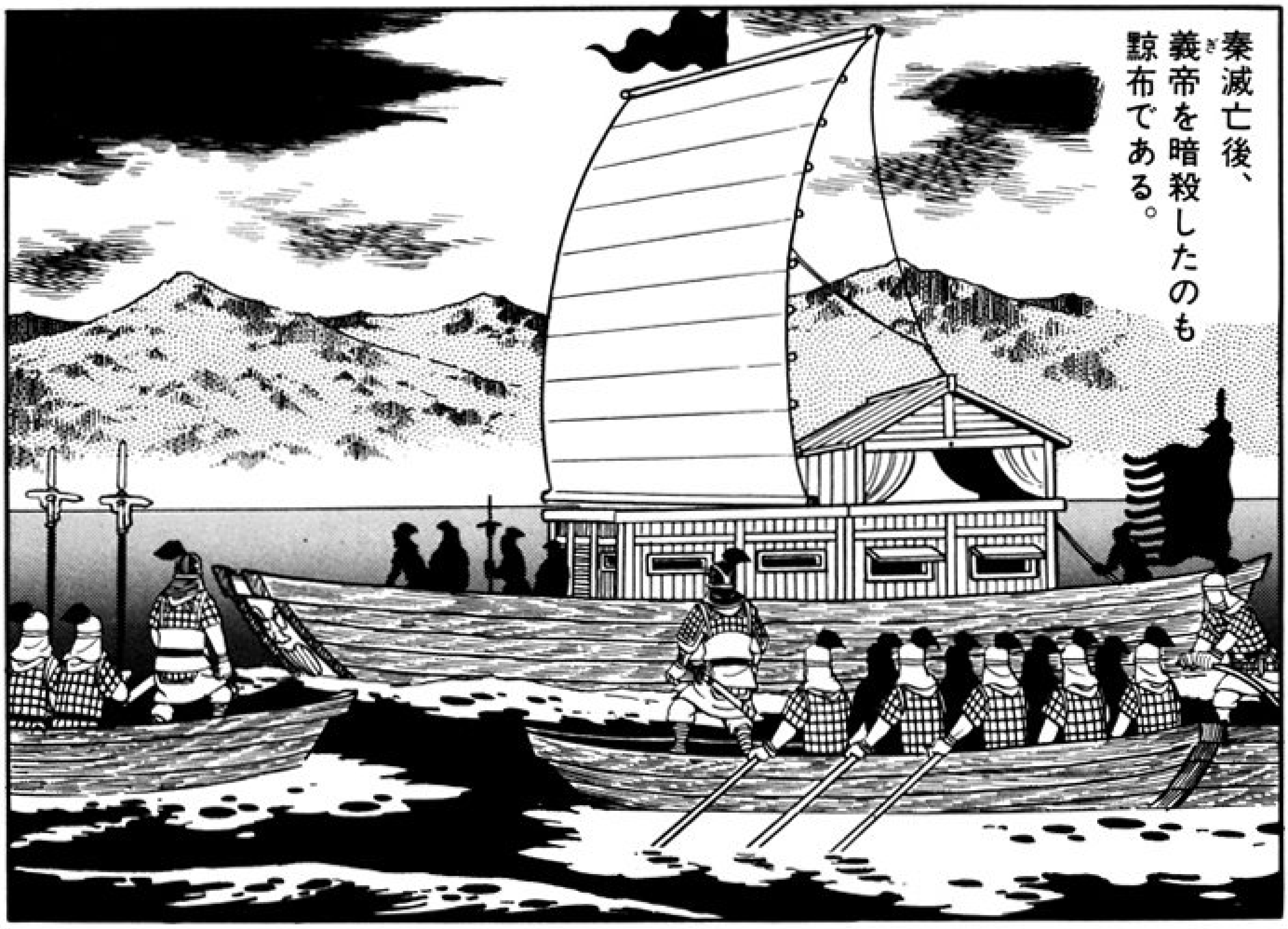
42

この年の夏、今度は梁王彭越が謀反の罪で誅殺された。
その肉は塩づけにされ諸侯に配られた。
これを見て淮南王黥布は恐怖にかられた。

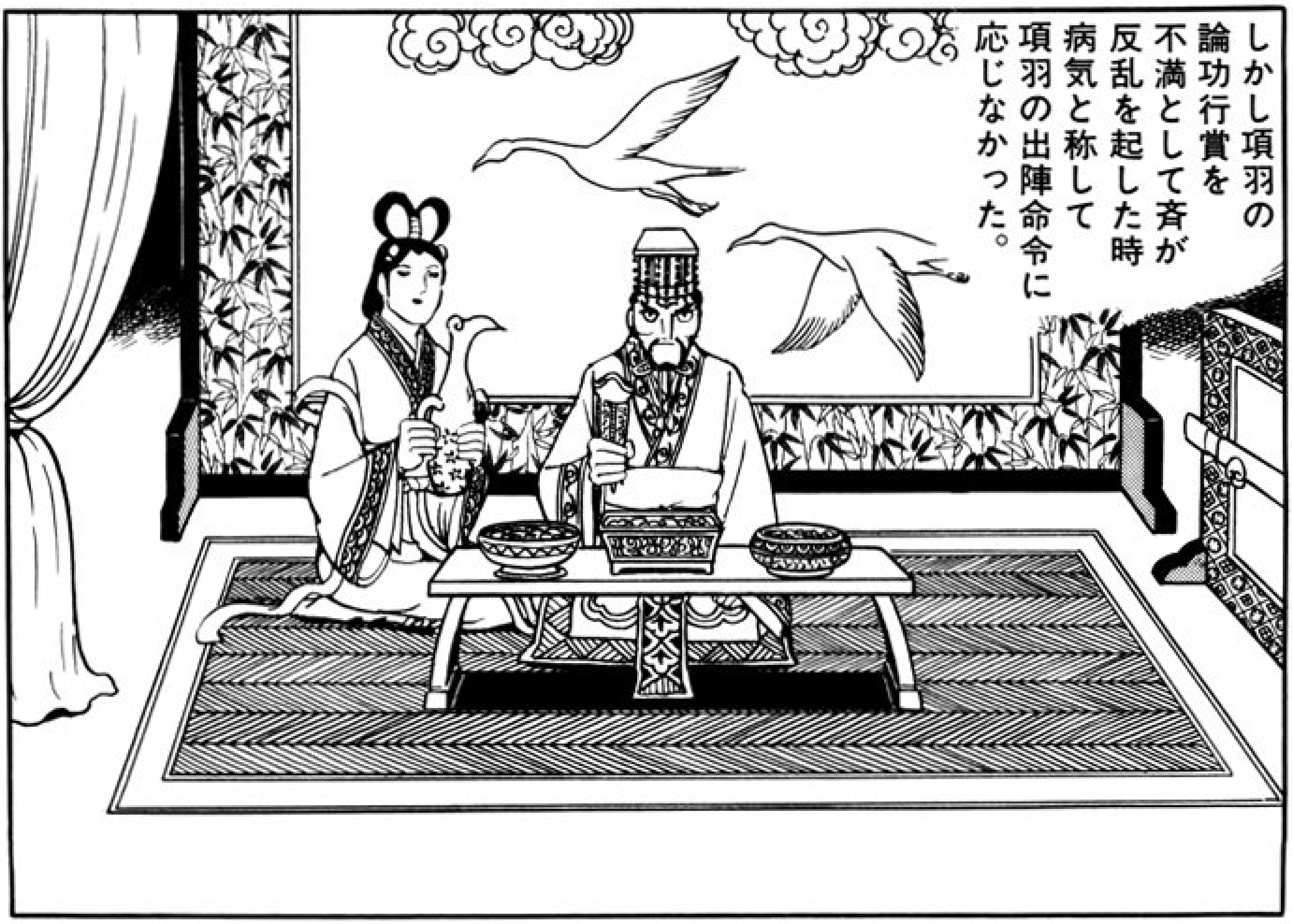
黥布はもと楚軍の
猛将で 常に項羽軍の
先頭に立ち秦軍を
打破っていた。

44

項羽の命で、
秦の降兵
二十万名を生き埋めに
したのも黥布であり、


秦滅亡後、
義帝を暗殺したのも
黥布である。

45


しかし項羽の
論功行賞を
不満として斉が
反乱を起した時
病気と称して
項羽の出陣命令に
応じなかった。

項羽と黥布の間がうまくいってない事を知った劉邦は、すかさず説客を黥布のもとに送り味方につけたのである。
黥布は劉邦のために働きこの功績により淮南王に封じられたのである。
46
韓信が死に彭越まで殺された…次はわしの番だ。
みすみす殺されるくらいなら反乱を起し、わしが天下を取ってやる。

47

激戦であった。
この時、劉邦は流れ矢に当って負傷した。
だがこんな時でも劉邦は蕭何の近況をたずねさせた。
その近況を知らせる使者は二度や三度ではなかった。

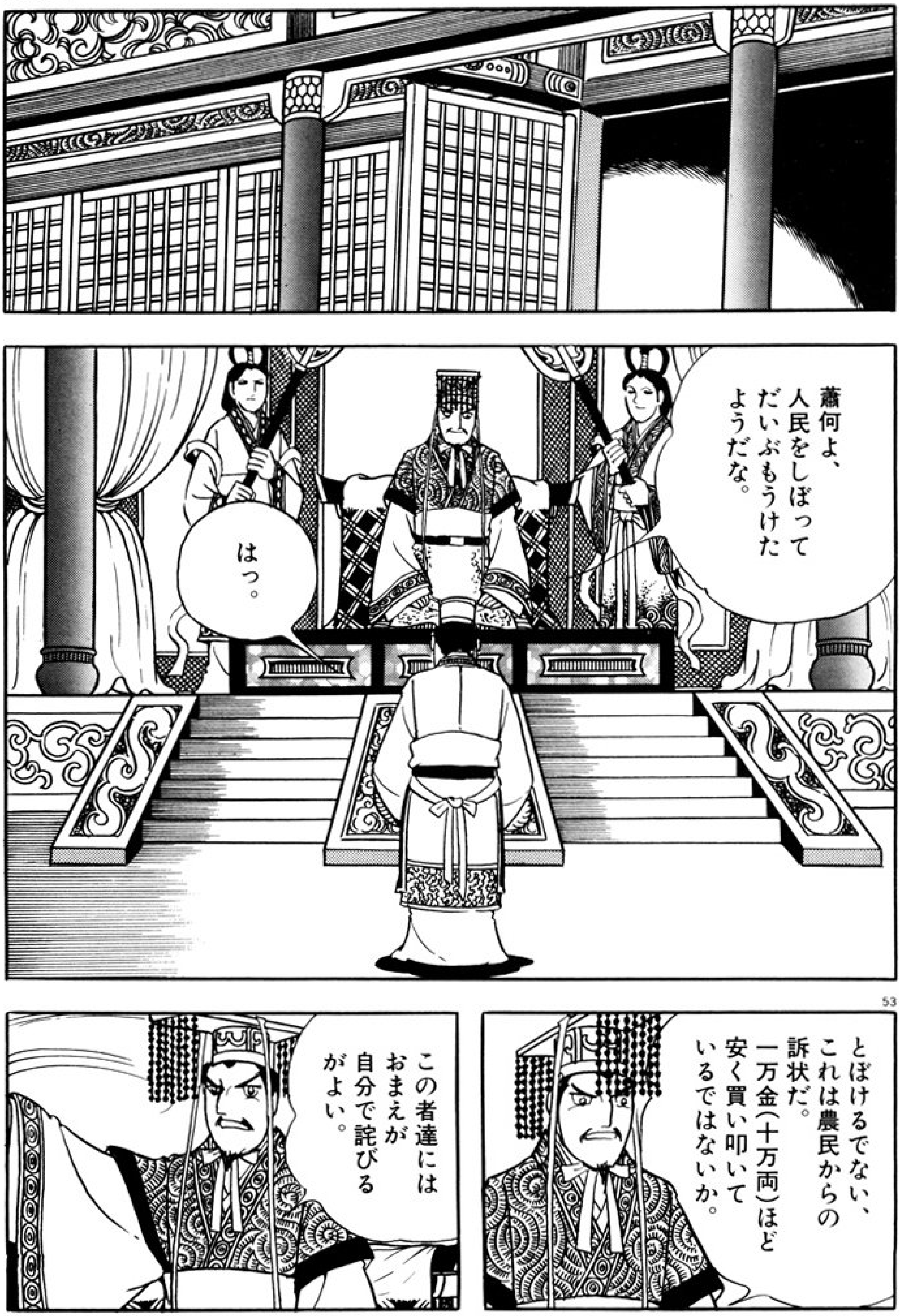
蕭何邸
宰相さま、あなたを始めとして一族は近いうちに根絶やしにされまするぞ。
なぜじゃ、わしは全財産をはたいて軍費として差し出し、陛下に協力しているぞ。
49
あなたが名宰相だから陛下は恐れているのです。
なにっ?

あなたは
宰相の位にあり
功績も最高で、
これ以上昇進
するとすれば、
天子の位しか
ありませぬ。
あなたは関中に
移ってからも
人心の掌握に
つとめてこられ、
あなたの善政によって
人民はあなたを
尊敬しております。
あなた一人で
人望を集めて
おられる。
あなたがその気に
なれば、いとも
簡単に関中の人々は
従いましょう。
陛下はあなたの
人望を恐れて
いるのです。
そのようなことを
申されても、
どうしてよいか
わからぬ。
悪宰相になる
ことです。
自分の評判を
落とす以外 助かる
道はありませぬ。
どうでしょう、
田畑を安く買い
叩いたうえで
支払いを渋るのです。
そうすれば、あなたの
人望はたちまち
落ちましょう。
そうなれば陛下も
安心なされましょう。
そこまで
するのか……

50

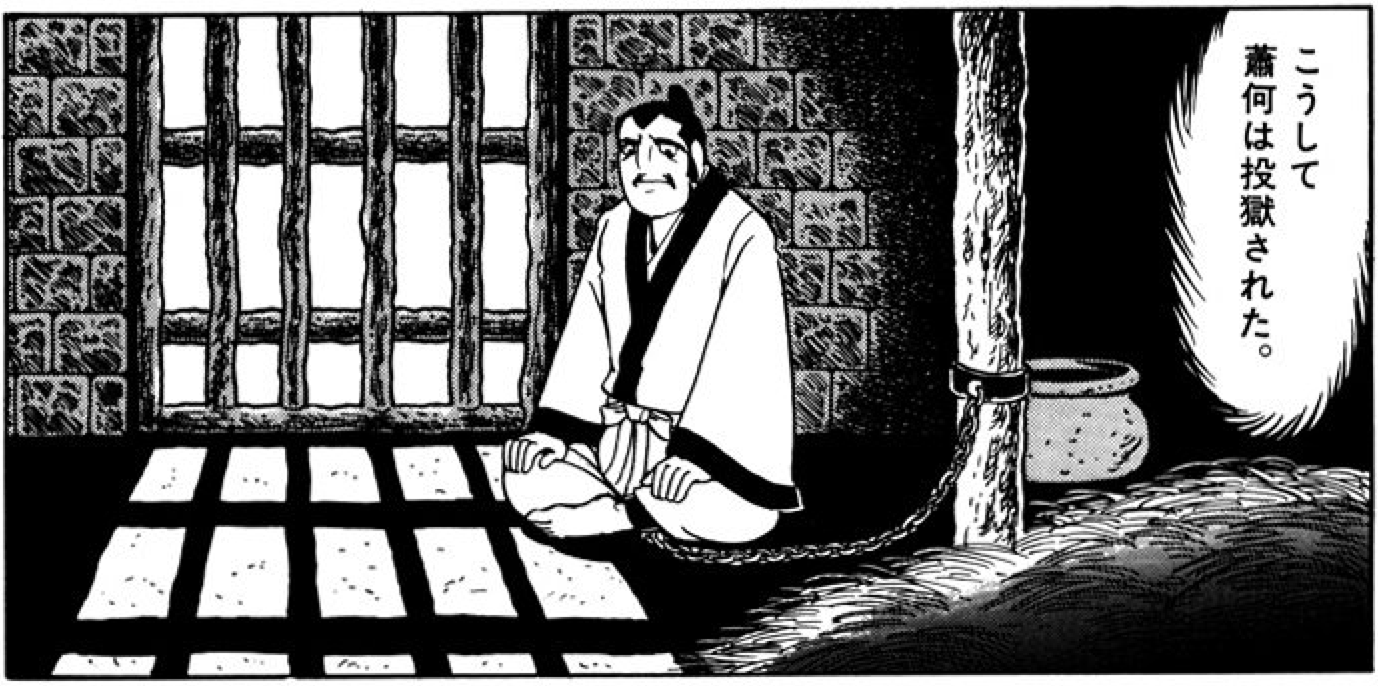
陛下はいま、猜疑心の虜になっておられます。これは陛下が悪いのではなく、今まで多くの君主がおちいった病です。蕭何さまが助かる道はこれしか残っておりますまい。
そうか それしか陛下を安心させる方法はないのか……
わかった明日より悪宰相になろう。
51
蕭何は食客のいう通りに地位を利用して田地田畑を安く買い叩いた。

52


蕭何よ、人民をしぼってだいぶもうけたようだな。
はっ。
とぼけるでない、これは農民からの訴状だ。一万金(十万両)ほど安く買い叩いているではないか。
この者達にはおまえが自分で詫びるがよい。

53

陛下に改めて
お願い申しあげます。
長安には農地が
少のうございます。
ところが上林の
御苑(天子の御料地)には
広大な土地が遊んでおります。
これを人民に開放して
やってくだされば民は
もっと豊かになりまする。
なにっ、そちは
商人に賄賂でも
もらっているのか!?
農地が少ないからと
いってわしの庭まで
農地にせいとは
何事か!
こやつを投獄せい!


こうして蕭何は投獄された。

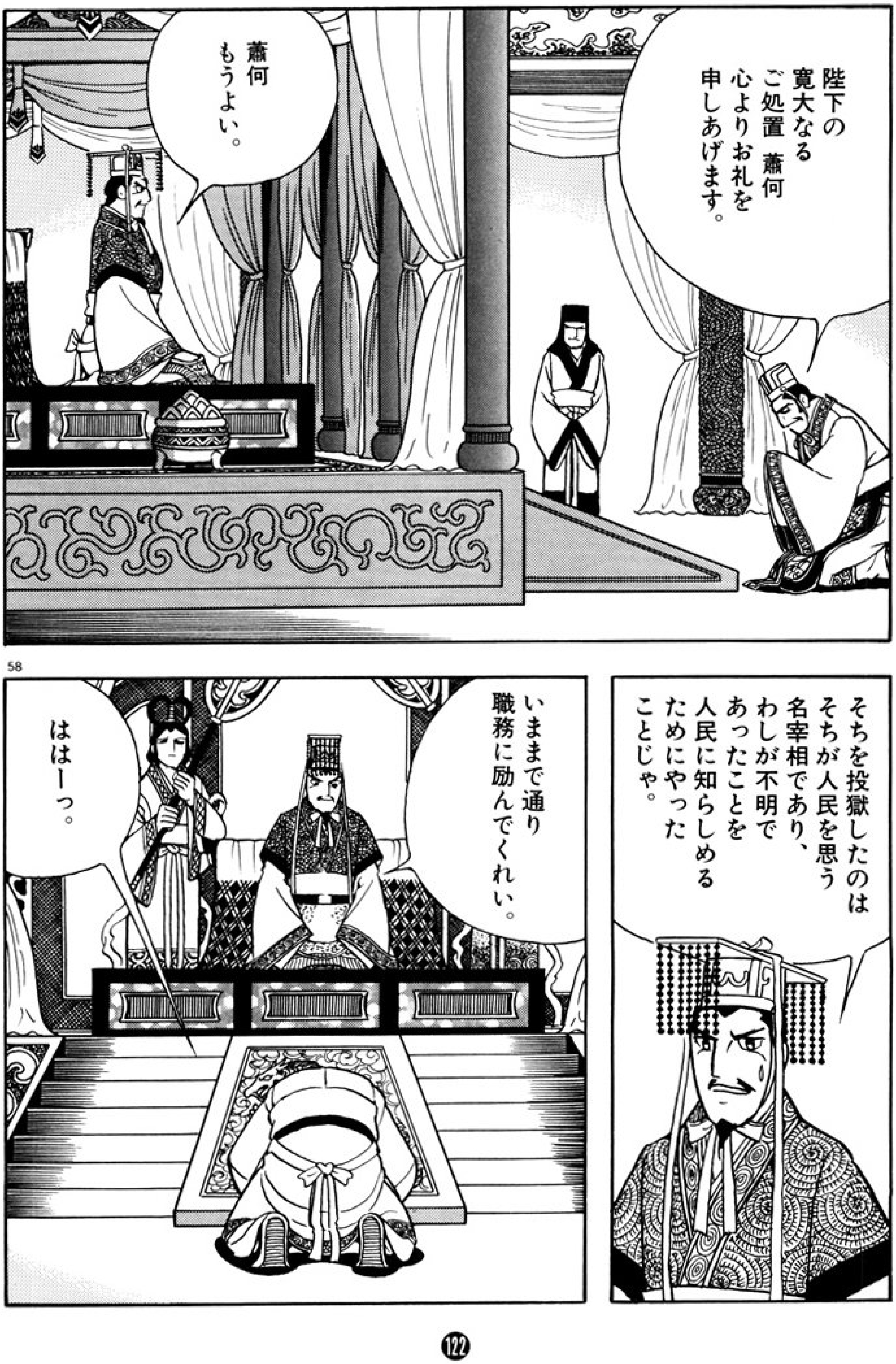
55

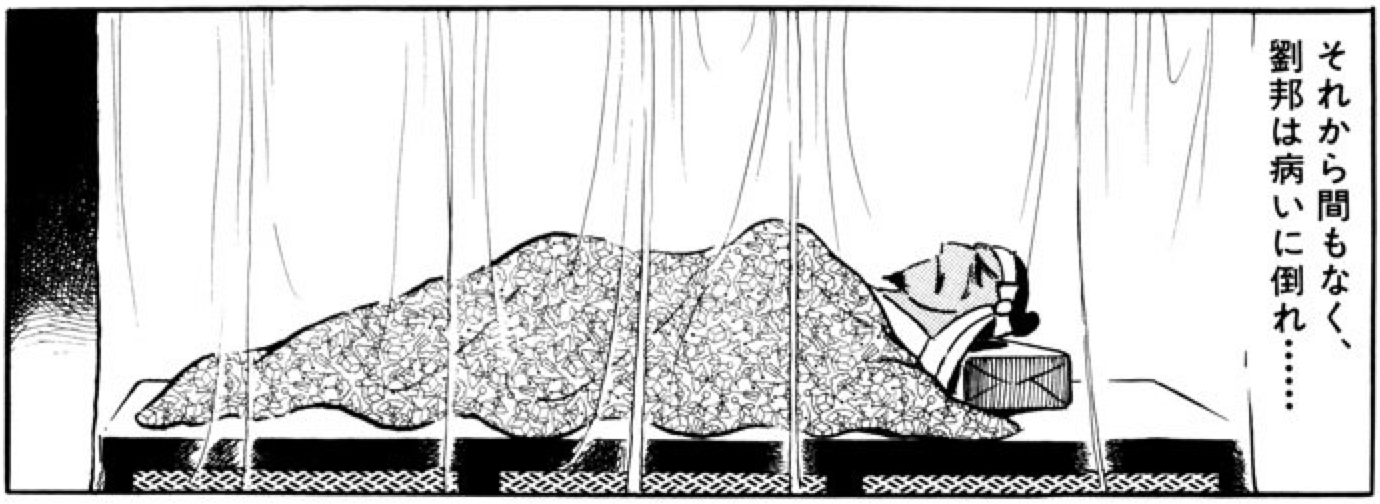
陛下、蕭何どのはどのような重罪で投獄されたのでしょうか？
わからずば教えてやる。秦の丞相李斯は善いことはすべて主君のせいにして、悪いことはすべて自分が引き受けた。

ところが蕭何は商人からたっぷりと金をもらってわしの御苑を開放せよとぬけぬけ申しおった。これは人民の人気とりじゃ。なぜ人気とりをするのか、糾明せねばならん。
そのお考えには、納得いたしかねまする。
なに？
自分の職務の範囲内で民の利益を考えることは、宰相として当然のことでございます。商人に賄賂をもらっているなどと見当違いもはなはだしい。
56
蕭何どのは陛下が楚と戦っていた時も、また陳豨、黥布と戦っていた時も私財を投げうって軍費とし 留守を守っておられました。蕭何どのがその気になれば関中など簡単にとれたでしょう。

この好機に何もしなかった蕭何どのが今になって商人のわずかの金に目がくらむでしょうか。
……
陛下は秦の打倒を果たされましたが、秦が天下を失ったのは臣下の諫言を無視されたからです。蕭何どのをお疑いなされるとは浅慮と思いまする。
ムムム……
わ、わかった、蕭何を牢から出せい。
ははっ。
こうして蕭何は許された。

57


陛下の
寛大なる
ご処置 蕭何
心よりお礼を
申しあげます。
蕭何
もうよい。
58
そちを投獄したのは
そちが人民を思う
名宰相であり、
わしが不明で
あったことを
人民に知らしめる
ためにやった
ことじゃ。
いままで通り
職務に励んでくれい。
ははーっ。


それから間もなく、
劉邦は病いに倒れ……

59

手当ての甲斐もなく、
あっけなくこの世を
去った。
黥布討伐の時
流れ矢に当った
傷が原因だった。

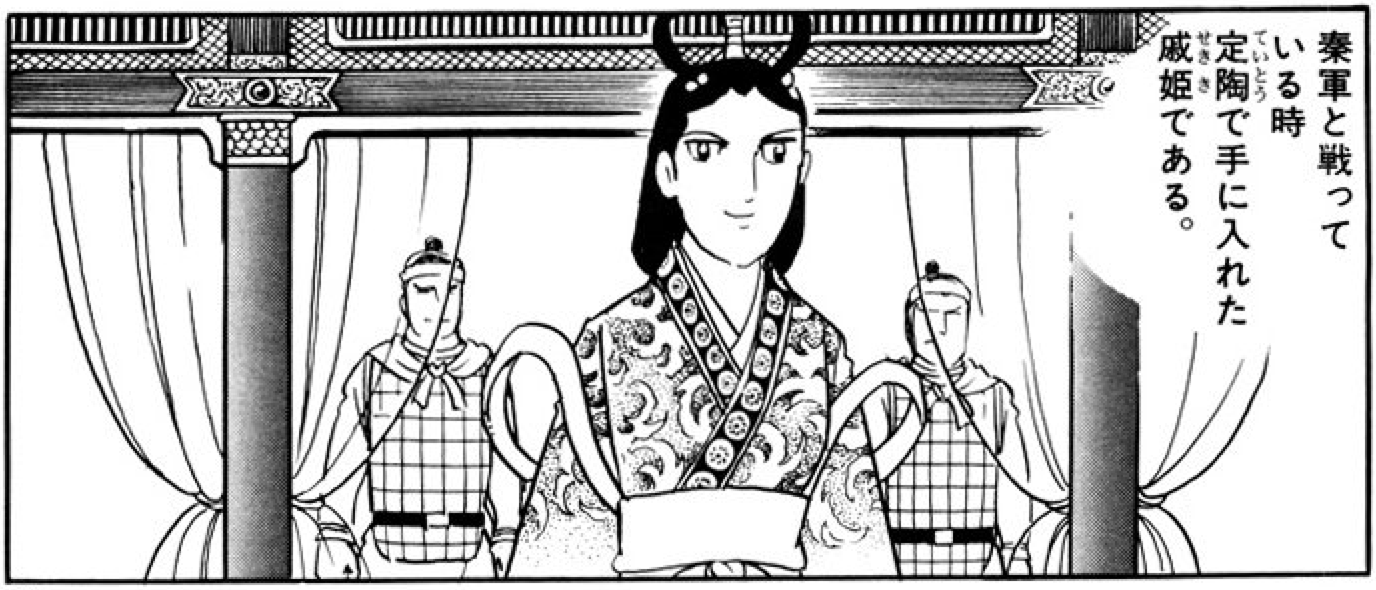
その二年後
蕭何も劉邦の
後を追うように
この世を去った。

60

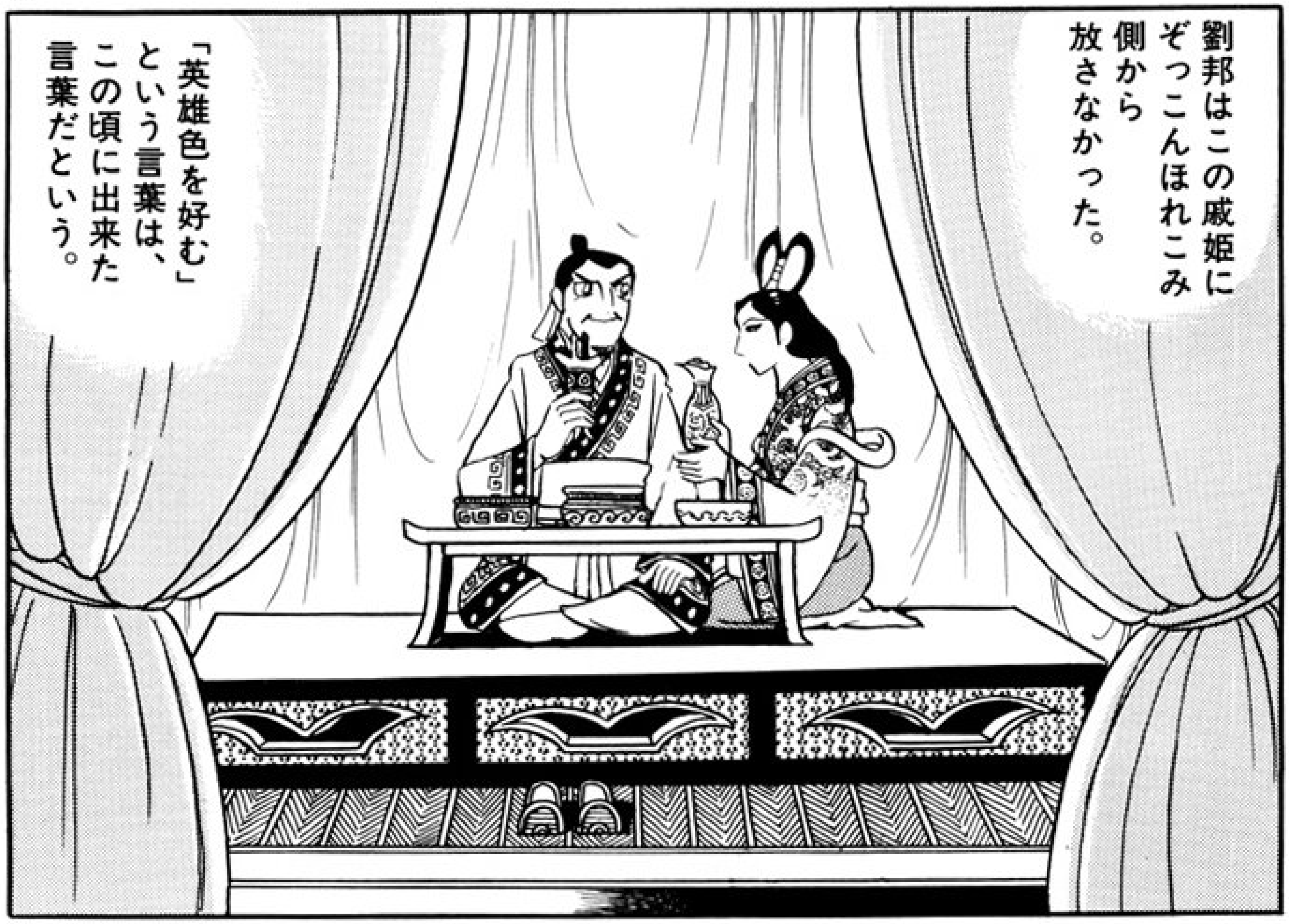
農民から皇帝にまで
のしあがった劉邦だが
晩年は
独裁者の多くが
おちいった猜疑心の
虜となり
人に会うのも
いやがったという。
蕭何はうまく生き抜き、
名宰相の名を残した。

第3話
後継者争い

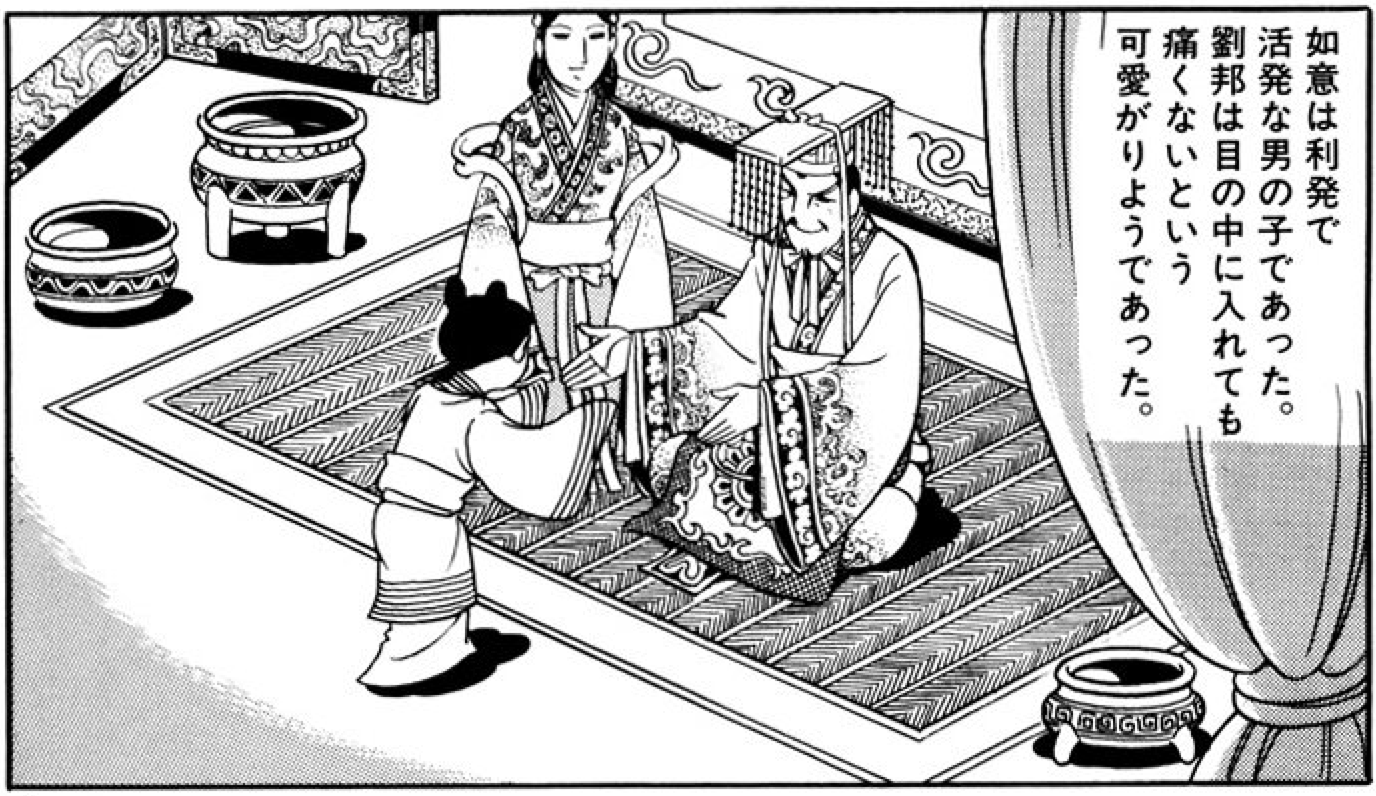
劉邦は生前
溺愛した
女性がいた。

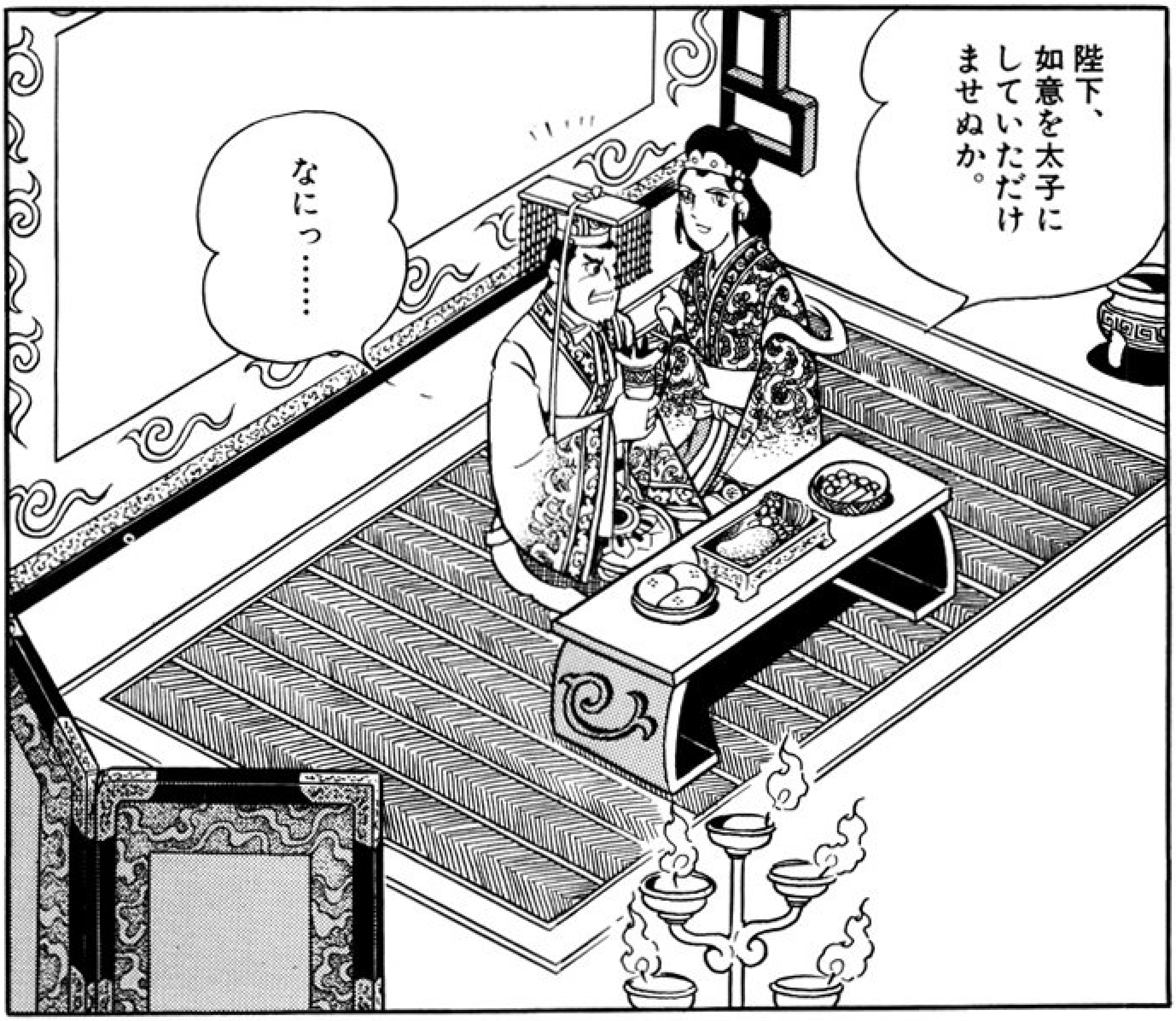


2



やがて戚姫は男子を出産した如意である。
皇帝となってからも同じであった。都を留守にする時は常に戚姫がつきそっていた。
その間、呂后は后とは名ばかりの留守番役であった。


如意は利発で
活発な男の子であった。
劉邦は目の中に入れても
痛くないという
可愛がりようであった。


陛下、
如意を太子に
していただけ
ませぬか。
なにっ……

太子は盈と決まっている。
如意はまだ幼く
わたしは将来が心配なのです。
陛下、
お願いでございます。
どうか如意を太子にしてくださいませ。
ふむう。
それとも如意は太子になれる器ではないと……
いいや、盈よりもいい。
盈は何事にも優しすぎて男らしさがない、あれではいつか人に騙され国を奪われる。
では如意を太子にしてくださいませ。

5

そう簡単に出来ることではない。盈を廃嫡するにしても如意を太子にするにしても、重臣の同意なしでは出来ぬのだ。
では重臣達に諮ってくださりませ。
うむ、そういたそう。
寵愛する戚姫の頼みと可愛くてたまらぬ如意である、劉邦はすっかりその気になっていた。

なんですと、盈太子を廃嫡し如意さまを太子になされるというのですか。
そうじゃ。

どういう理由で盈太子を廃嫡なされるのです。
盈は優しすぎる、漢朝成ったといえども、まだ諸侯の反乱、匈奴の侵攻で天下は安泰しておらぬ。
上に立つ者は、時には非情な決断をせねばならぬ場合もある。あの優しさでは国を治められぬ。
しかし、そのようなことをなされば呂一族は納得せず、劉家と呂家は分裂いたしますぞ。
やっと国が成ったというのに、これでは禍いの種をまくようなものでございます。
その通りです。それに盈太子はまだ幼君、政治を学ぶのはこれからでございます。廃嫡に反対でございます。

しかし
如意は利発で
活発な子だ。
わしは太子に
ふさわしいと思う。
陛下!
む……
周昌……
周昌は劉邦と
同じく沛の出身で、
劉邦のために
命をかけて働いた
功臣である。
周昌は強情で
ずけずけ諫言し、
丞相の蕭何はじめ
みな一目置いている
人物であった。

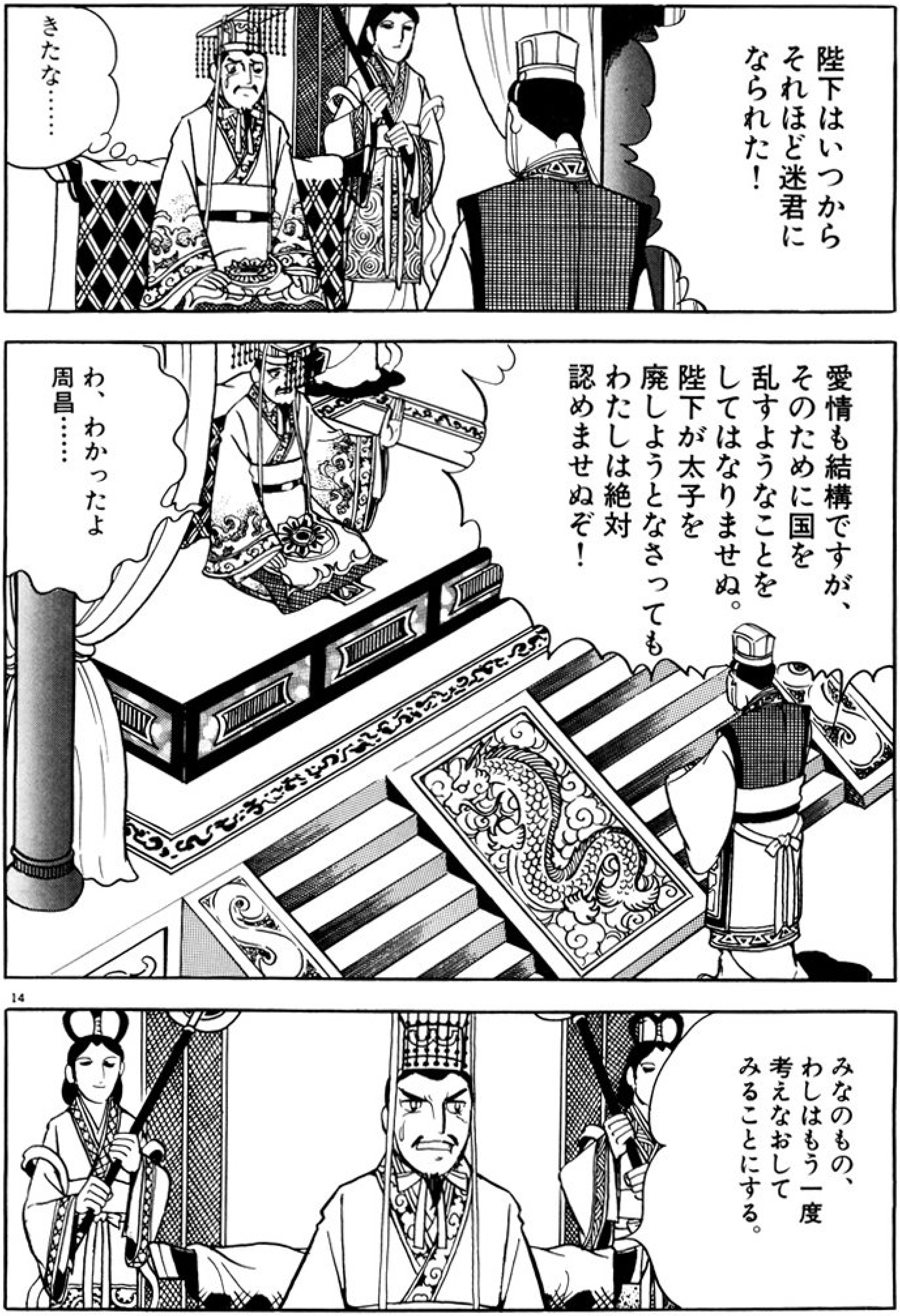
9

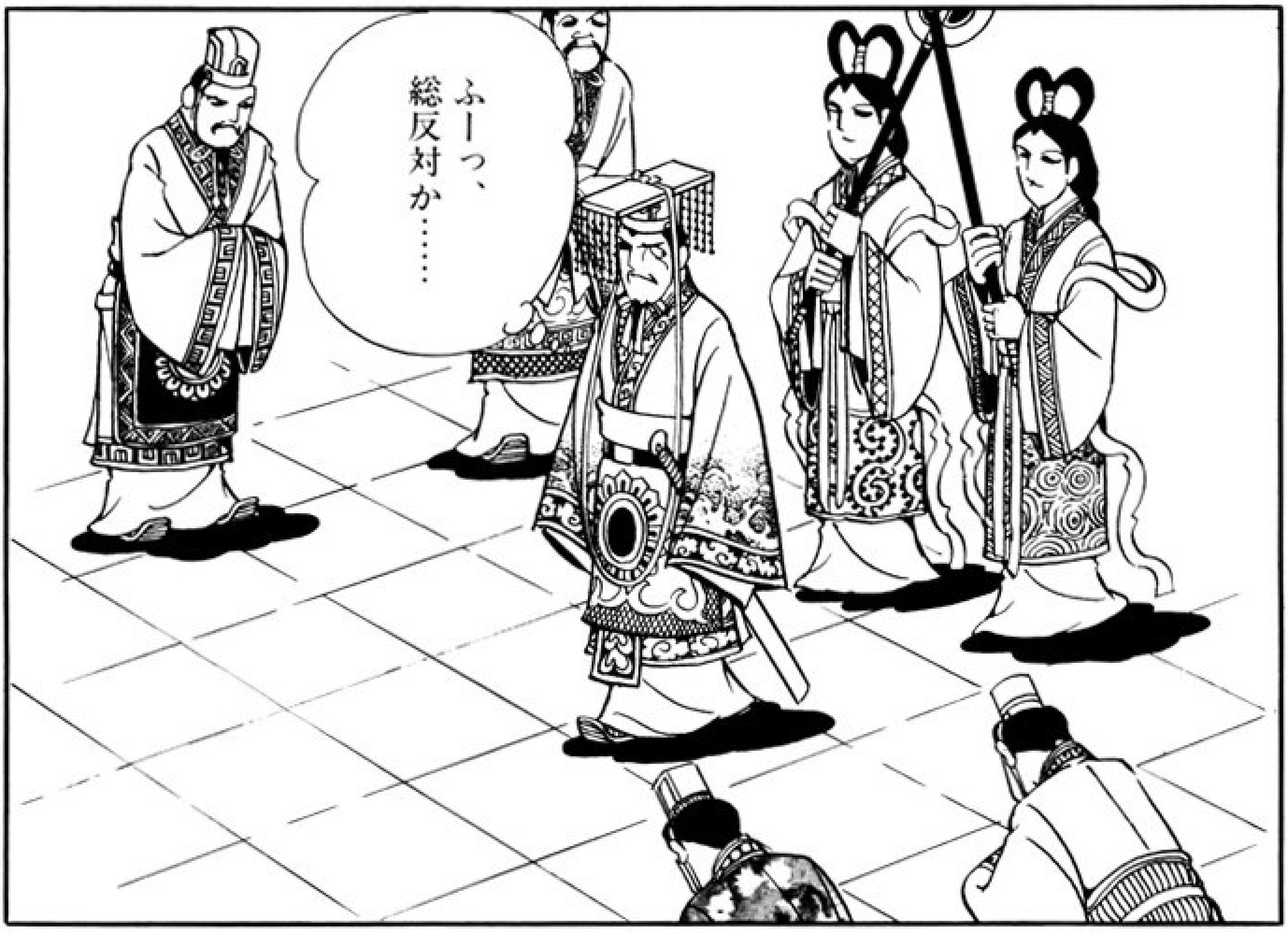
こんな話がある。
劉邦がくつろいでいる時に周昌が参内した。
この時
劉邦は戚姫を抱いていたのである。
これ、陛下にちょっと話があるんだが。
あっ、それはいまちょっとまずうございます。

なぜじゃ?
いま陛下は戚姫さまと……
あ……そうかそうかそれはちとまずいの、また出直すといたす。
おい、周昌。
あっ陛下……
今日はこれで失礼いたします。

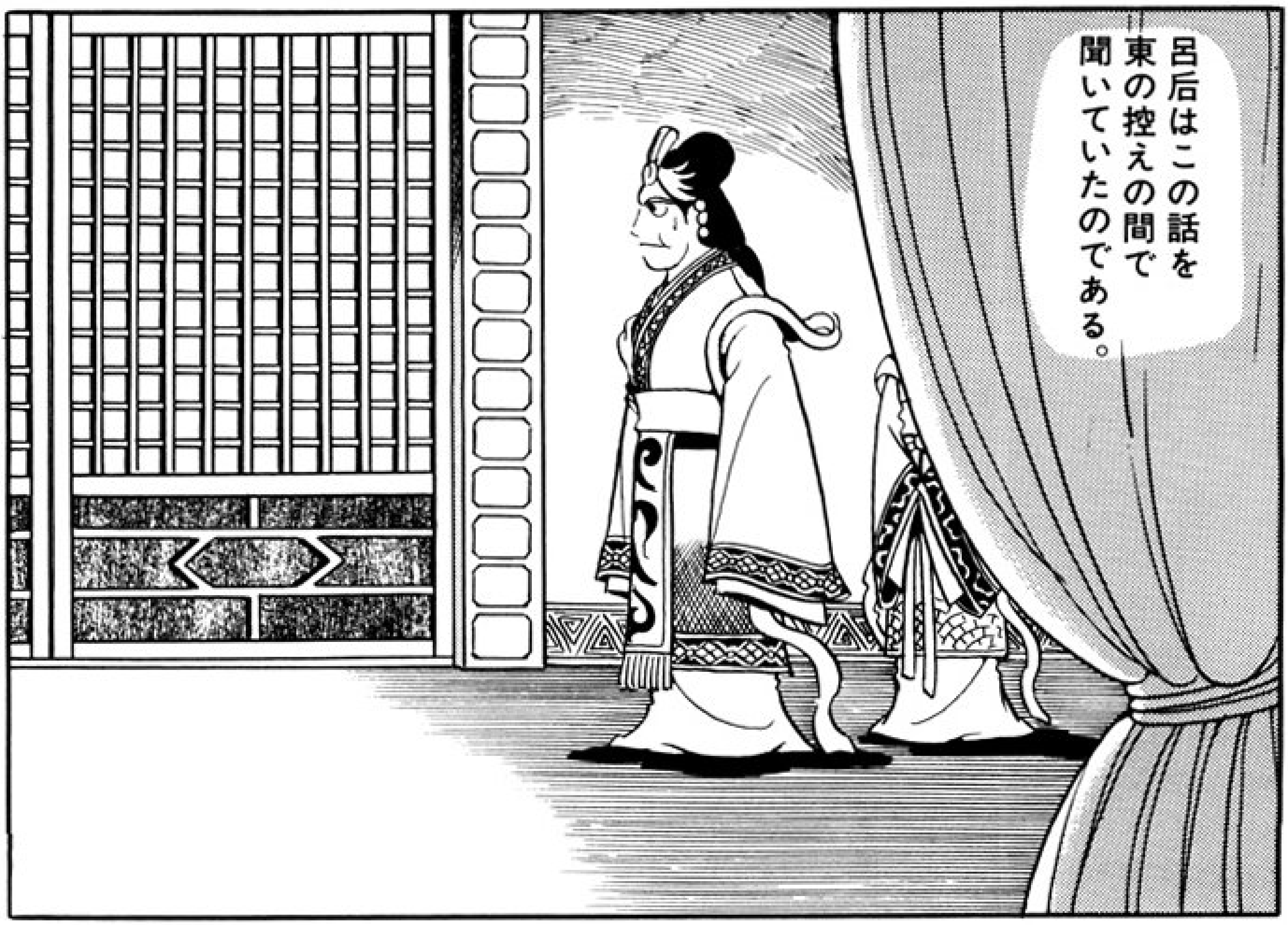
あっ……
どうじゃ周昌、わしをどんな主君と思うか。
まるで夏の桀王、殷の紂王のような暴君でございます。
おおお。
おまえ、歴史に残る暴君と比較することはあるまい。
しかしそう思ったものでございますから。
おまえ少し口をつつしめ。

陛下も少し無作法をおつつしみなされませ。
ところで用はなんじゃ。
ちょっとご機嫌をうかがいに参っただけでございます。お楽しみを邪魔して申しわけありません。
一言多い。
13
劉邦は臣下の中でこの周昌を誰よりもはばかった、ずけずけ言うがその言葉には真心があったからである。


陛下はいつからそれほど迷君になられた!
きたな……
愛情も結構ですが、そのために国を乱すようなことをしてはなりませぬ。陛下が太子を廃しようとなさってもわたしは絶対認めませぬぞ!
わ、わかったよ周昌……
14
みなのもの、わしはもう一度考えなおしてみることにする。



15



前一九八年 劉邦は如意を趙王に封じた、如意十歳であった。
陛下、お召しでございますか。
おう、周昌 もっと近う。

そちたちはみな退れ。
はっ。
お人払いの上でお話しとは重大な話でございますか。
そうじゃ、そちに頼みがある。
なんでございましょう。
趙の宰相になってくれぬか。
えっ⁉
それがしに何か落ち度がございましたか。
いや。

17

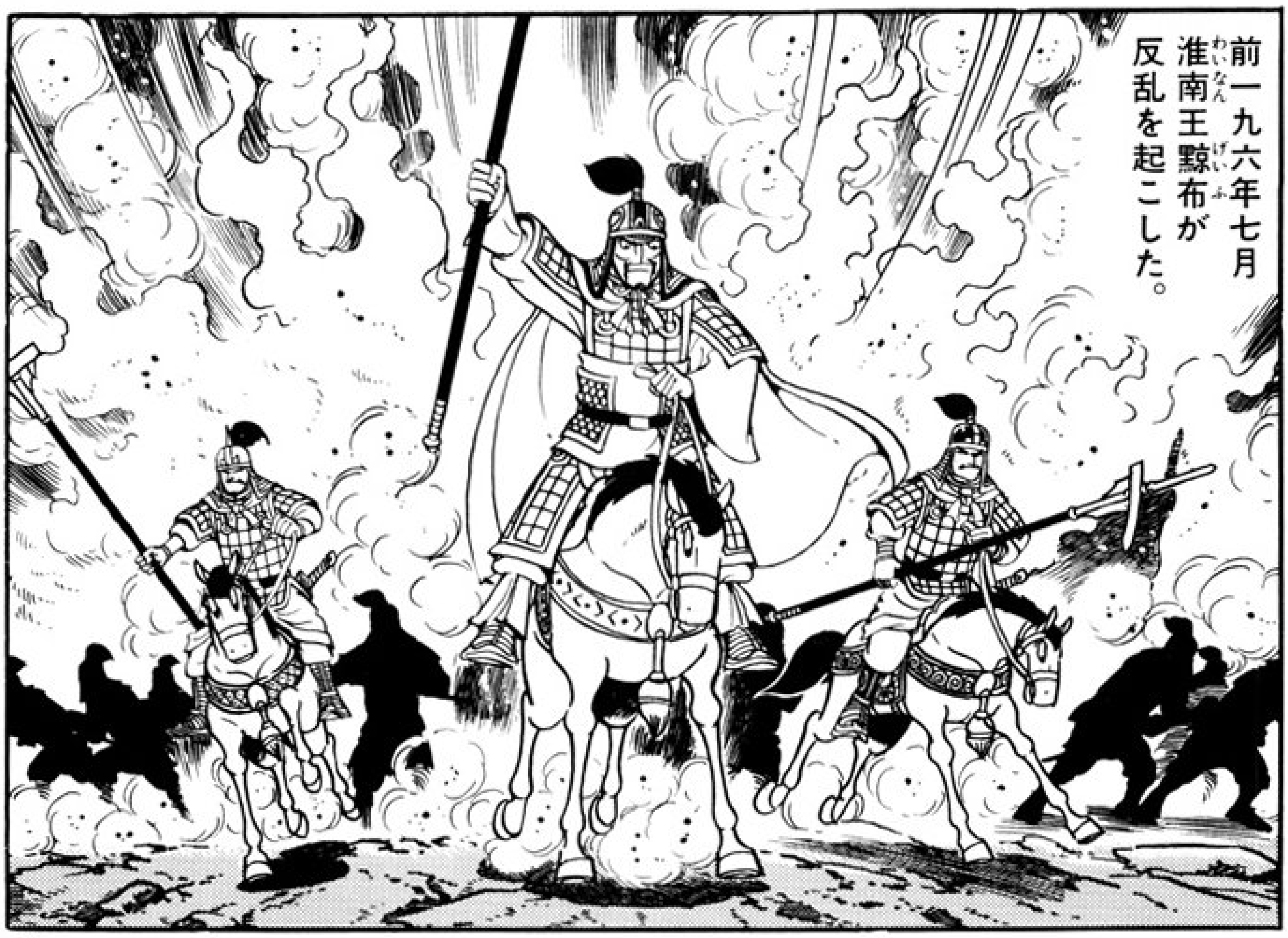
落ち度がないならなぜ今になって諸侯の宰相になるのです。
たしかにそなたは漢朝の御史大夫(丞相の下の位)諸侯の宰相となれば左遷になる。
だがな、わしは如意の身が心配なのだ。太子問題が公になってから如意はいつ暗殺されてもおかしくない立場にいるのだ。
如意の身を守る者を側につけておきたい。そのような人物はそなたしか思いつかぬ。
周昌よ、わしはそなたを見込んで頼んでいるのだ。この通りだ……
18
あっ 陛下、手をお上げ下さい。

陛下にそこまで
見込まれたなら
わたしも男です。
お引き受け
いたしましょう。

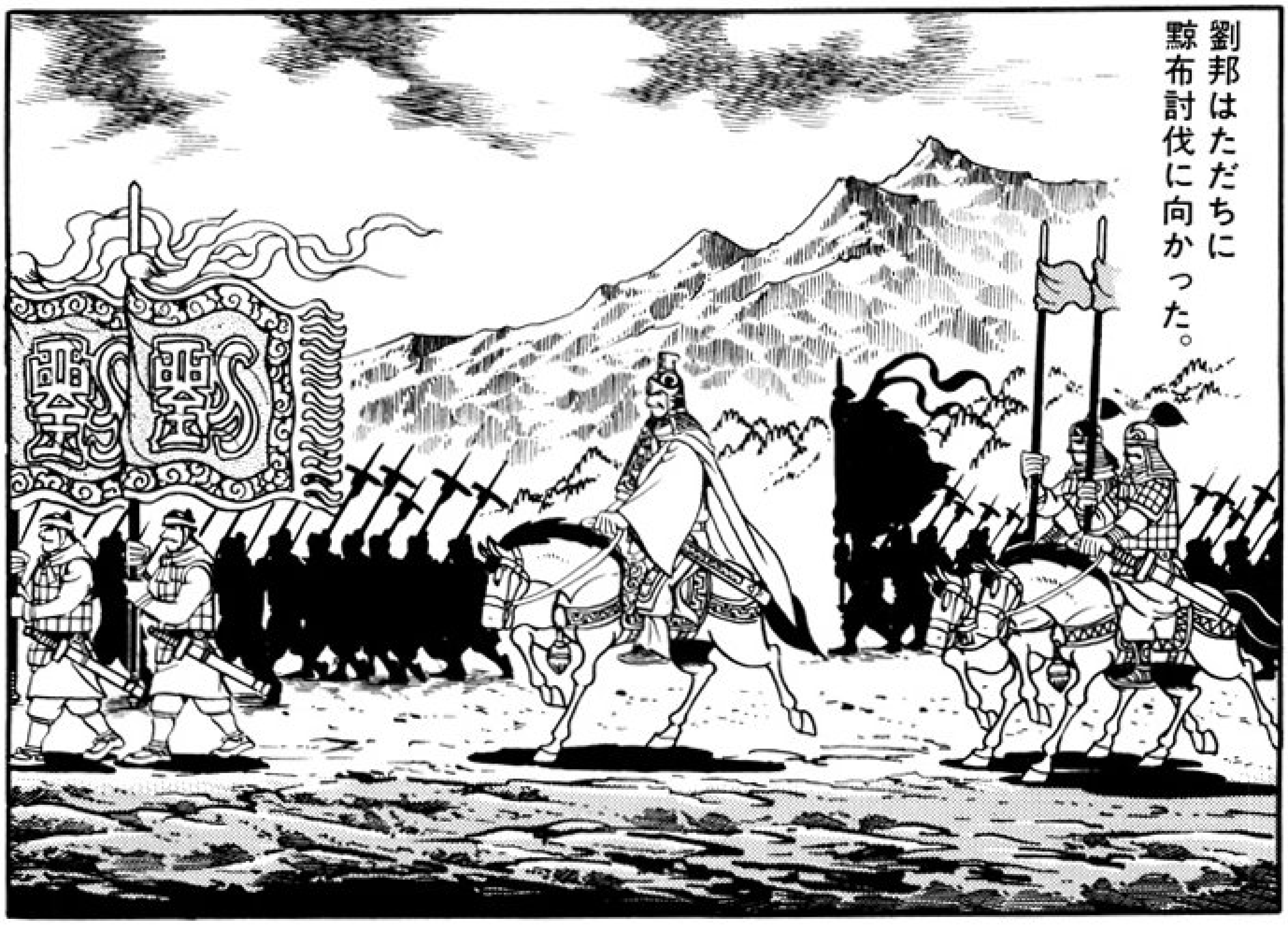
おお 行って
くれるか。

19

周昌は劉邦の
頼みを断れず、
左遷と承知で
趙に向かった。



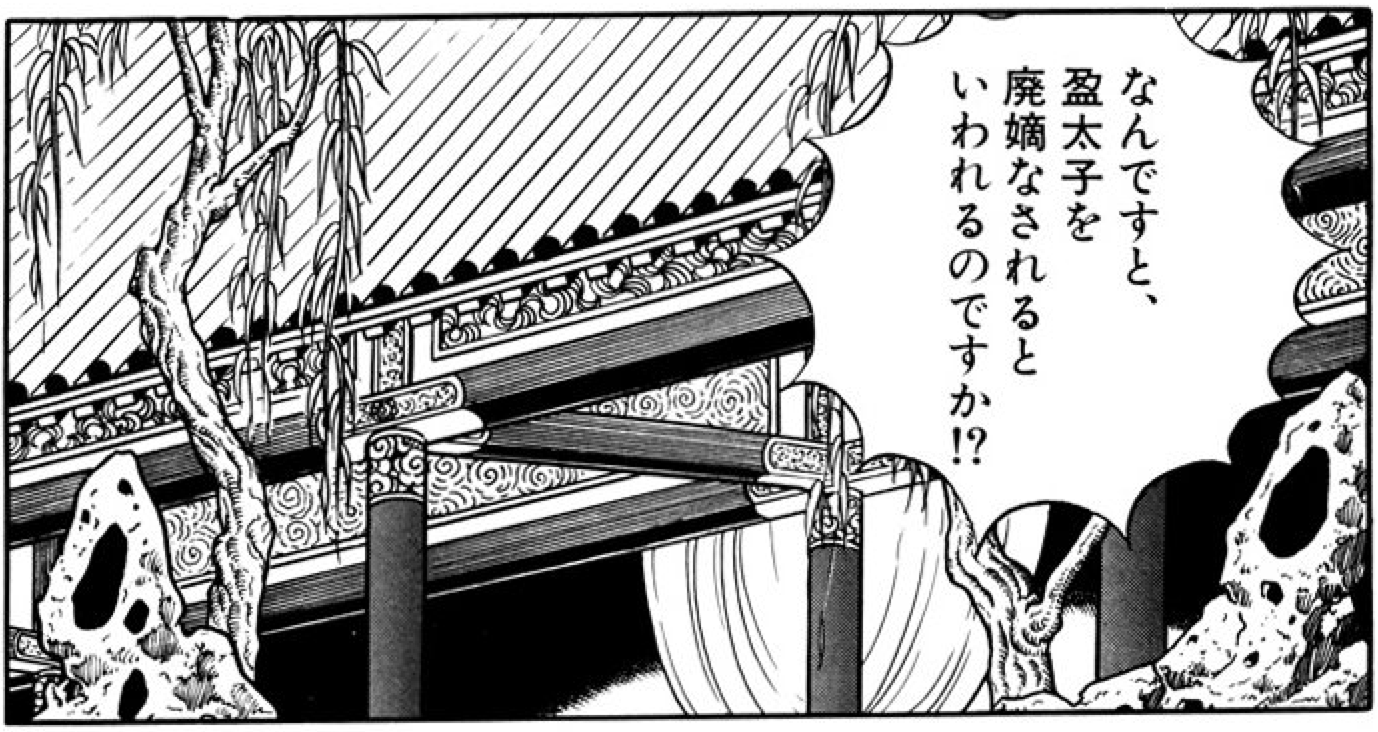
20



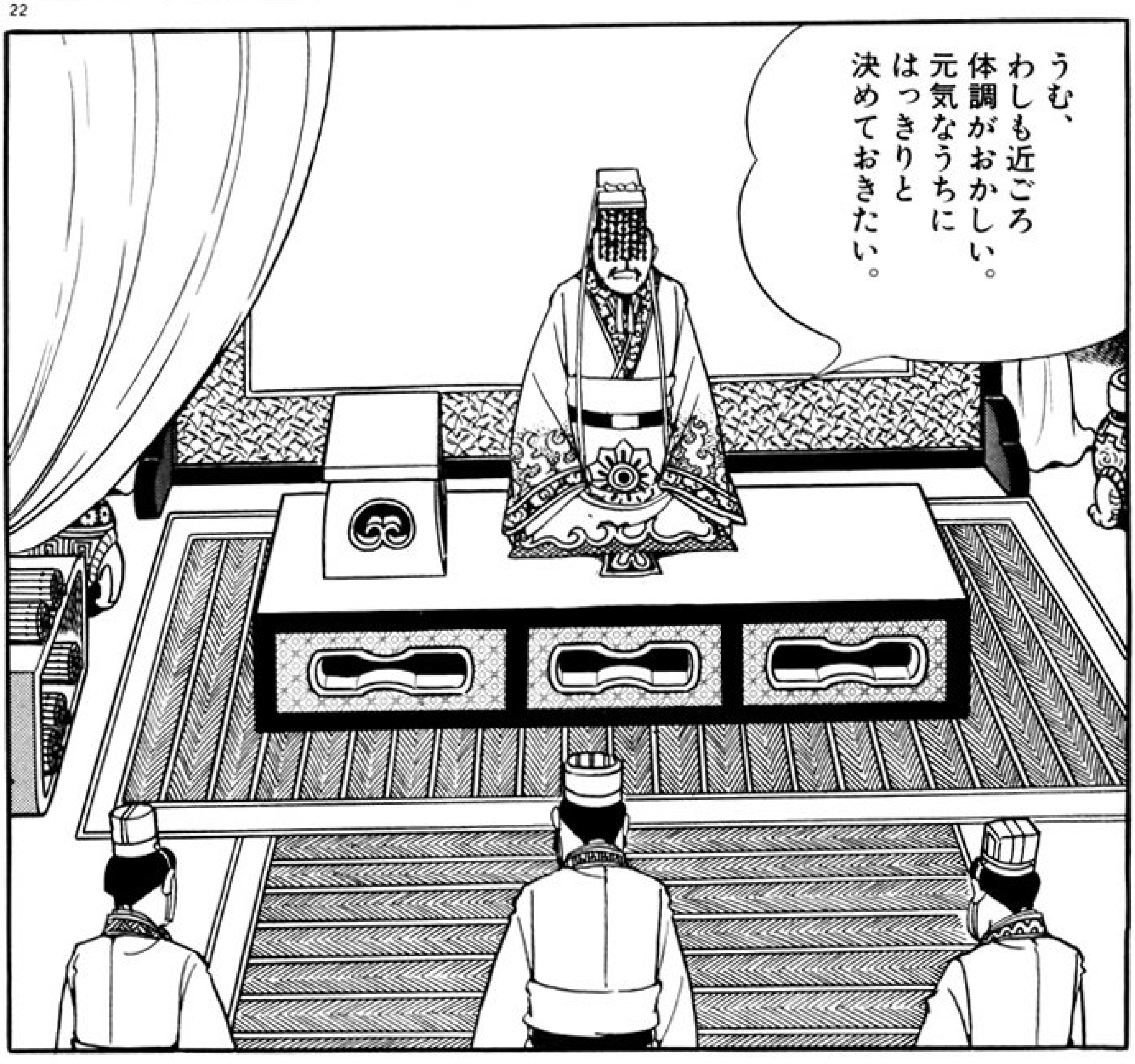
この時
劉邦は流れ矢に
当たった。

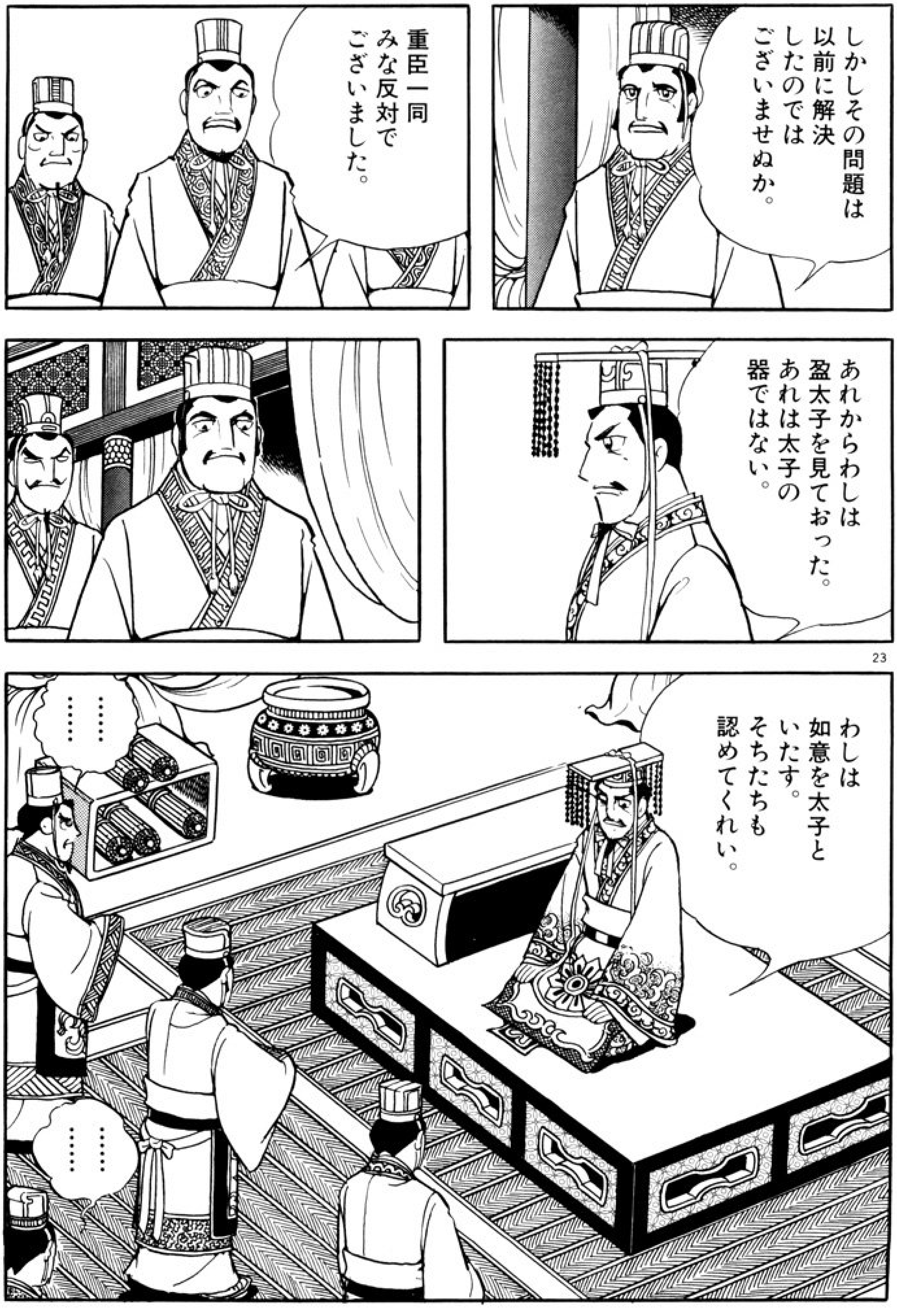
21

劉邦は黥布を討ち
都に凱旋したが、
流れ矢に当たってから、
体調がもう一つ
思わしくなかった。


なんですと、
盈太子を
廃嫡なされると
いわれるのですか!?

22


うむ、
わしも近ごろ
体調がおかしい。
元気なうちに
はっきりと
決めておきたい。

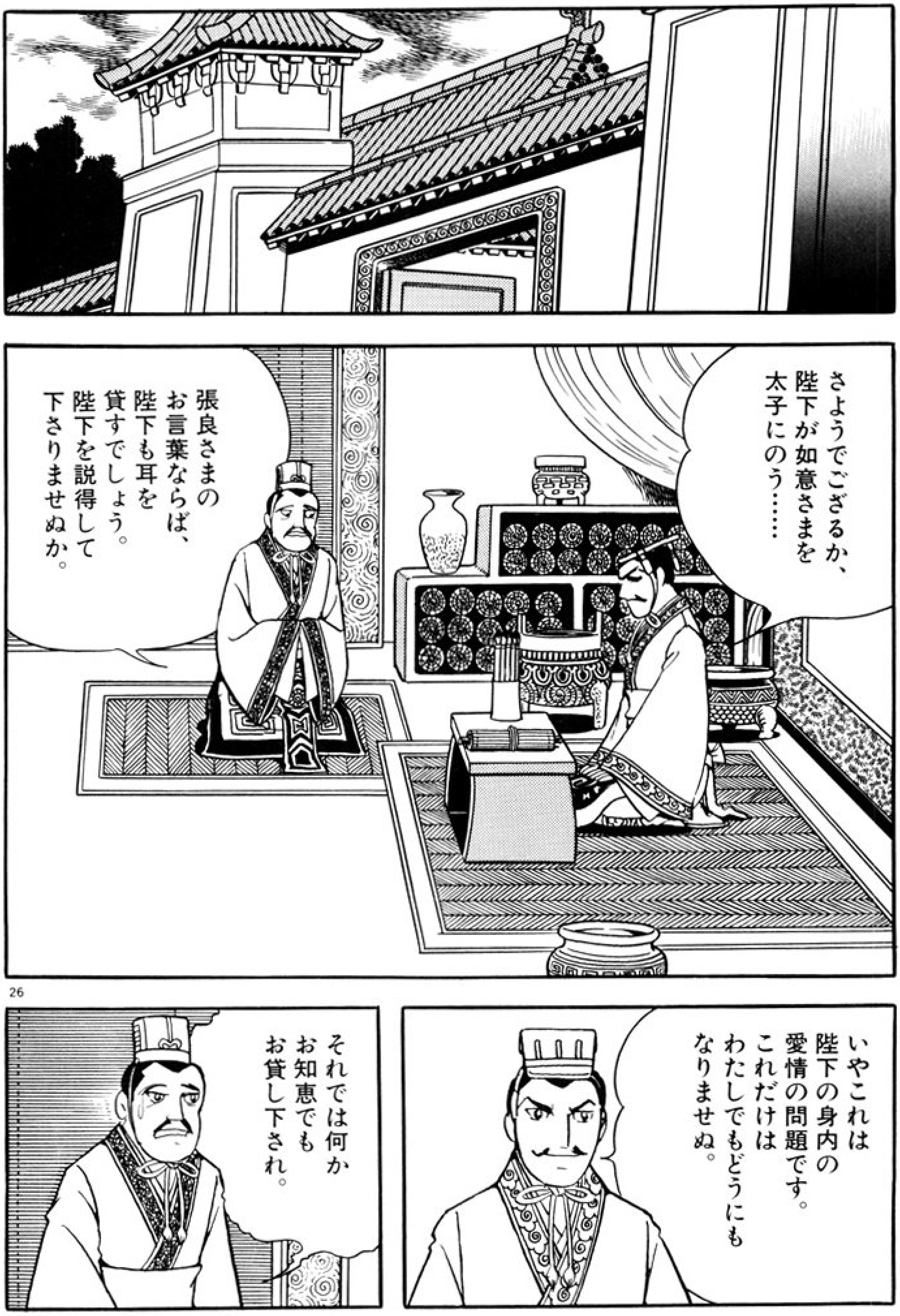

しかしその問題は以前に解決したのではございませぬか。
重臣一同みな反対でございました。
あれからわしは盈太子を見ておった。あれは太子の器ではない。
わしは如意を太子といたす。そちたちも認めてくれい。
……
……
……
……

23

なんですと、陛下が盈を廃嫡すると申されたのか！
はい、重臣達を説得なされておられます。
それで重臣達は……
みなさま反対なされておりますが、今度は陛下が強引にございます。

24

如意を太子にするなど認めませぬ、なにか防ぐ方法はありませぬか。
いかがでございましょう。今は隠退なされていますが留侯の張良さまにご相談なされましては。
おお、張良どのは知恵者として噂の高いお方じゃ。すぐに相談しておくれ。
はっ。
25
使者はただちに留の地へ走った。


さようでござるか、陛下が如意さまを太子にのう……
張良さまのお言葉ならば、陛下も耳を貸すでしょう。陛下を説得して下さりませぬか。
26
いやこれは陛下の身内の愛情の問題です。これだけはわたしでもどうにもなりませぬ。
それでは何かお知恵でもお貸し下され。

ふむう……
成功するかしないかお約束出来ませぬが、一つあります。
どんなことです。
いま陛下の思い通りにならぬ人物が四人おられる。東園公 甪里先生 綺里季 夏黄公の四人で、みな立派な人格と見識をお持ちの老人でございます。
陛下は度々この四人を招聘なさろうとしたのですが、四人は応じないのです。
なぜです。
陛下が傲慢で無作法なのをいやがって山に身をかくしたのです。陛下はそれで四人をますます尊敬するようになったのです。

27

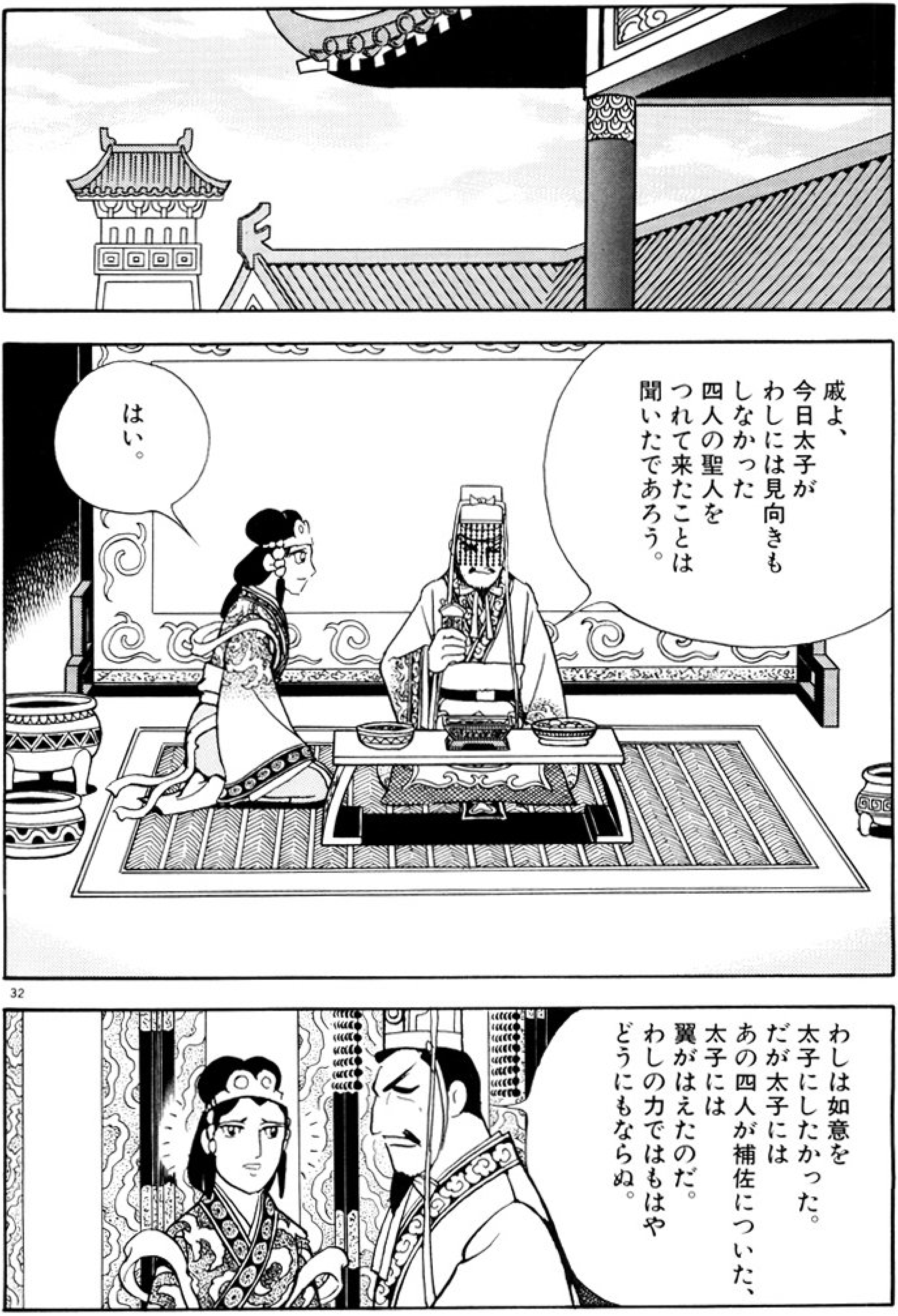
この四人を手厚くもてなし、賓客として太子に従って参内するようにいたせばひょっとして効果があるかもしれませんな。
それで駄目ならば、もう陛下の気持ちは変えられますまい。
わかりました。すぐに手を打ってみます。
28
使者は急いで引き返した。

29

盈太子のうしろには四人の老人がひかえていた。
あの老人達は何者だ。
東園公、甪里、綺里季、夏黄公さまにございます。
な なにっ！
先生方、いままでどこにおいでてござった。何年も前からお探ししていたのだが、ずっとわしを避けておられたはずだが……

陛下は士を軽んじ馬鹿者呼ばわりをなされますが、わたし共は辱しめを受けたくないと身を隠しておりました。
しかし太子は謙虚で士を愛し、万人が太子を慕い太子のためなら進んで命をささげたいと思っていることを知り、喜んで参上いたしたのでございます。
そうでございましたか、では今後も太子を守ってやって下され。
四人は劉邦の長寿を祝って退出した。

31

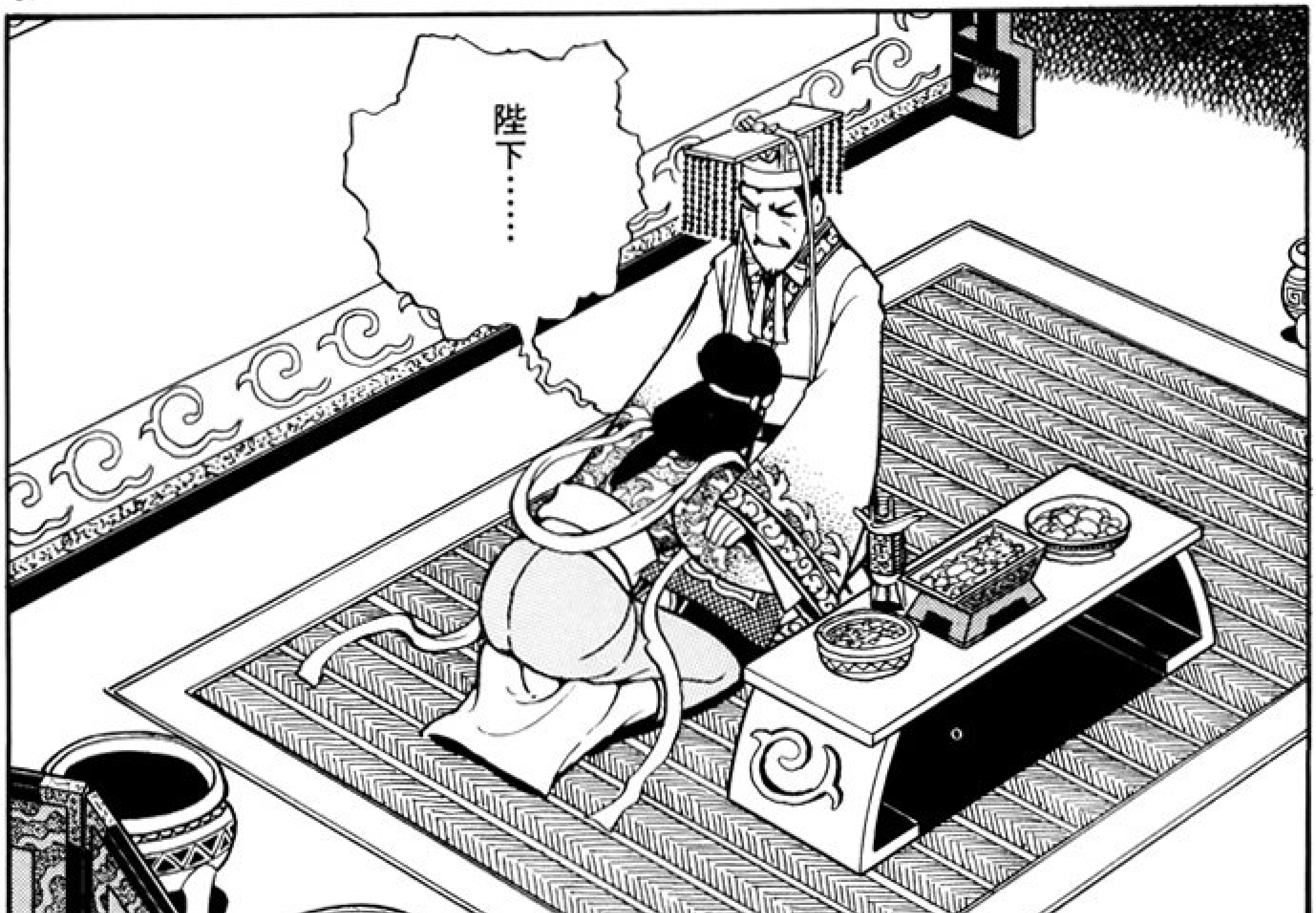

戚よ、
今日太子が
わしには見向きも
しなかった
四人の聖人を
つれて来たことは
聞いたであろう。
はい。
わしは如意を
太子にしたかった。
だが太子には
あの四人が補佐についた、
太子には
翼がはえたのだ。
わしの力ではもはや
どうにもならぬ。

32

わしが死んだら
そなたは呂后を
主人と仰がねば
ならぬのだ。
これ楚の舞を
舞ってくれ、
わしが歌を
うたおう。
はい。
33
鴻鵠高く跳ぶ一挙千里
（太子はおおとりとなり
空高く千里を翔ける）
羽翮すでに就り四海を横絶す
（立派な翼がそなわり四海を渡る）

四海を横絶す当に奈何すべき
(四海を渡りはじめたいま
もうどうすることもできない)
矰繳ありと雖も尚安にか施す所あらん
(たとえ矰繳があっても射るすべはない)

34

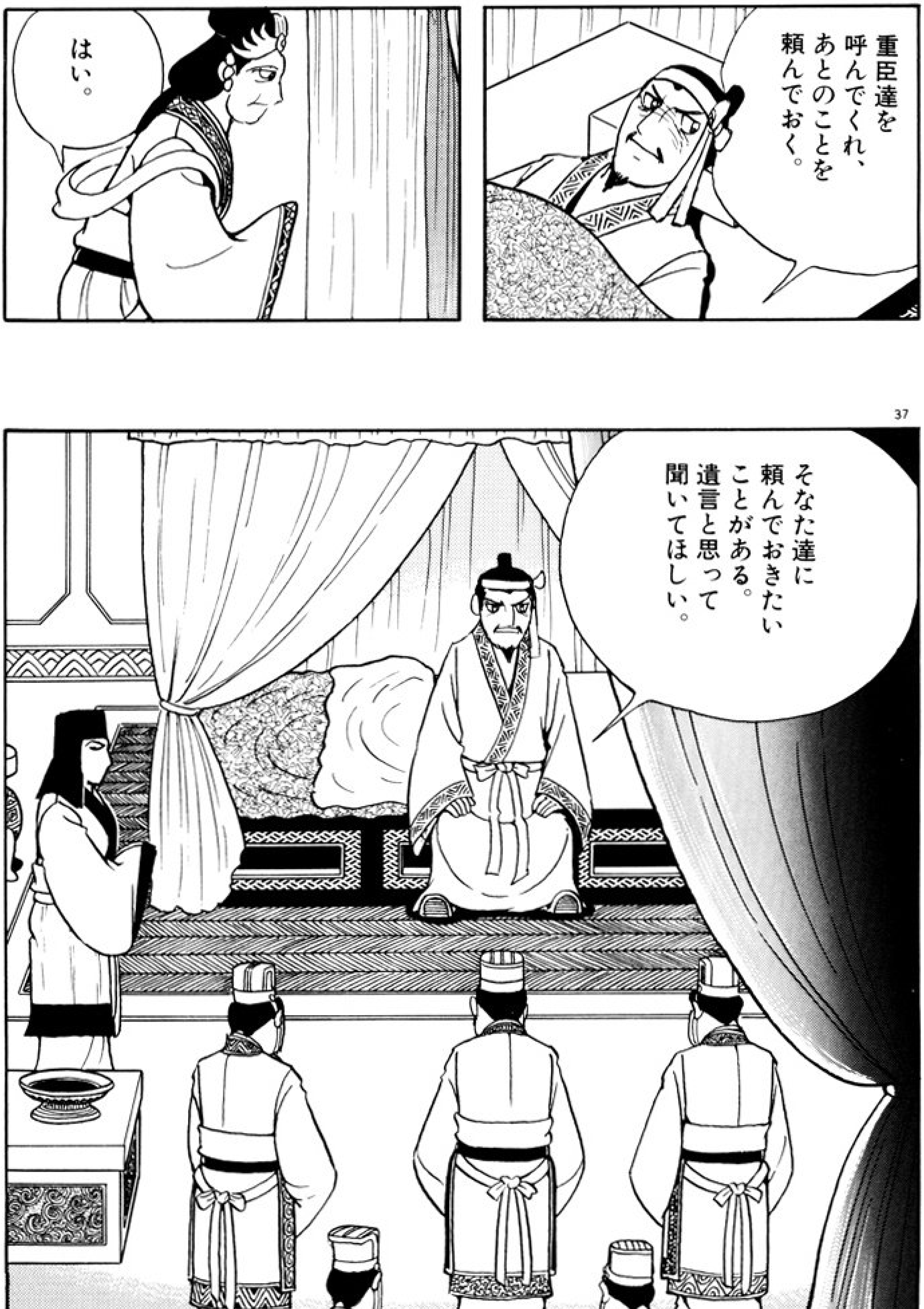

陛下……

その後、劉邦の
矢傷が化膿し、
容態は悪化して
いった。
陛下、
評判の名医を
呼びました。
傷の診察を
受けてくださいましな。
呂后よ、
わしは農民の身で
ありながら剣を取って
天下を制した。
これこそ天命だ。
ならばわが寿命も
天が決めよう、
どんな名医であろうと
治せるものではない。
その医者には
黄金五十斤を
与えて退らせよ。
では陛下の身に
もしものことが
あれば後を
どうするか
教えて下さりませ。

35

あとは蕭何にまかせよ。
もし相国の蕭何が亡くなったら、あとは誰にやらせたらよろしゅうございます。
曹参がよかろう
次には……
王陵がよかろう、だがあの男は愚直だ。陳平に補佐をさせるとよい。
だが陳平は頭がきれすぎる。すべてをまかせるのは危ないぞ、その後は周勃がよかろう、劉家を永続きさせるのは結局 周勃であろう。
その後は……
そなたは何歳まで生きるつもりだ。その後はもうお前とはかかわりのないことであろう。

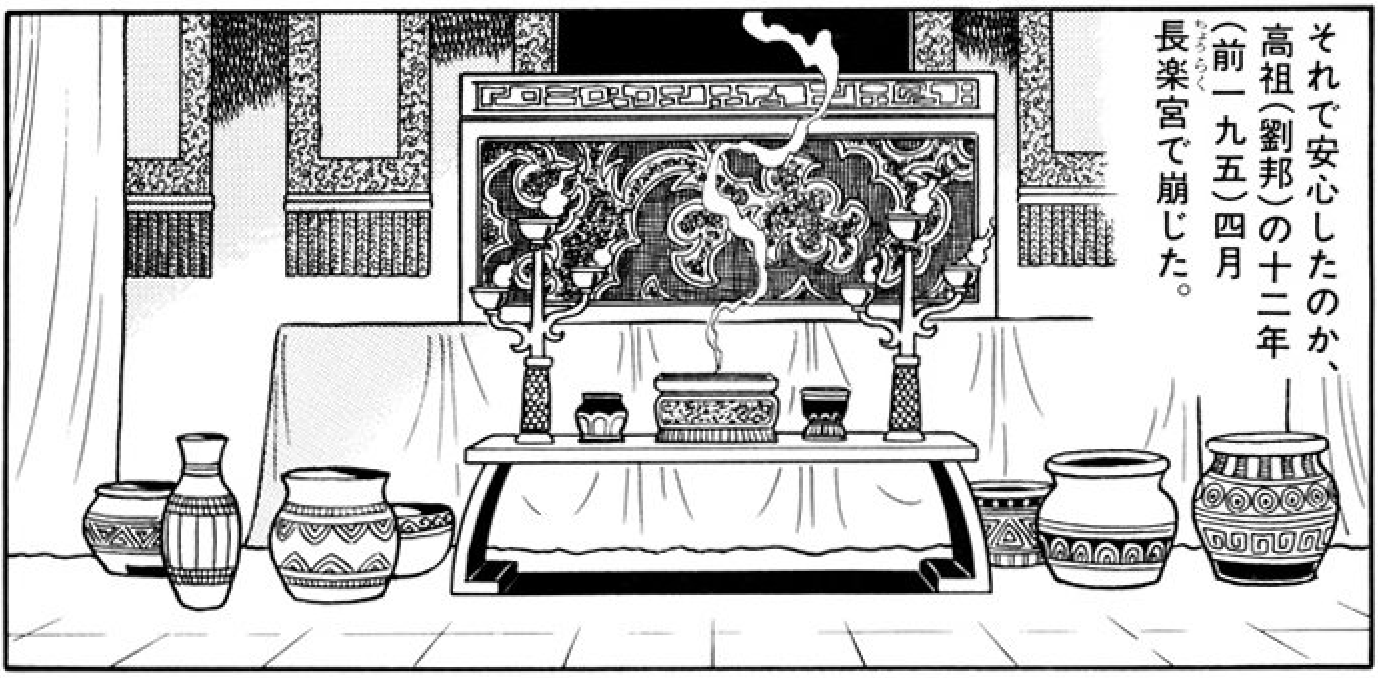
36


重臣達を呼んでくれ、あとのことを頼んでおく。
はい。
そなた達に頼んでおきたいことがある。遺言と思って聞いてほしい。

37

わしが死んだあと劉姓以外の者を王としてはならぬ、白馬の血をすすりわしに誓ってもらいたい。
これ、用意の血を。
はっ。
重臣達はその血をすすり劉姓以外の者は王にせぬと誓ったのである。

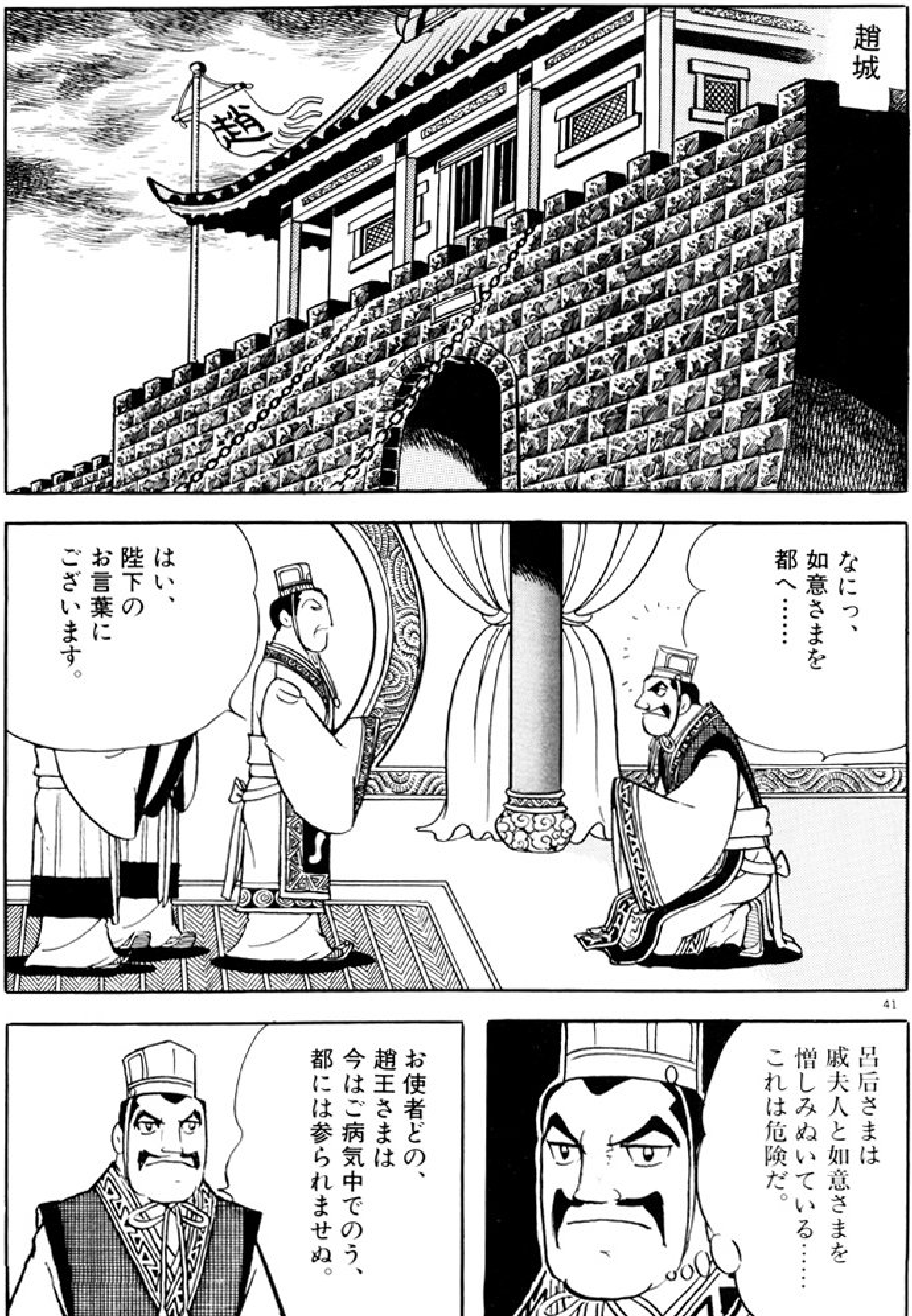
38


それで安心したのか、
高祖(劉邦)の十二年
(前一九五)四月
長楽宮で崩じた。

劉邦の後を継いで
十六歳の盈太子が
即位した。
恵帝である。

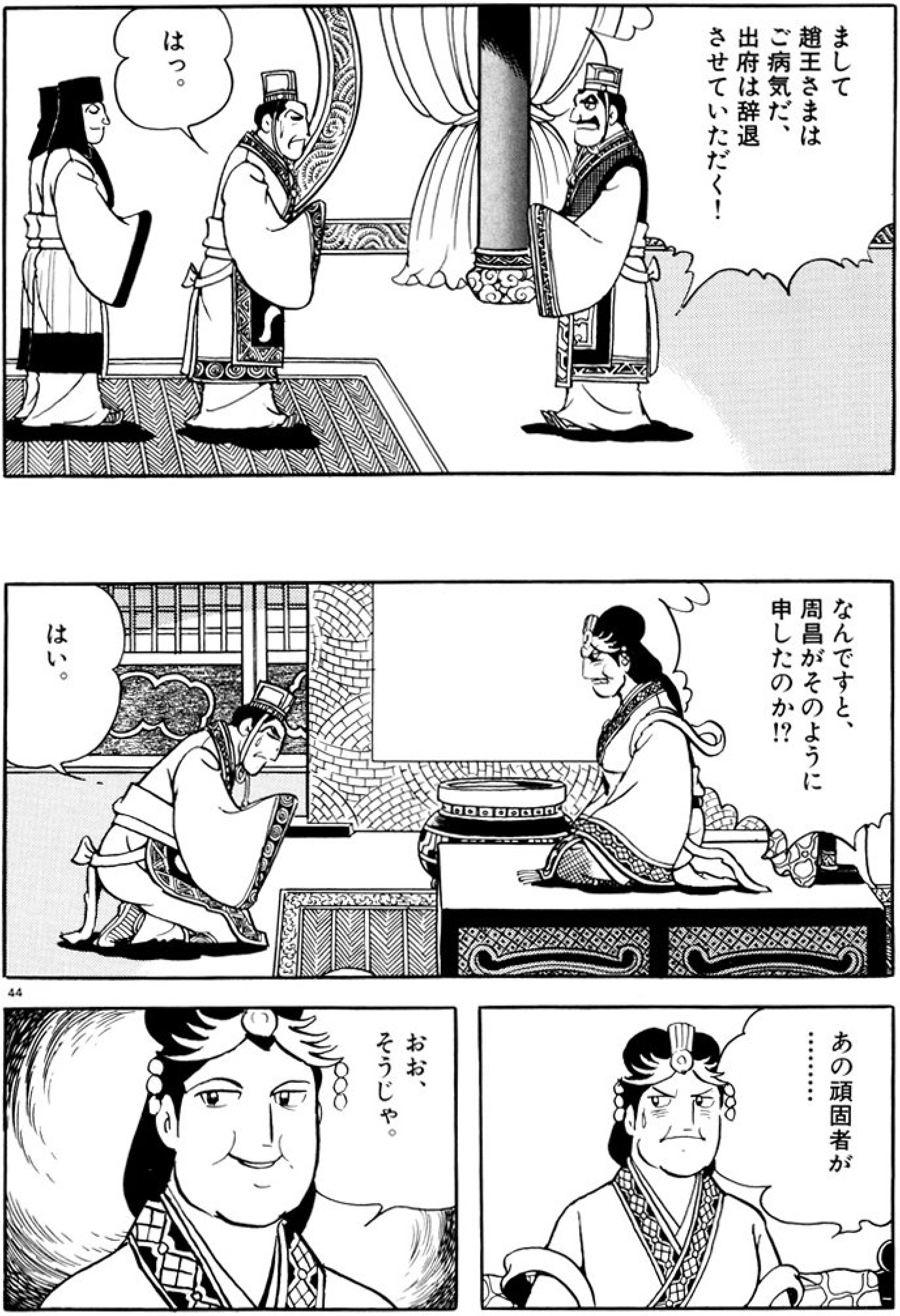
劉邦が逝去すると、
呂后の戚夫人に
対する復讐が始まった。
戚夫人を捕え……
幽閉し、首かせを
つけて一日中
米をつかせた。
さらに趙王如意に
都に来るよう
使者を送った
のである。

40


趙城
なにっ、如意さまを都へ……
はい、陛下のお言葉にございます。
41
呂后さまは戚夫人と如意さまを憎しみぬいている……これは危険だ。
お使者どの、趙王さまは今はご病気中でのう、都には参られませぬ。

陛下によろしくお伝え下され。
ははーっ。
42
なんですと、病気じゃと……そんなものは仮病にきまっています。すぐに都に来るよう命じるのじゃ。
ははーっ。

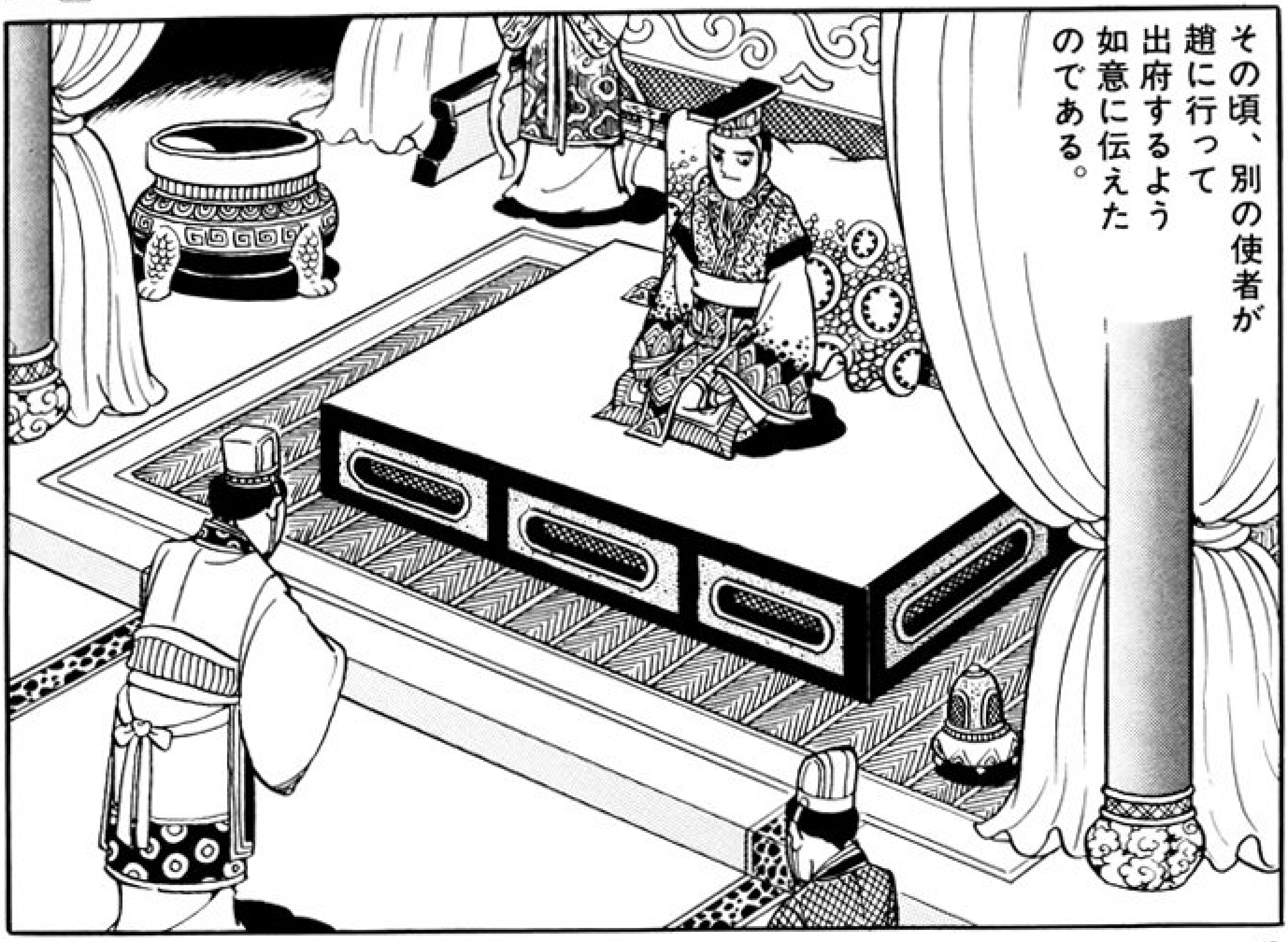
使者は再び
趙へ向かった。
43
お使者どの、
先帝は幼い
趙王の身を心配し
わたしに守ってくれと
お命じに
なられたのだ。
噂では太后は
戚夫人を憎むあまり、
趙王を召し出し
戚夫人ともども
亡き者にしようとの
お考えとか、
こんな話を聞いて
都に行かせる
わけにはまいらぬ。

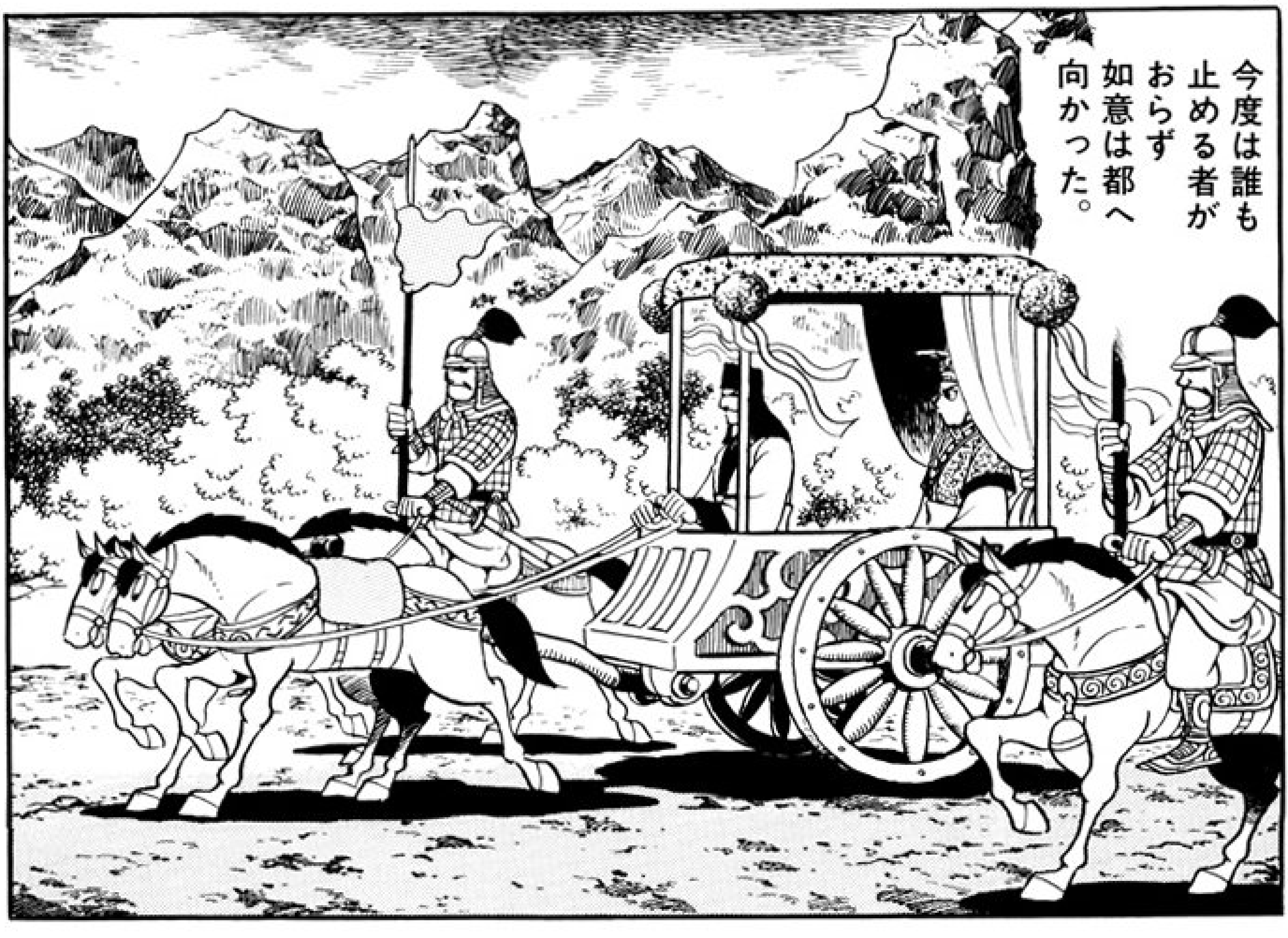

まして趙王さまはご病気だ、出府は辞退させていただく！
はっ。
なんですと、周昌がそのように申したのか!?
はい。
44
あの頑固者が……
おお、そうじゃ。

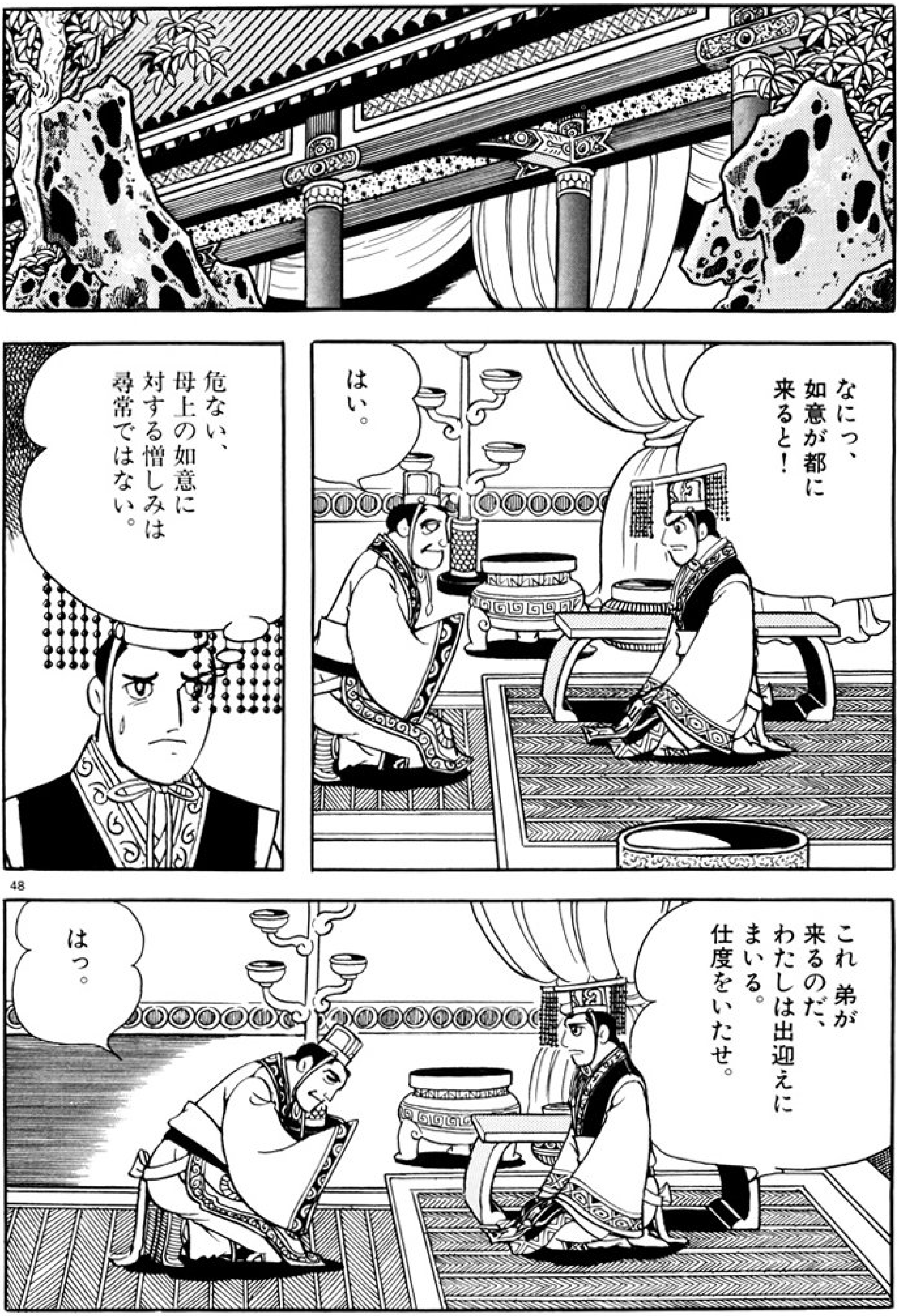
それでは
代わりに周昌に
出府するよう
伝えなさい。
はっ。
使者は再び
趙へ向かった。
45
周昌は自分が
呼び出されるのに
断る理由もなく
都へ向かった。

周昌、そなたはわたしが戚夫人にどれほど苦しめられたか承知であろう。恵帝まで廃嫡されようとしたのですよ！
それはよく存じております。しかしわたしも重臣達と同じように廃嫡には反対いたしました。
しかし今はめでたく事は治まりました。盈太子は先帝の後を継がれ、あなたさまも呂太后にございます。
そんなことでわたしの気持ちは治まりませぬ！

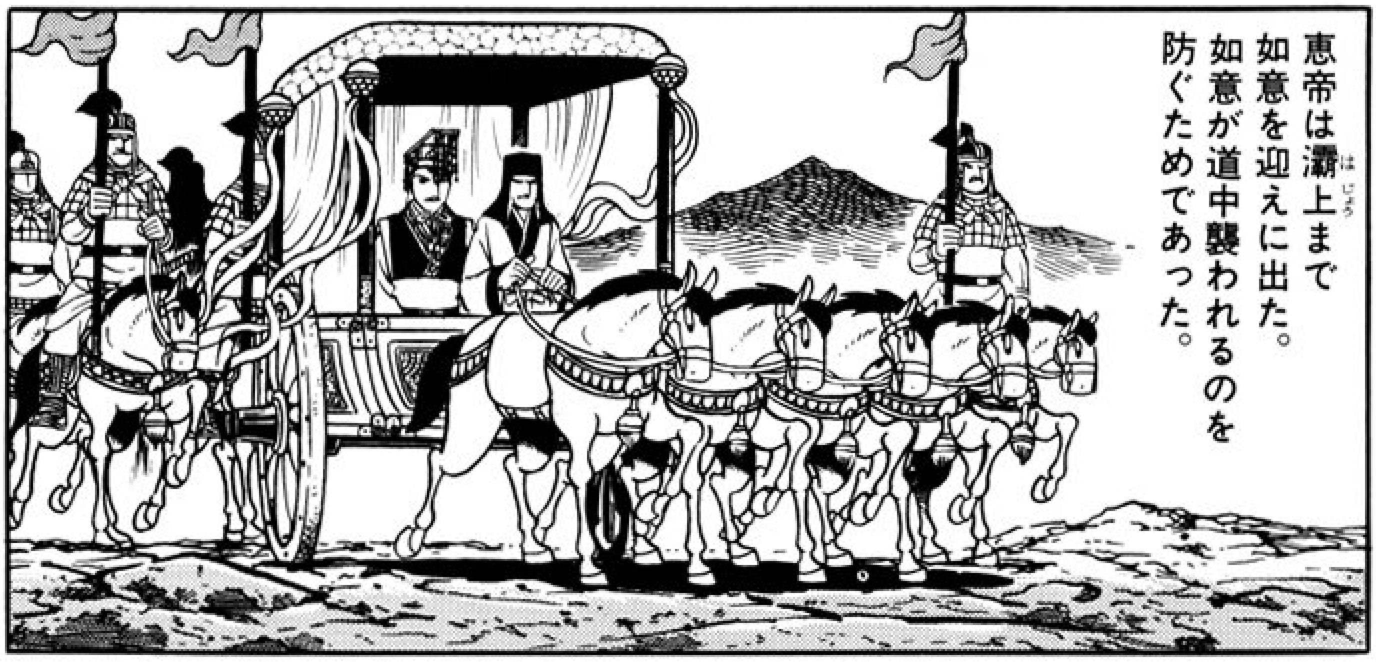
46

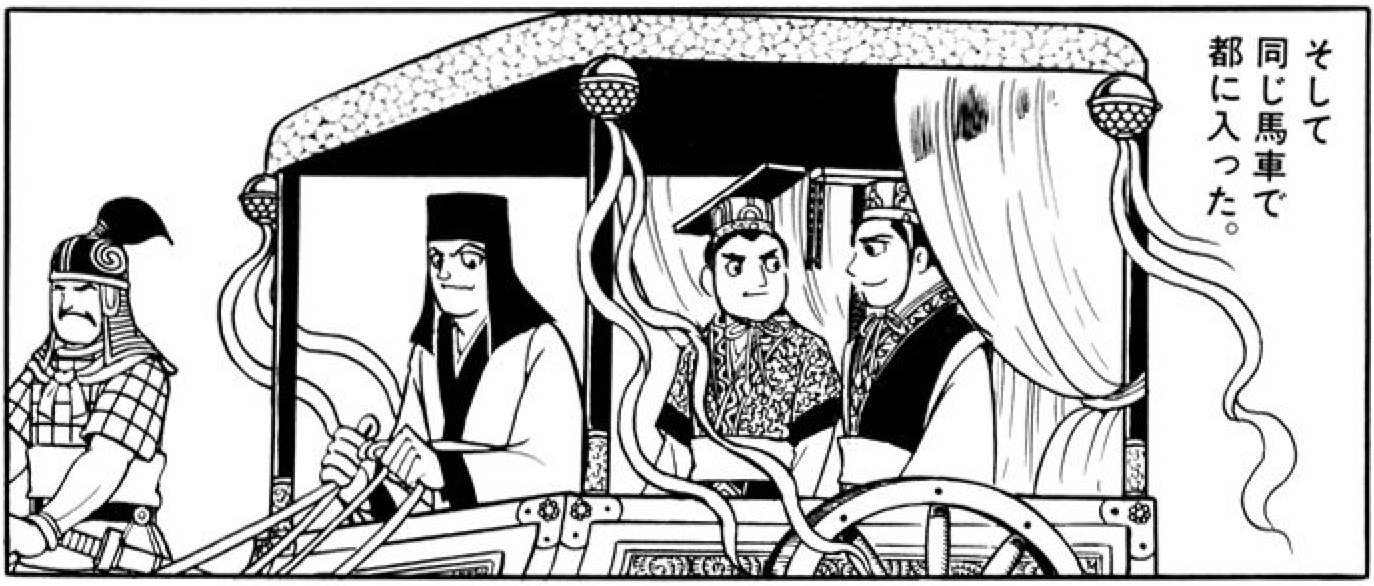

その頃、別の使者が
趙に行って
出府するよう
如意に伝えた
のである。


今度は誰も
止める者が
おらず
如意は都へ
向かった。


なにっ、如意が都に来ると!
はい。
危ない、母上の如意に対する憎しみは尋常ではない。
これ弟が来るのだ、わたしは出迎えにまいる。仕度をいたせ。
はっ。

48


恵帝は灞上まで
如意を迎えに出た。
如意が道中襲われるのを
防ぐためであった。


そして
同じ馬車で
都に入った。

49

さらに自分の宮殿に
如意の寝所を置き、
寝起きも
共にしたのである。

如意の様子はどうじゃ。
はい、陛下がいつもご一緒で近づくことも出来ませぬ。
そうか、陛下の前で手を出してはならぬ、見張りをつづけよ。
ははっ。

一か月が過ぎた。
如意よ、明日はわたしは狩りの予定になっている。そなたも一緒に楽しもう。
狩りって楽しいですか。
51
宮殿で重臣と政務の話ばかりでは気が滅入ってくるいい気晴らしになるぞ。
そうですか、楽しみです。

チュン
チュッ
如意……
趙王さまはまだお休みでございます。
そうか。

疲れているようだな。
起こすのはかわいそうだな、ゆっくりと寝させてやるがよい。
恵帝は如意を残して狩りに出た、この優しさが仇となった。

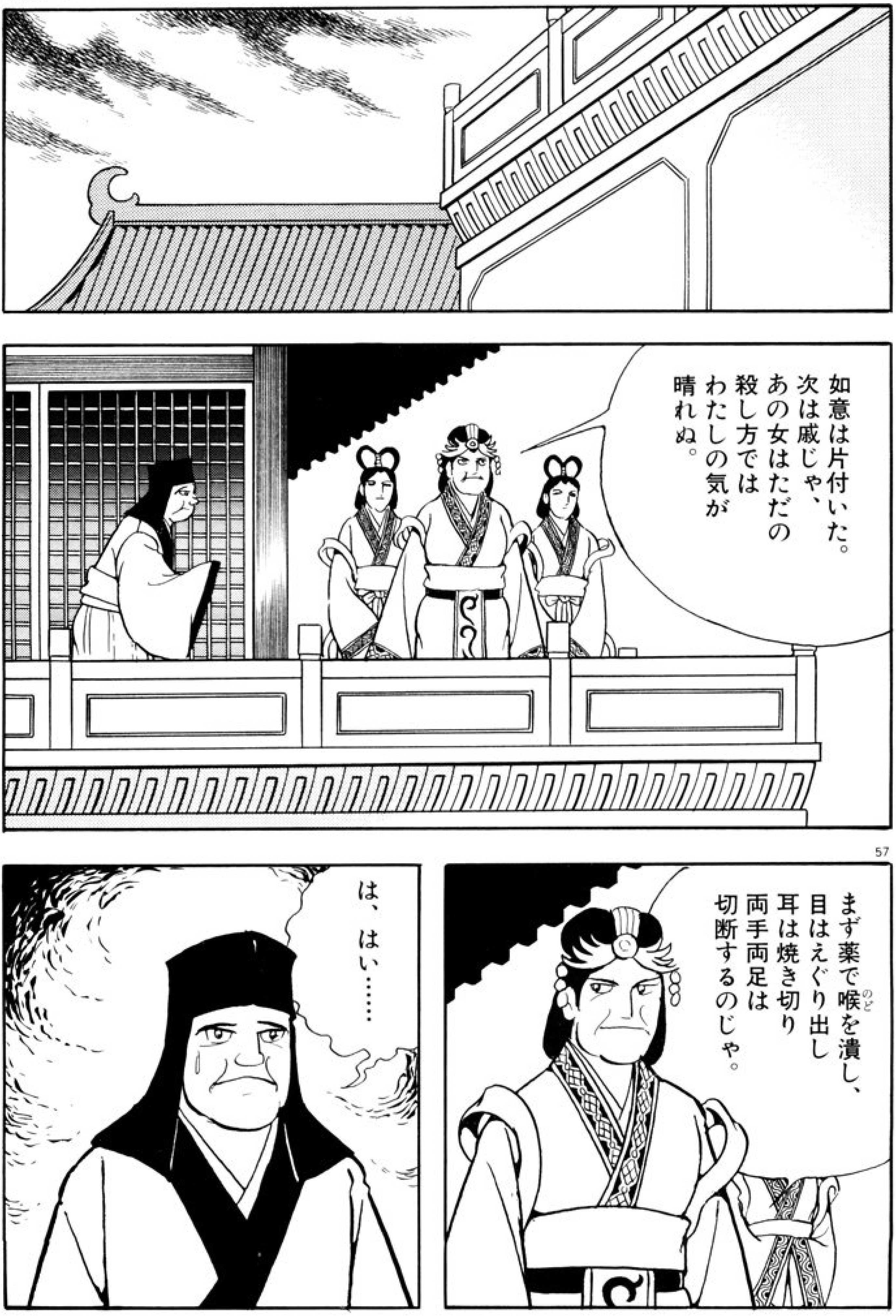
53

う〜っ。
あっ、今日は陛下と狩りに行く約束だった。
これ、陛下はお待ちになっておられますか。
あっ趙王さま、陛下はもうお出かけになられました。
出かけた？
そうか、陛下はお怒りになられただろうな。
とんでもない、あまりによくお眠りなので起こすのはかわいそうだと……
趙王さま、朝食にございます。

54

陛下がお帰りになられましたら、狩りの様子をお聞きなされませ。
うん。
うぐっ。
ぐわわ……
55
朝食には毒が仕込まれていた。

恵帝は
狩りから帰ってきて
………
如意が死んだ
ことを知った。
如意!
如意!
こんなことなら
無理に起こしてでも
狩りにつれて
行けばよかった。
恵帝には
それが誰の
仕業であることか
わかっていた。


如意は片付いた。
次は戚じゃ、
あの女はただの
殺し方では
わたしの気が
晴れぬ。
57
まず薬で喉を潰し、
目はえぐり出し
耳は焼き切り
両手両足は
切断するのじゃ。
は、はい……

なにをぐずぐずしているのじゃ、さっそくおやり。
ははっ。
残酷な刑は執行された。
耳は焼き切られ、目はくりぬかれ……
両手両足は切断された。

陛下、厠に行ってごらん、珍しい人ブタが見られますよ。
人ブタ？
59
厠にブタは飼うが人ブタとは？

そこには耳は潰され、目はくりぬかれ
両手両足を切断された女体があった。
うん、あれは何だ。
戚夫人でございます。
げえっ！
オオオ……
60
げーっ！
な なんとむごい。

恵帝はあまりのショックにその日から一年余を寝込んでしまった。
これ母上に申し上げてくれ。
はっ。
あれは人のすることではありません。わたしはあなたの子としてこれ以上天下を治めるわけにはまいりませぬとな。
61
以来、恵帝はあびるほど酒を飲み、ますます体を悪くし二十三歳の若さでこの世を去った。

また如意を
守りきれなかった
周昌もそれ以後
病気と称して
屋敷に閉じこもり
三年後に死亡した。

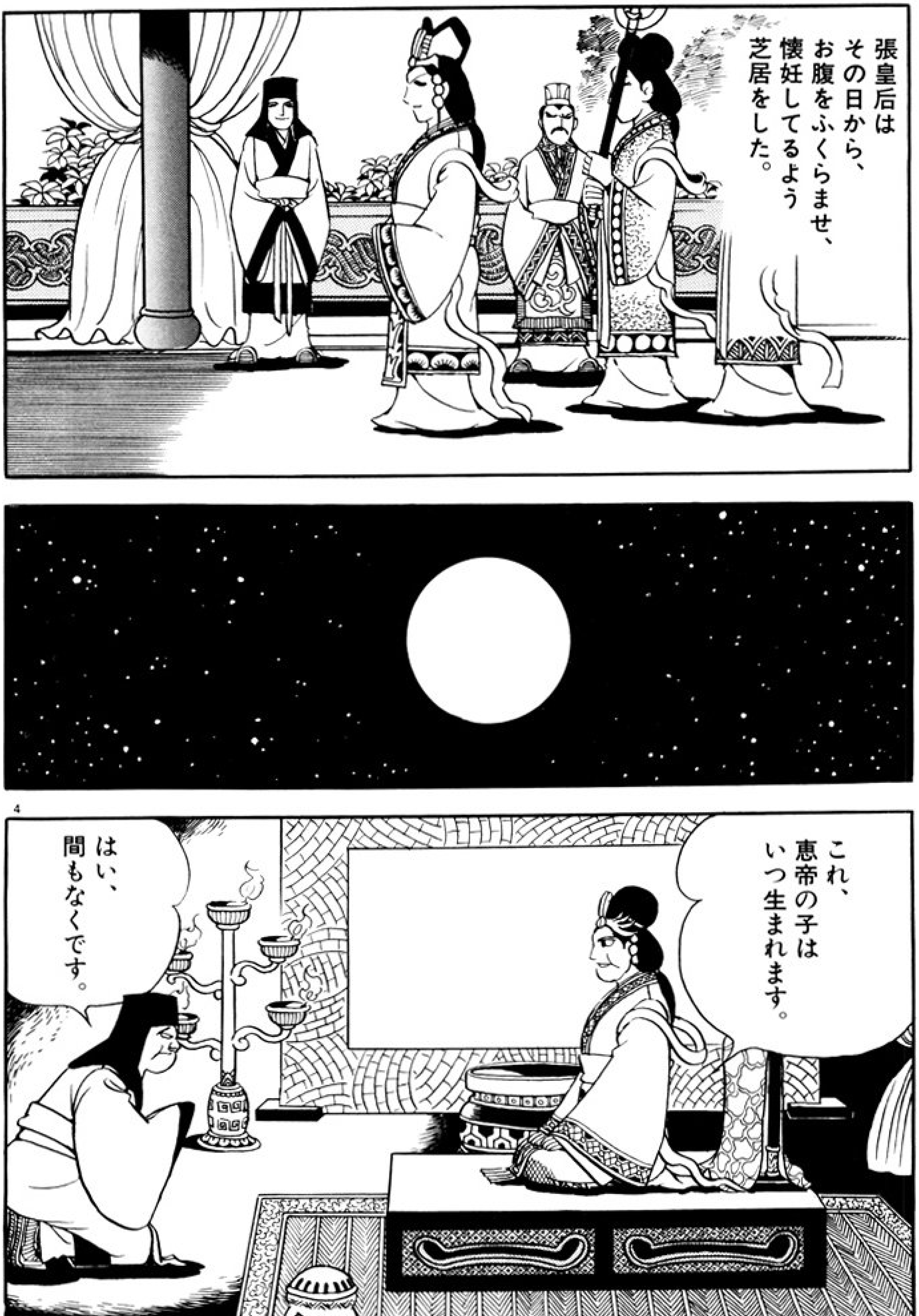
62

歴史に悪女の
名を残した
呂后のすさまじい
復讐劇であった。
漢朝はこれ以後
呂后支配となって
いくのである。

第4話 呂后専横

前一八八年
恵帝は母呂后が
戚夫人におこなった
酷い処刑の仕方に
ショックを受け、
酒におぼれて二十三歳の
若さでこの世を去った。

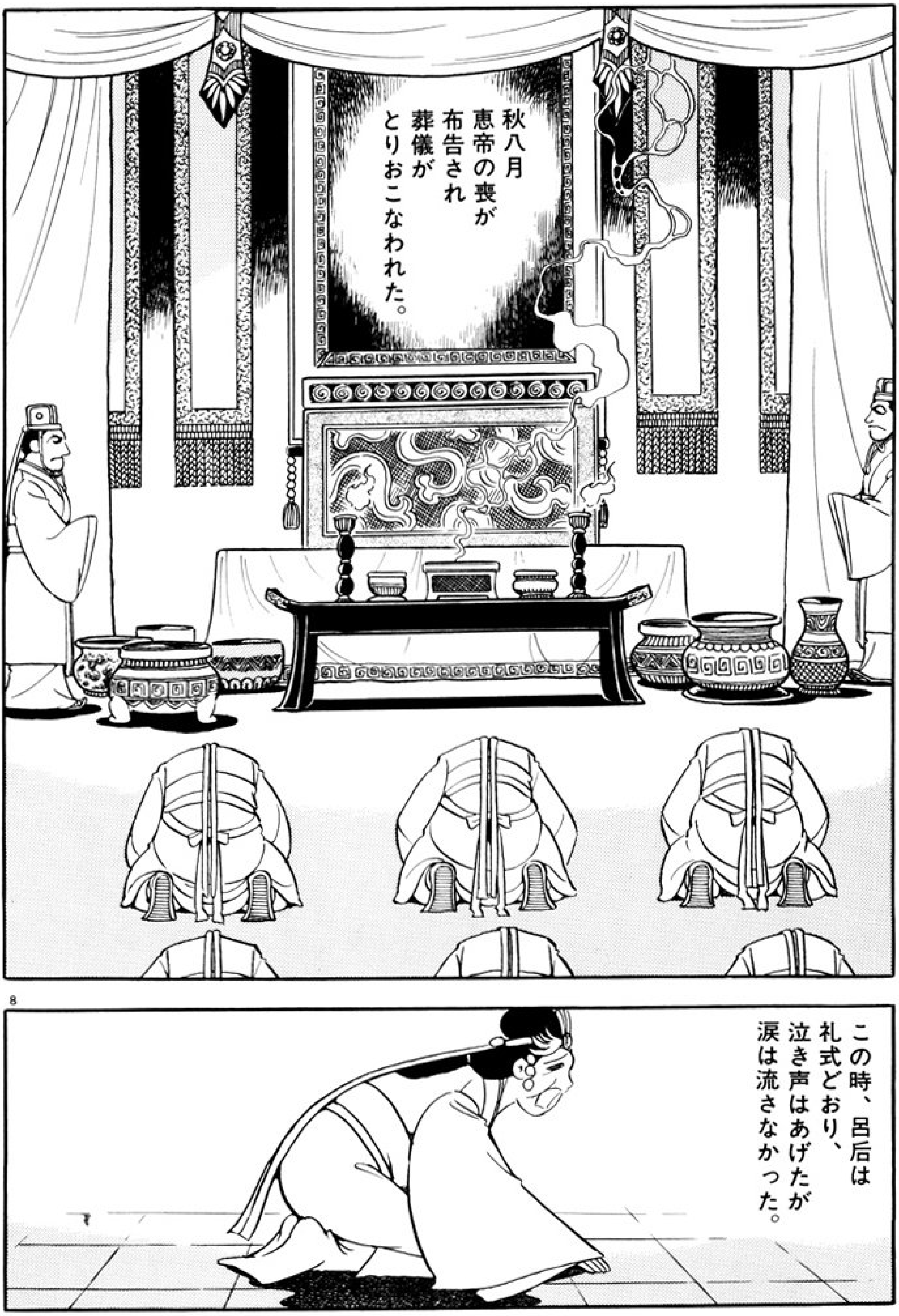
そこで あなたは
お腹をふくらませ、
懐妊してるように
見せるのじゃ。
でも
子供は？
幸いなことに
後宮に恵帝の子を
懐妊した女がいて、
間もなく
生まれます。
その子を
あなたの子として
帝位につかせます。
高祖が他の女に
生ませた子など
ぜったいに
帝位につかせぬ、
それどころか
みな殺しにしてやる。


張皇后はその日から、お腹をふくらませ、懐妊してるよう芝居をした。
これ、恵帝の子はいつ生まれます。
はい、間もなくです。

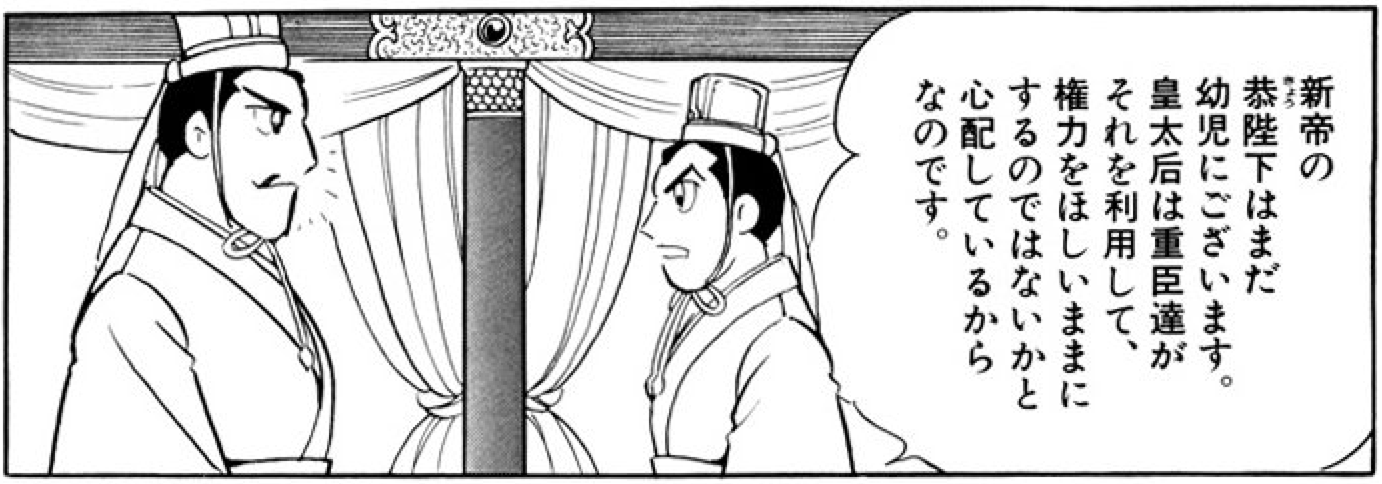
恵帝の喪を天下に布告する前に生まれますね。
はい。
その子が生まれたら、その母親は殺しなさい。
えっ？
その子は皇后の子として育てます。これは世継騒動を起さぬためじゃ。
ははーっ。

間もなく後宮の女性は男子を生んだ。
6
お薬湯にございます。
ありがとう。

うっ……
おおお……
産後の肥立(ひだ)ちが悪かったようだのう。


秋八月
恵帝の喪が
布告され
葬儀が
とりおこなわれた。
この時、呂后は
礼式どおり、
泣き声はあげたが
涙は流さなかった。

左丞相陳平さま。
おう、張辟彊なにかな。
9
張辟彊は張良の子で
この時十五歳であった。
皇太后は、ひとり息子の恵帝を失いながら涙も流しませんでした。その理由がおわかりですか。
いや、わからぬ。



中国の天子には国家は天子を頂点として、その一家のものだという考え方がある。呂后がいくら実権を持とうともクーデターでも起さぬかぎり、呂姓の者は帝にも王にもなれないのである。

なにっ、呂台や呂産、呂禄を南北両軍の将軍にせよと申すのか。
はい、それにもっと呂氏一族を宮中に入れ重用なさってくださいませ。
11
まことか、そちたち重臣に異存はないのか。
ございませぬ。

ほほほほ、
そうか
重臣たちは
反対せぬのか
おほほほほ……
ホホホホ
ホホホ
左丞相、
この話を聞けば、
呂台、呂産、呂禄は
大喜びするで
あろう。
ははっ。
この時になって呂后は
一人息子の死を
涙流して悲しんだ。

12

恭帝元年、
しかし歴史家は
高后(呂后)元年と
記す人もいる。
法令はすべて呂后が
布告し事実上の
天子だったからである。
右丞相王陵、
呂氏一族から
王を立てたいが
どう思う。
それは出来
ませぬ。
かつて高帝(高祖)と
われらは白馬の
血をすすり
誓いを立てました。
高帝は
劉氏以外のものが
王に立つときは
天下一致してそれを
討てと申されました。
呂氏を王に立てる
ことは許されません。

13

ふーん、
誓いのう……
左丞相陳平、
そちはどう思う。
高帝が天下統一なされた時、一族を王にお立てになりました。今は皇太后さまがすべて決裁なされているのですから一族を王に立てることは問題ありませぬ。
おお、
そうか。
絳侯周勃(こうこうしゅうぼつ)
そなたは
どう思う。
左丞相陳平どのと
同じ考えです。
おう、
そちも認める
のじゃな。

反対は
右丞相王陵
だけなのじゃな。
よろしい、
今日の朝議は
これまでじゃ。
ははっ。

左丞相、絳侯、この中で話がある。
16
われらは高帝と血をすすりあって誓った仲だ。高帝との誓いを破り、太后の言いなりになっていいと思うのか、これでは地下の高帝にあわせる顔がない。
どこまでも正義をつらぬくと言うのであれば、王陵どのの言われることは正しい。

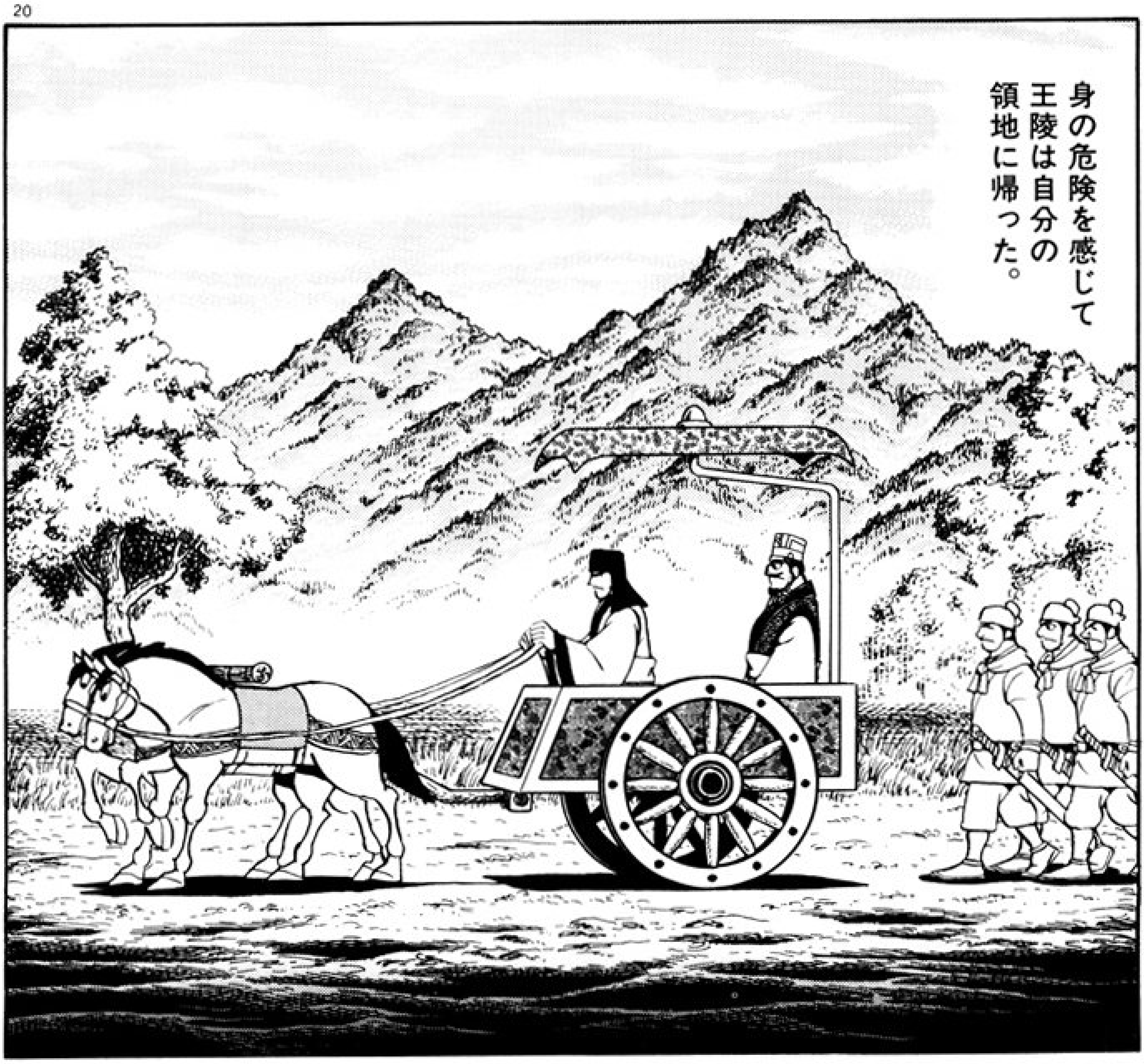
しかし呂后は天子としての実権を握っている。
漢の社稷を守り、劉氏の血筋を絶やさぬためにはわれらの考えのほうが貴公より正しい。
恭少帝にはなんの力もない、それに皇太后の高帝が他の女性に産ませた子に対する憎しみは尋常ではない。都に召し出し毒を盛って殺しかねない。
その通りじゃ、いま劉家は嵐の中にいるのじゃ。この嵐をどうさけて劉家を守るか、それを考えねばならん。
………
考え方に違いはあっても、すべて劉家のためでござる。
………
17

右丞相さま、変な噂を耳にいたしました。
変な噂？
皇太后さまは酒宴を開き、右丞相さまの酒に毒を盛るというのです。
なにっ!?
ともかくご用心なさってくださいませ。

18

そうか、
呂后ならば
やりかねぬ、
殺される前に
今の職を
辞したほうが
よい。
なに、
職を辞したいと
申すか。
はい、
昔の戦場での
古傷が痛み出し、
近頃は
立ち振る舞いも
苦痛にございます。
できますれば、
領地に帰り
療養したいと
思いまする。
右丞相は激務じゃ、
それではつらかろう。

20



その後、右丞相には陳平左丞相には審食其という人物がなった。
審食其は劉邦の太公(父親)や呂后が項羽の人質になっていた時、二人の世話をしていた人物で呂后と醜聞のある人物である。
21
審食其よ、わたしの一族を王や要職につけるのですよ。
もちろんでございます。

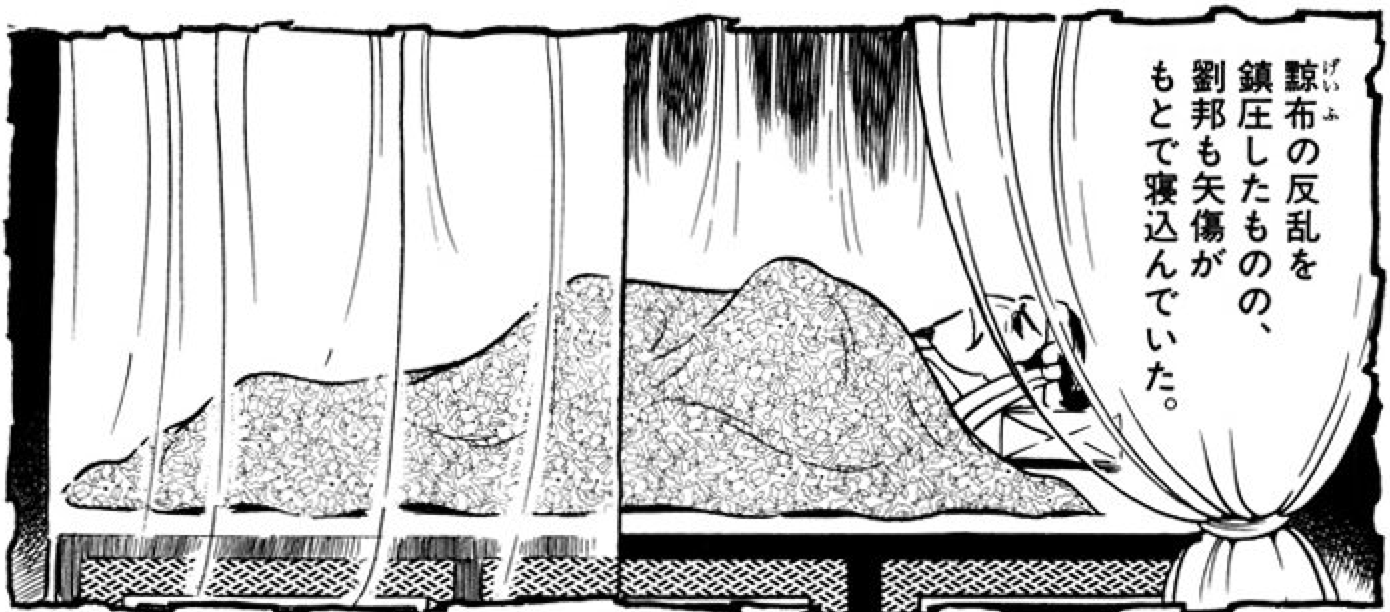
このたび斉の南都を呂国とすることに決定した。呂王には呂台どのが封じられる。
ははっ。
呂台よ、しっかり国を守りなさい。
はっ。

22

右丞相さま、気をつけてくださいませ、右丞相を讒言している者がおります。
ほう、誰かな。
皇太后の妹の呂媭さまでございます。
おお、呂媭さまならさもありなん。

23

高祖(劉邦)が
逝去する直前
こんな事件があった。



24

劉邦は呂嬃の夫の
樊噲に討伐を命じた。
劉邦にとっては
義弟である。
ところが樊噲が
出発したあと、
樊噲に野心があると
讒言する者が
あらわれた。
猜疑心の虜に
なっている劉邦は
その言葉を信じた。
樊噲め、
わしがこのまま
病気で死ぬことを
願っているのだ。

25

陳平、そちは周勃を連れて樊噲のもとへ参れ。
はっ。
そして樊噲の首を刎ね、燕の反乱軍の鎮圧は周勃にまかせよ。
ははっ。
26
皇帝の命は絶対である。二人は樊噲の陣へ向った。

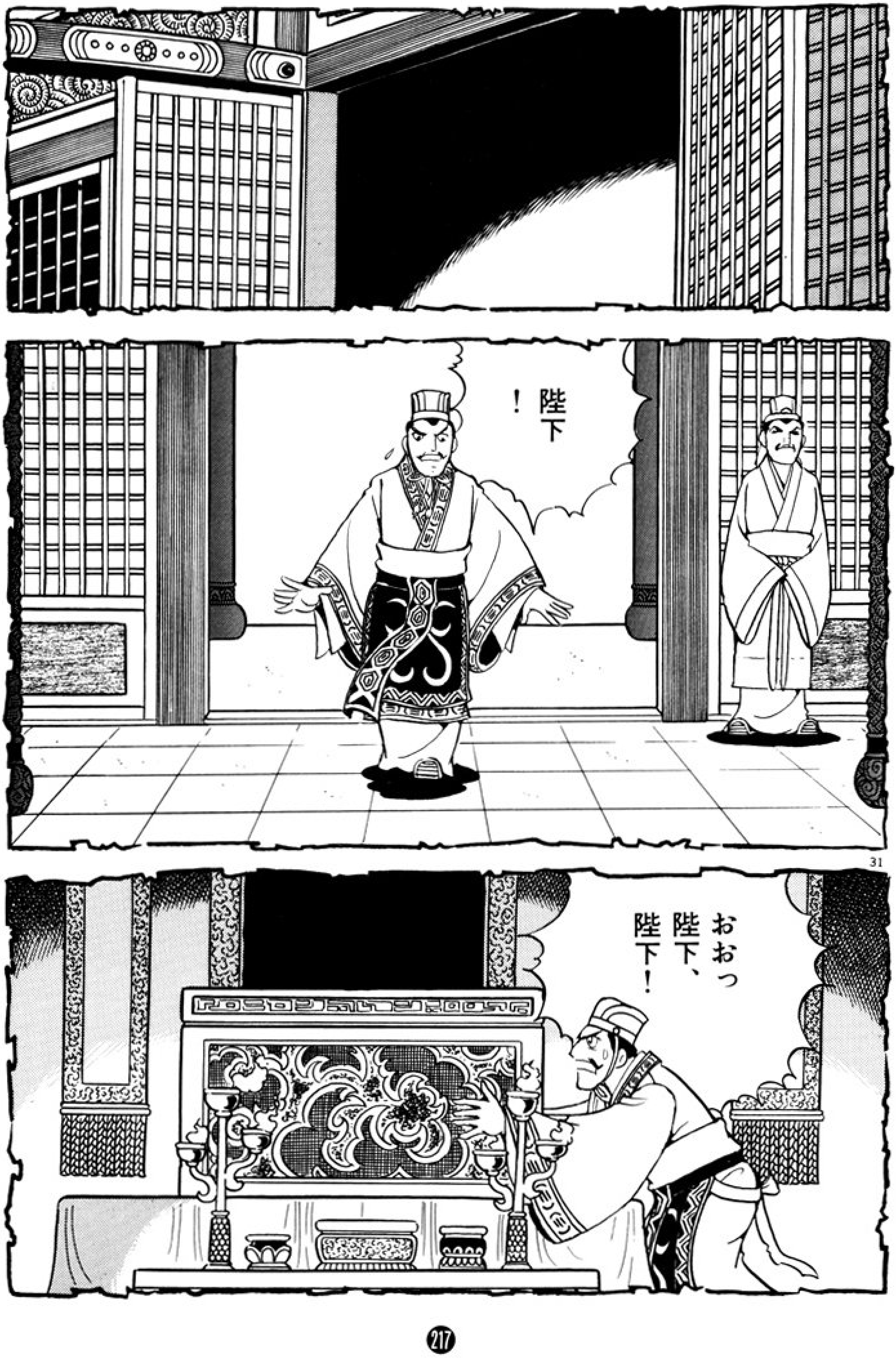
のう周勃どの、いくら陛下の命とはいえ樊噲どのの首を刎ねるのはまずいぞ。
えっ。
27
樊噲どのは陛下の昔なじみだ。それに功績も多い、そればかりが呂太后の妹呂嬃さまの夫だ。
そうなんだ、それは気になっているが、陛下の命に逆うことはできぬぞ。

近頃陛下は病のためか、少し取り乱しておられる。きっとあとで後悔なされよう。われらは逮捕して帰り、あとは陛下の判断にまかせたほうがよいのではないか。
なるほど、そのほうがいい。
では、そういうことで。
わかりました。
翌日、陳平と周勃は勅使として樊噲の陣へ乗りこんだ。

28

樊噲将軍、
勅命でござる。
軍を周勃将軍に
ひきわたし
早々に帰国されよ、
陛下直々に
お取り調べがある。
それっ。
あああ！
陳平、
なぜわしが
取り調べられる
のじゃ。
それは
陛下に
おたずね
くだされ。

樊噲は囚人車に入れられ長安に向った。
陳平はその道中で高祖の逝去を知った。
なにっ陛下が!?
これ馬を用意いたせ！
陳平は一騎で長安に飛んだ。
このままでは呂太后と呂嬃さまにどう逆恨みされるかわからぬ。



31

オーーッ
オオオ……
陳平どの、お疲れのご様子もう退ってよい。
いいえ、葬儀が終わるまで宮中に宿衛させて下さいませ。
これで呂后の機嫌はなおり恵帝の師傅(しふ)(教育係)に命じた、だが呂嬃は恨んでいた。
それで呂嬃さまはなんと讒言いたしておる。
はい職務をほうりだし、女と酒におぼれている右丞相をやめさせるべきだと……

32

そうか、ならばそういたそう。
えっ。
その日から陳平は女と酒におぼれる日々をおくりだした。
33
そうか、陳平は呂嬃の申す通りであったか。
はい。

陳平をここにくるよう伝えよ。
はい。
右丞相、近頃はよくお酒をたしなむようじゃの。
はっ。
34
わたしにはそちの立場がよくわかっている、讒言など気にすることはないぞ。
ははーっ、お心くばり光栄にございます。

おお、呂嬃来ていたのか。
呂太后さま、陳平が来ているとか。
それで右丞相の職を解任したのですか。
いいや、解任はいたさぬ。
どうしてでございます。
そなたの考えは甘い、今急にそのようなことをすれば、劉氏一族の反発を買う。

35

よく考えてみなさい。斉、趙の大国をはじめ各国の王は高祖が後宮の女に生ませた子達ばかりです。また高祖に忠誠を誓うものもまだ多い。
高祖は重臣達に誓わせている。劉氏以外の者が王になる時は天下が力を合わせて討てと……だから呂氏が力をもつまでは劉氏一族に余計な反発心を持たせぬことじゃ。
陳平は重臣の筆頭じゃ、腰抜けになってくれれば事がやりやすいというもの……
いずれ各国の王は劉氏に替わって呂氏一族にするつもりじゃ。
36

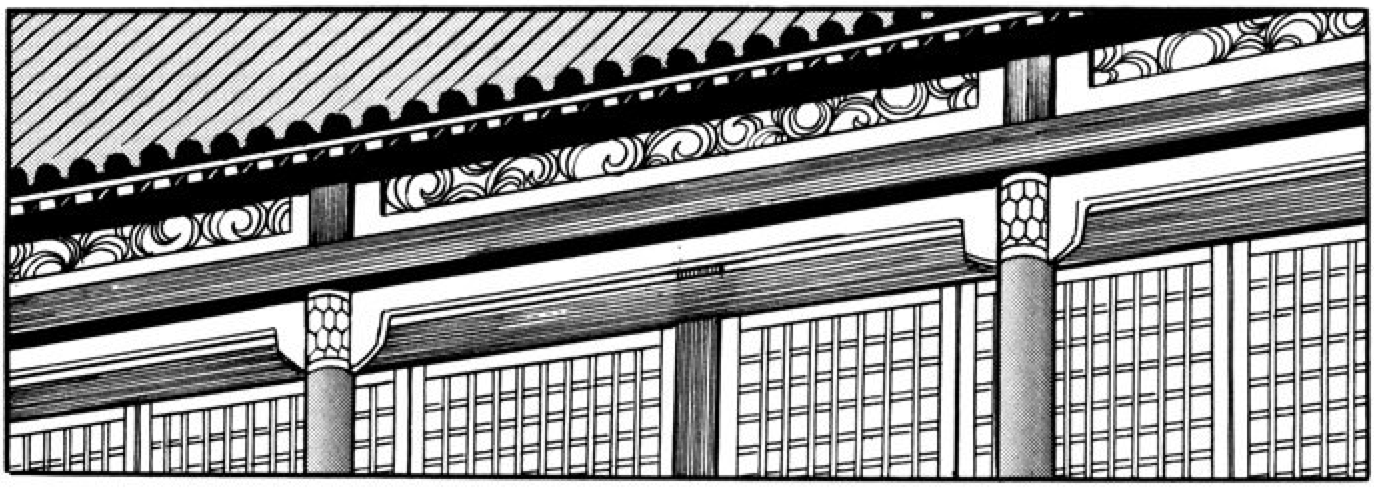
なにっ、皇后はわたしの母でないと申すか!?
しーっ、声が大きゅうございます。
すると太后は私の母を殺し、皇后の実の子と言って、重臣達を納得させたのか。
はい。
いかに太后といえども許さん、わたしが成人したら母の仇は討つ!!

37

38

陛下、
皇太后さまがお二人だけでお話があるとお召にございます。
二人だけで……
こちらにございます。
39
さあ、どうぞ。
?

バタ…
ガチャリ
あっ、何をする、無礼であろう。
これ何をする、ここを開けろ！
40
お言葉どおりにいたしました。
よいか、近侍の者も近付けてはならんぞ。



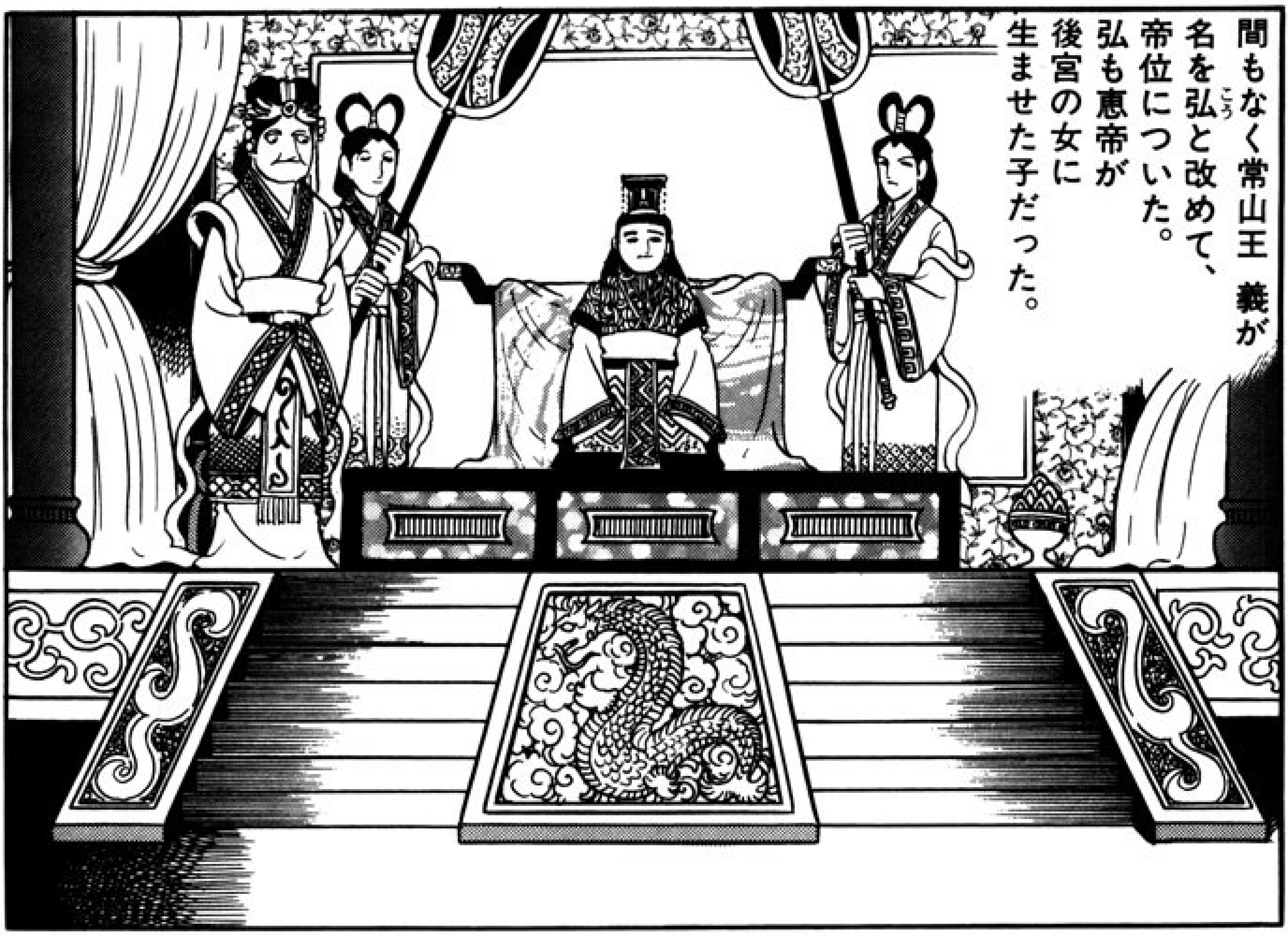
41

天下を経営するには帝は奉仕の心で民の平安をはかり、民は喜びの心で上に従う、これで天下は安泰を保つ。
しかし、恭帝の様態では天下を治められぬ、ここはすみやかに交代するのが望ましい。
42
ははーっ、天下万民のため、皇太后のご心痛察するにあまりあります。
臣下一同、心より詔に従います。

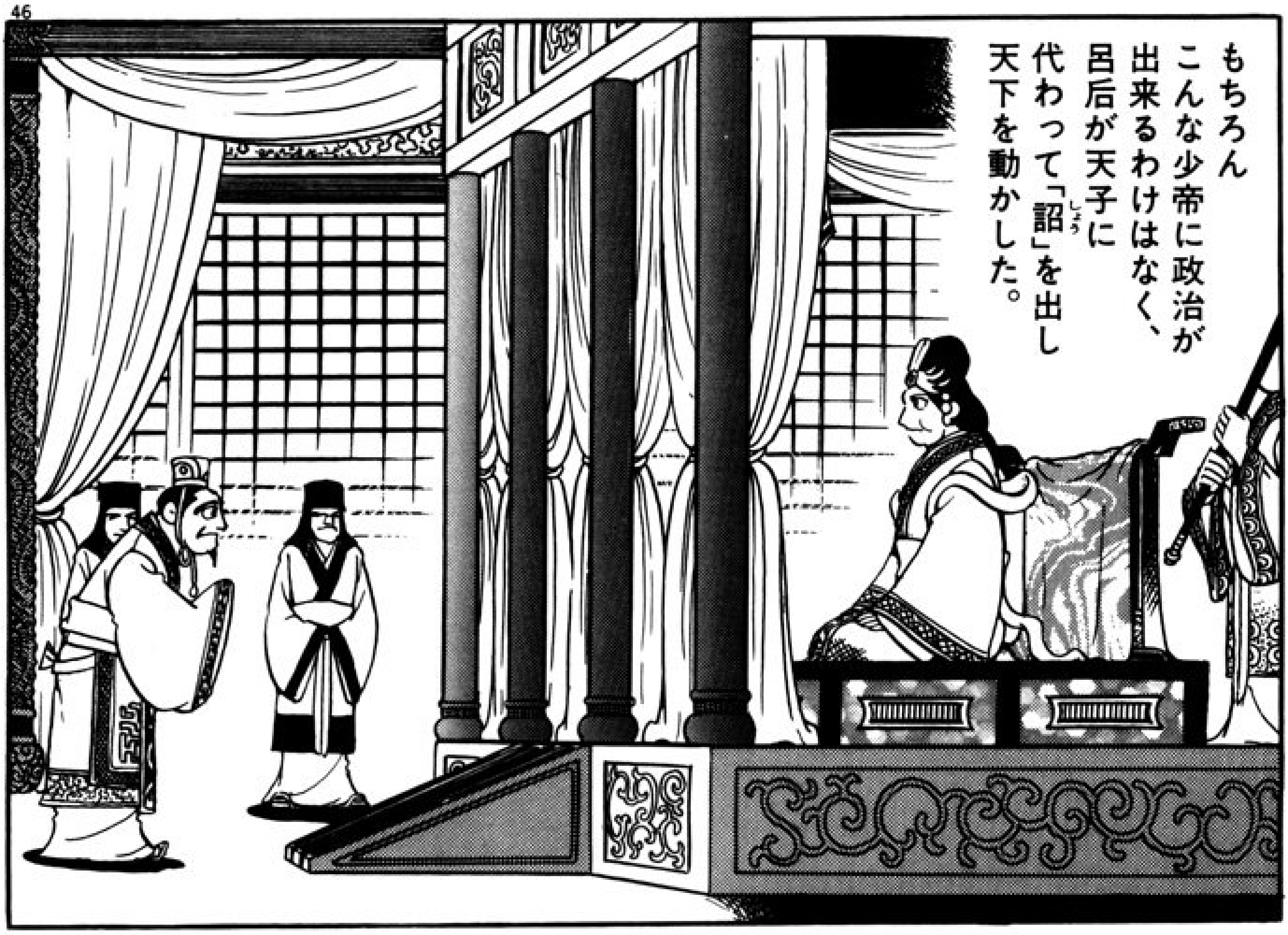
これ、常山王 義を新帝に立てることが決った。恭帝には死んでもらいなさい。
はっ。
43

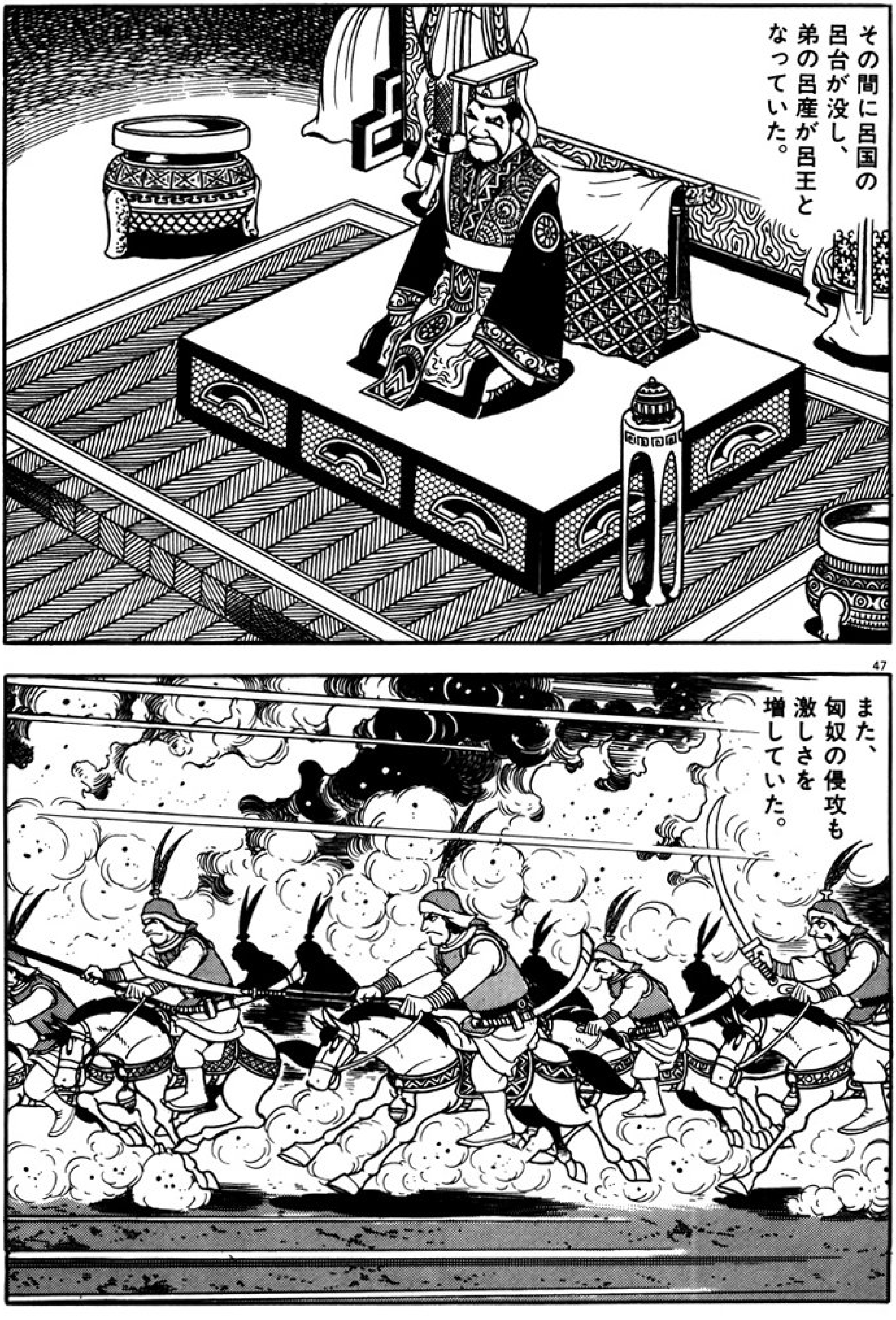
夕食にございます。
わたしをいつまでここに閉じこめておくのだ。
44
なぜ太后はわたしにこのような仕打ちをする。
それは太后さまがお決めになられます。
わたしどもは何も言わず、何も聞かず、何も見ず、ご命令どうりに働くのが務めにございます。

では、のちほど
片付けに
参ります。
ガチャリ
うっ……
うぐぐ……
45
恭帝は毒殺された。


間もなく常山王 義が
名を弘と改めて、
帝位についた。
弘も恵帝が
後宮の女に
生ませた子だった。

46

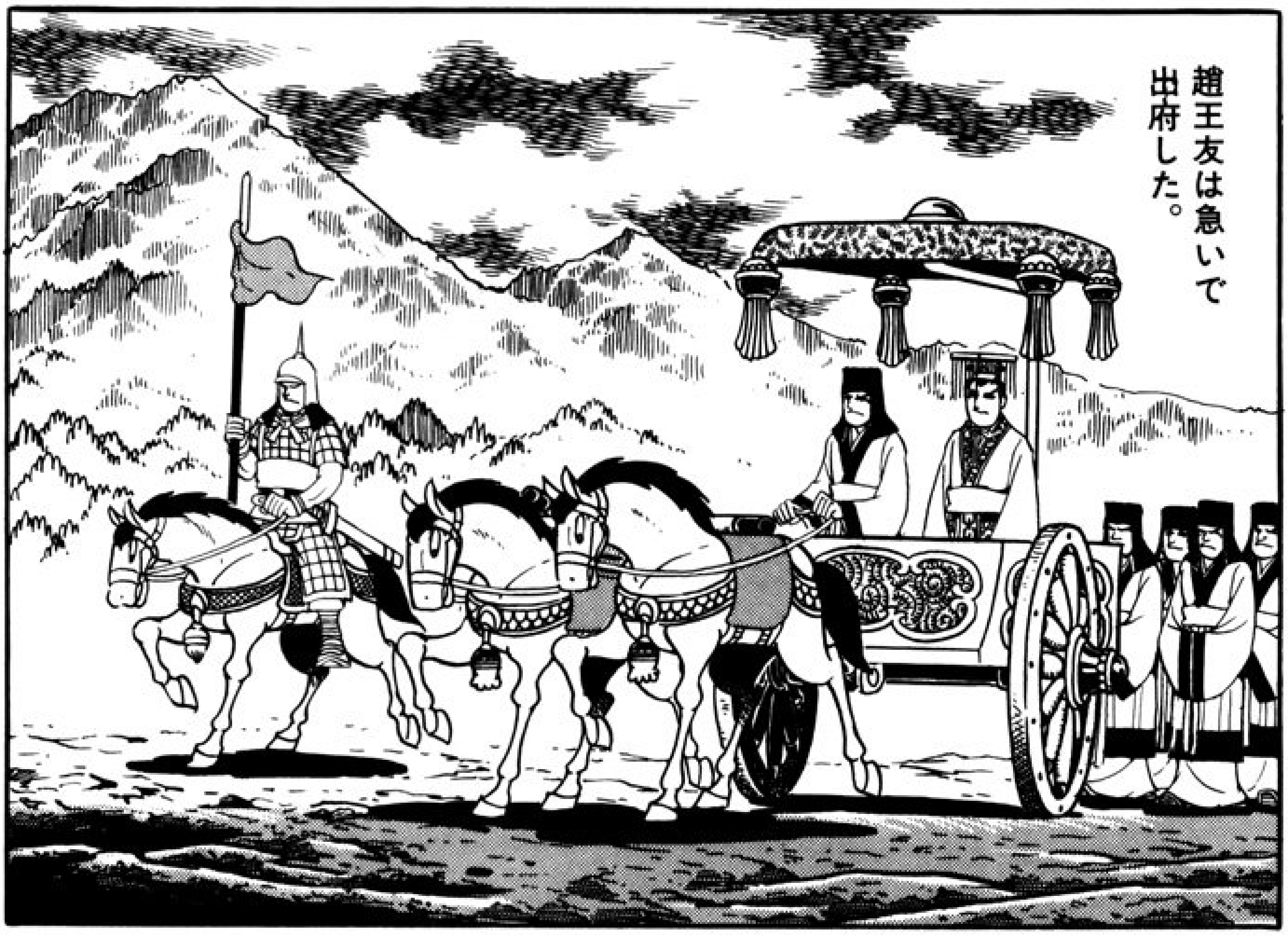

もちろん
こんな少帝に政治が
出来るわけはなく、
呂后が天子に
代わって「詔」を出し
天下を動かした。

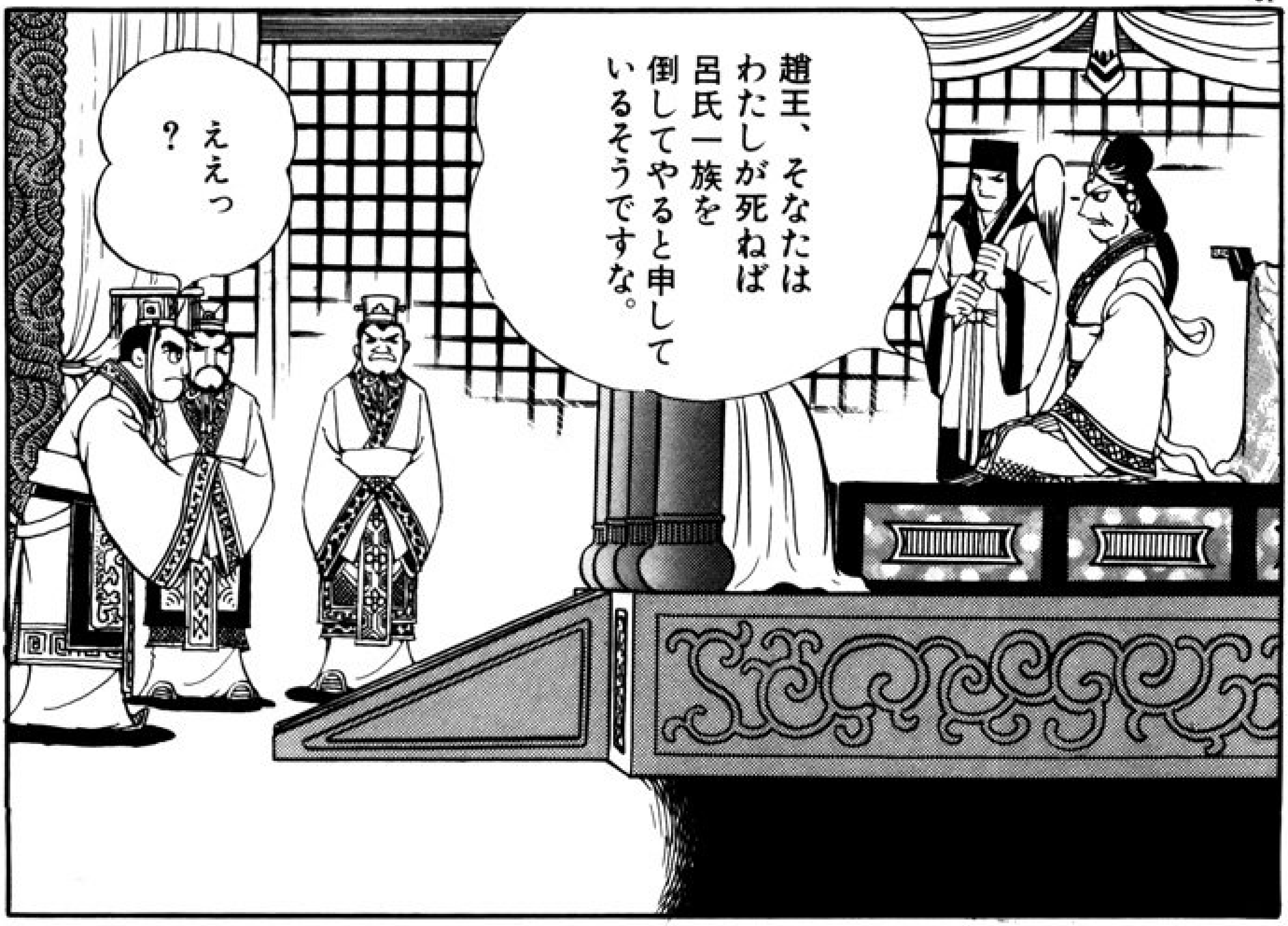

その間に呂国の
呂台が没し、
弟の呂産が呂王と
なっていた。
47
また、
匈奴の侵攻も
激しさを
増していた。

おお、趙王友どのの妃が突然都に来られるとはどうしたことじゃ。
はい、一大事をお伝えに参りました。
一大事?
趙王がとんでもないことを企んでおります。

趙王は呂氏一族を王にするなどもってのほか太后さまが死んだら、必ずやつらを倒してやると申しておりました。
なんですと、趙王はそのようなことを申しているのか!?
はい、わたしは聞いていて恐ろしくなり、お伝えに参ったのです。
49
趙王友の妃は呂氏一族の娘で、呂后が無理に押しつけたのである。だが友は妃を愛さず、側室を愛した。妃は嫉妬に狂い、でたらめを呂后に告げたのである。

もうよい、それ以上聞きたくない！
はい。
これ趙王に出府を命じよ！
呂后にすれば趙王を誅殺するいい口実が出来たのである。ただちに使者を趙へ走らせた。


趙王友は急いで出府した。


51
趙王、そなたはわたしが死ねば呂氏一族を倒してやると申しているそうですな。
ええっ？

そのような恐れ多いことは申したこともございませぬ。
お黙り、言い訳など聞きたくありませぬ！
趙王を捕えい！
太后さま、これは何かの間違いです!!

52

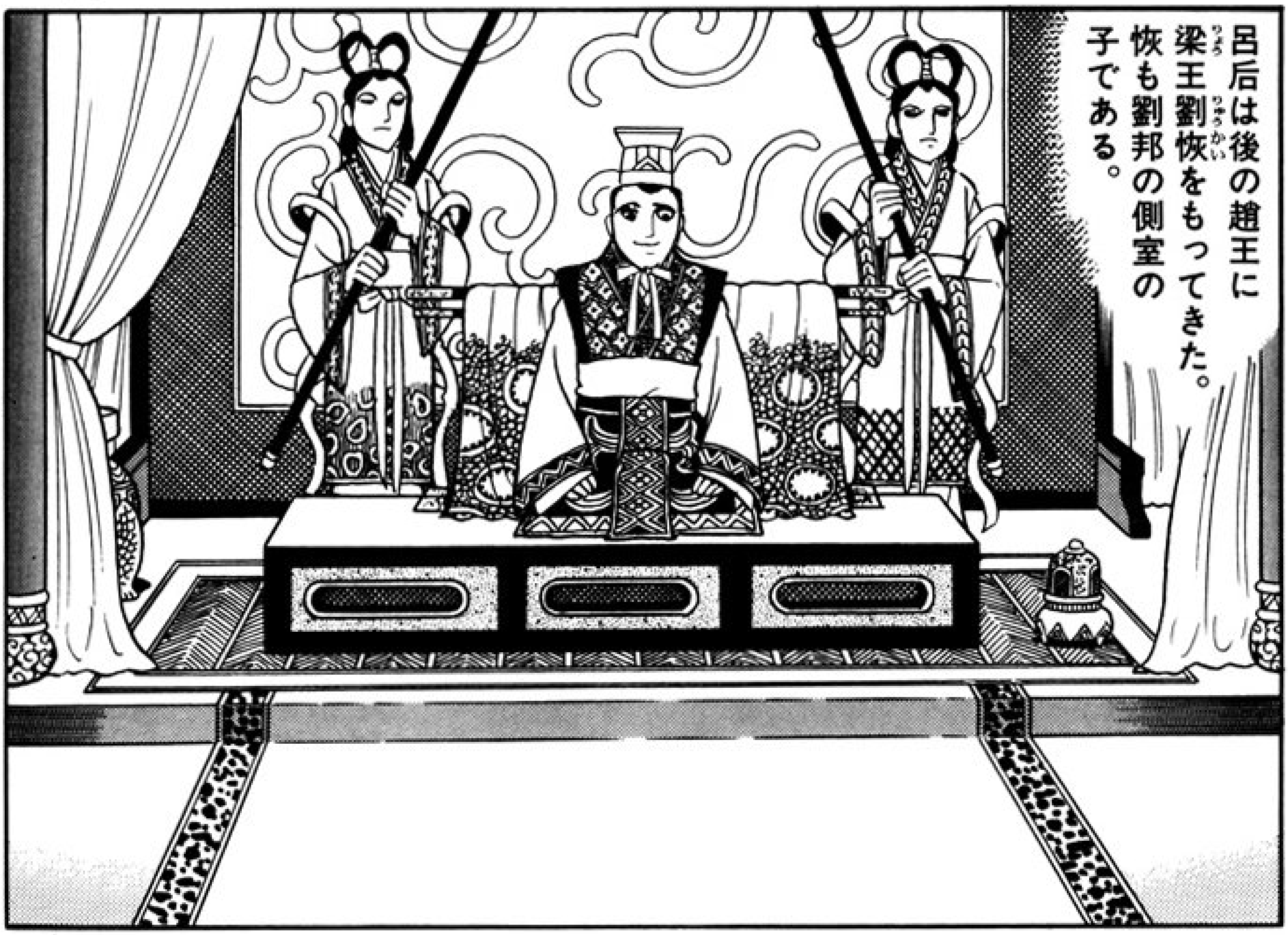
趙王はそのまま幽閉され、食事も与えられなかった。
趙王をあわれに思い、そっと食事を差入れようとした者がいた。
だがその者達はその場で殺された。
趙王は飢えに苦しんだ。

53

趙王は無念の思いを
こめて次のように
うたった。
呂氏　事を用い　劉氏危し
王侯を脅迫し　強いてわれに妃を授く
わが妃嫉妬に狂い　われを売る
讒女、国を乱す　上それを悟らず
われに忠臣なし　なんの故にか国を棄つる
自ら荒野に自決したのなら
天が正義を明らかにしたろうに
ああ　なぜ早く気がつかなかったのであろう
王となりて餓死す　だれかこれを憐まん
呂氏、理を絶つ　天の助けでこの仇を討つ

54

趙王は看取るものもなく
餓死していった。


呂后は後の趙王に
梁王劉恢をもってきた。
恢も劉邦の側室の
子である。

55

そして呂王 呂産を
梁王とし 呂産の娘を
恢の后とし、おつきの者も
呂氏の一族で固め、
恢の行動を監視
したのである。

恢には愛する側室がいた。
のう、わしが心安らぐ場所は今はここだけ、ここから一歩出ると息がつまりそうだ。
そなたがいてくれなかったら、わしは毎日どうやって暮らせばいいか不安だ。
うれしゅうございます。

56

だがある日
この側室も
毒殺されていた。
あああ！
おおおッ、
なんてことをする
なんてことを
するのだ！
もう わたしには
心安らぐ場所は
ないのか……
今の生活は
幽閉されて
いるのと同じだ。
食事に毒が入って
ないかとおびえて
生きつづけるのは
まっぴらだ。

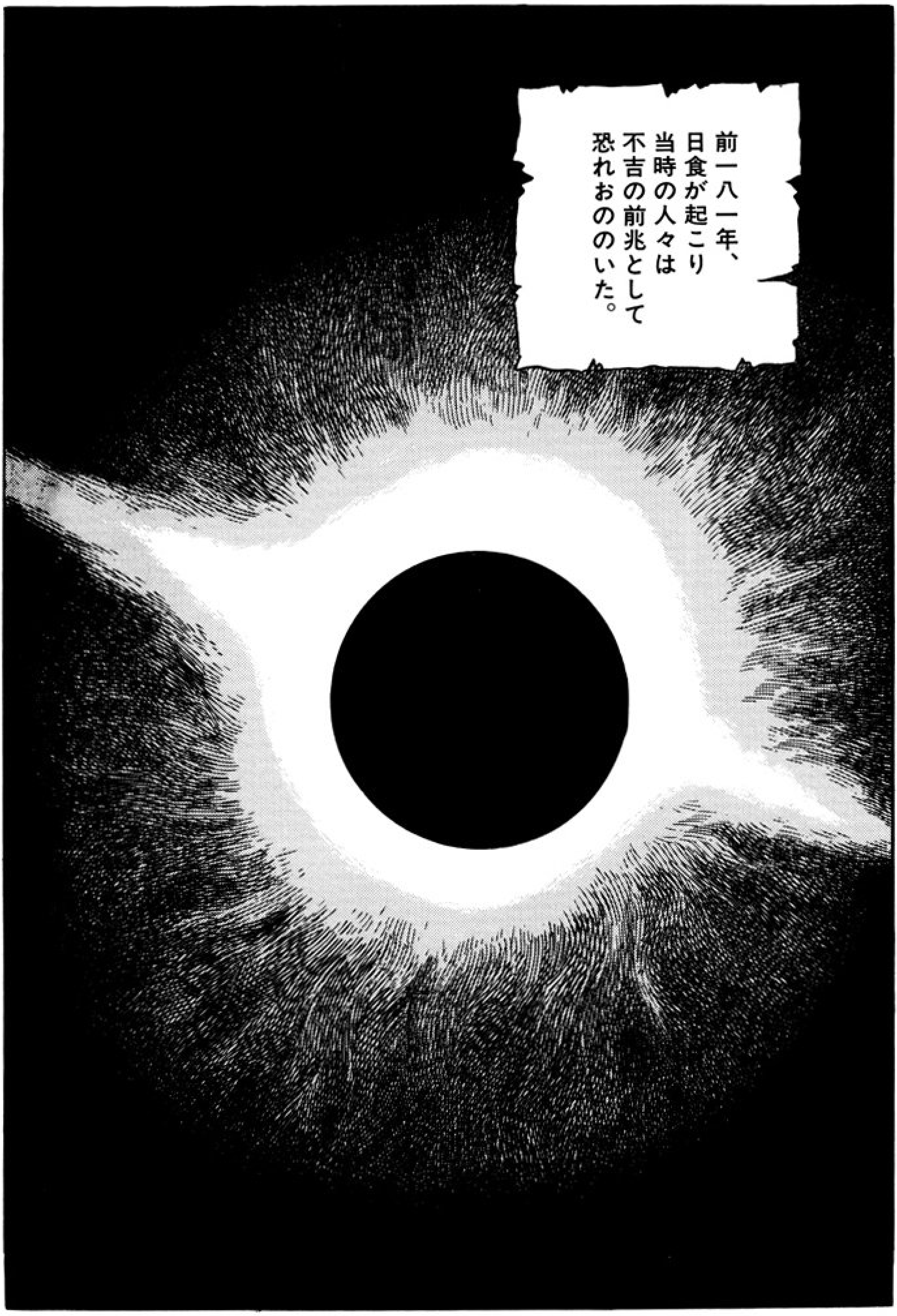
57

恢は愛する
側室の後を
追うようにして
毒を飲んだ。
ここに高祖の子
如意、友、恢の
三人が死んだのである。
呂后はすかさず兄の子
呂禄を趙王に封じ
……
さらに燕王
劉建が没すると、
後継者の太子を
毒殺し……

58

呂通を
燕王に封じて
呂氏の勢力を
拡大していった。
太后さま、
一大事で
ございます!!
なんです
騒々しい
………
日が……
日が欠けまする
!
なんですと
!?

おおっ!?
わたしのせいだ……わたしが人を殺しすぎたせいだ……
日が欠けるとは不吉な……
60



『史記』第13集—完—

ビッグゴールド'96年9月号〜'96年12月号掲載作品

『史記』関連年表

紀元前	中国
2550	黄帝、顓頊、帝嚳、堯、舜の五帝が支配した**伝説の時代**。
2144	**夏**、始まる。
1711	**殷**、始まる。
1066	周、始まる。
1065	魯、燕、衛、晋、曹、蔡、呉、陳、宋、斉、楚の諸侯、成立。
770	**東周**、始まる。秦、諸侯に列する。
722	**春秋時代**、始まる。

紀元前	世界の国々
4000頃	エジプト初期王朝時代始まる。王都メンフィスを創設。
2700頃	エジプト、ピラミッドを造営。
2500頃	インダス文明はじまる。日本、縄文文化中期（発展期）。
2000頃	クレタ文明旧宮殿時代。
1600頃	日本、縄文時代後期。
955	ソロモン（ダビデの子）イスラエル王となる。
776	ギリシア、オリンピアで第1回オリンピア競技会開催。
753	ローマ建国。

686	斉の**襄公**、公孫無知の謀犯により死す。
685	斉の**桓公**、管仲を宰相に迎える。
667	斉の**桓公**、周王より伯（覇者）を賜る。
666	秦の**驪姫**、その子・奚斉を立てようとし、**重耳**らの追放をはかる。
645	斉の宰相**管仲**死す。
636	重耳、亡命19年ののち即位し、晋の文公となる。
546	宋の向戌の提唱で、晋、楚、魯、蔡、衛、秦など13か国間の和平成立。以降40年間休戦となる。
522	楚の**平王**、**伍奢**とその子伍尚を死罪に処す。伍尚の弟**伍子胥**、呉に逃げる。
515	呉の公子光、王、僚を討ち王位につく。名を**闔廬**と改める。
511	呉、**伍子胥**の計を用いて楚に侵入。
506	呉、楚軍を破り、楚の都郢に入る。
505	越、呉に侵入。楚の**申包胥**、秦の援軍を得て楚を救う。呉敗北。
496	呉王**闔廬**、越王**句践**と戦い、矢傷を負い敗死。
494	呉王**夫差**、**句践**を会稽山で破る。

625	新バビロニア王朝はじまる。
539	新バビロニア王朝滅亡。ペルシア帝国隆盛期。
500	ペルシア戦争始まる。
500頃	日本、縄文晩期時代。
490	マラトンの戦いでペルシア、ギリシアに敗れる。

紀元前	中国
484	呉王**夫差**、艾陵で斉軍を破る。**伍子胥**、呉王夫差より死を命ぜられ自害。
482	呉王**夫差**、黄池で覇権を争う。その隙をついて越王句践、呉に侵入。呉、大敗を喫す。
481	**春秋時代**終わる。
479	孔子死す。
473	越王**句践**、呉を滅亡させ、覇者となる。
453	大国・晋、韓・魏・趙の三氏に分裂される。これより三晋おこる。
446	魏、文侯即位。魏の国力盛んとなる。
403	**戦国時代**始まる。
387	魏の文侯没す。**呉起**、楚に移り宰相となる。
384	秦、殉死を禁止。
381	楚の悼王没す。**呉起**、楚の貴族たちに殺される。
367	周、**西周**と**東周**に分裂。
359	秦の孝公、**商鞅**を左庶長に任じ、新法を公布、国内改革を断行。
350	秦、咸陽へ遷都。

紀元前	世界の国々
457	ギリシア、オリンピアにゼウス神殿完成。
449	アテネ艦隊、キプロス島でペルシアを破る。ペルシア戦争終わる。
447	ギリシア、パルテノン神殿着工。

341	斉の将軍**田忌**、**孫臏**の計により**魏軍**を破る。**魏**の将軍龐涓、自害。	340頃	日本、弥生前期時代。
340	秦の**商鞅**、魏軍を破り、商・於に封じられる。	336	アレクサンドル大王即位。
338	秦の孝公没す。**商鞅**、車裂の刑に処される。	331	ペルシア帝国滅亡。
		317	インド、マウリア王朝を興す。
299	秦の**昭王**、斉の**孟嘗君**を迎える。		
298	**孟嘗君**、秦より斉に逃げ帰り宰相となる。趙の恵文王、公子勝を**平原君**に封ずる。		
293	秦の**白起**将軍、韓・魏連合軍を伊闕で破り、二十四万人を殺害。		
289	このころ孟子没。		
286	斉、宋を滅ぼす。		
284	燕、秦、趙、韓、魏、連合して斉を討つ。燕の将軍・**楽毅**、斉都臨淄に攻め入る。	276	第一次シリア戦争始まる。
280	秦の**白起**将軍、趙を破る。		
279	秦の**昭王**、趙の**恵文王**と澠地で会談。燕の昭王死去。**楽毅**、趙へ亡命。斉の**田単**、楽毅に奪られた七十余城を取り戻す。**孟嘗君**死去。		

紀元前	中国
278	秦の**白起**将軍、楚を討ち、首都・郢を占拠。楚、東方の陳へ遷都。
277	秦の**白起**将軍、武安君に封じられる。
276	**魏**の公子無忌、**信陵君**に封じられる。
273	秦の**白起**将軍、魏・韓・趙連合軍を破り、13万人を殺害。
270	趙の将軍・**趙奢**、作戦で秦軍を破る。
266	秦の昭王、**范雎**を宰相に任じ、応候に封じる。
262	楚の**孝烈王**即位。黄歇を**春申君**に封じる。
261	戦国時代最大の合戦、趙・秦の両軍による**長平の合戦**始まる。
260	趙の孝成王、**廉頗**将軍を罷免し、趙奢の子、**趙括**を総大将に任命。秦の**白起**将軍、趙軍を長平で大破し、捕虜四十万余を生き埋めにする。
257	秦の**白起**将軍自害。秦の王陵将軍、趙の都、邯鄲を包囲するも、楚の**春申君**、魏の**信陵君**の助太刀により大敗。
256	**秦**、西周を滅ぼす。

紀元前	世界の国々
269	ローマ、銀貨を初めて鋳造。
268	インド、アショーカ王即位。マウリア王朝最盛期に。
264	第一次ポエニ戦争始まる。

255	秦の昭王、**范雎**を罷免する。	256	ローマ海軍、シチリア南岸沖でカルタゴ海軍を破る。
249	秦の昭王、**呂不韋**を相国とする。	248頃	パルティア王国建国。
247	秦、**魏**に侵攻。**魏の信陵君**、五か国の兵を率いて秦を破る。		
246	**秦王・政**（後の始皇帝）即位。呂不韋幼君政に代わって執権。		
241	趙・楚・魏・燕・韓の5か国、連合して秦を攻め、函谷関に敗れる。	241	第一次ポエニ戦争終わる
238	楚の李園、**春申君**を殺害。秦の長信候・**嫪毒**、謀反を起して失敗、車裂きの刑に処される。		
237	秦の**呂不韋**、相国を解任され楚の**李斯**、秦王に登用される。		
235	秦の**呂不韋**自害。		
233	韓の公子・**韓非**、和平の使者として秦に送られ、後に獄中で毒を飲み自害。	232	アショーカ王没。
230	秦により韓滅亡。		
228	秦により趙滅亡。趙の公子・**嘉**、代に逃亡し代王となる。		
227	燕の太子・**丹**、**荊軻**を刺客として秦王の許に送り失敗、太子丹、遼東に逃亡。秦の**王翦**、燕を討つ。		

紀元前	中国
226	燕の太子**丹**、遼東で死去。
225	秦により魏滅亡。
223	秦により楚滅亡。
222	秦により燕、代滅亡。
221	**秦**、天下統一。秦王・政、**始皇帝**と改称。**李斯**を丞相に任命し、群県制を実施。
220	**始皇帝**、第一回巡幸（西方）。
219	**始皇帝**、第二回巡幸（東方）。霊峰・泰山にて封禅の儀式をとり行う。
218	**始皇帝**、第三回巡幸。韓の**張良**、博浪沙にて暗殺を試みるが失敗。
215	**始皇帝**、第四回巡幸。**蒙恬将軍**、匈奴を討伐。
214	万里の長城の建設始まる。
213	禁書の布令出る（世に言う「焚書」）。
212	**驪山陵**、**阿房宮**の建設始まる。儒者四百六十余人を生き埋めにする。（世に言う「坑儒」）。
210	**始皇帝**、第五回巡幸中、沙丘平台にて死去。驪山陵に葬る。**胡亥**、二世皇帝を即位。
209	**陳勝・呉広**、蘄県大沢郷にて挙兵。**項梁・項羽**、会稽にて蜂起。**劉邦**、沛にて蜂起。

紀元前	世界の国々
215	第一次マケドニア戦争起こる。
205	第一次マケドニア戦争終る。

208	**呉広・陳勝**、配下の手により刺殺される。
207	**項羽**、鉅鹿に秦軍を破り、諸侯を掌握。**秦の李斯**、趙高の謀議により刑死。**趙高**、秦の二世皇帝を殺害、**子嬰**を皇帝に立てる。子嬰、趙高を殺す。
206	秦王・子嬰、**劉邦**に降伏。劉邦、法三章を約す。項羽と劉邦、鴻門に会す。
205	劉邦、韓信の計を入れて漢中から出、三秦を平定。楚・漢の戦い始まる。劉邦、楚都・彭城を攻め大敗。
204	韓信、趙を破る。
202	**劉邦**、項羽を破り、漢王朝を興す（漢の天下統一）。劉邦、皇帝・高祖を名のる。
201	高祖、楚王**韓信**を淮陰侯に降格。
196	淮陰侯**韓信**、誅殺される。
195	**黥布**、敗死。**劉邦**死去。**恵帝**立つ。
194	趙王**如意**とその母**戚**、呂后に殺される。
188	**恵帝**死去。**呂后**の専攻始まる。
187	**呂氏**一族、王に封じられる。
145	**司馬遷**、生まれる。（異説あり）。
144	ローマ、マルキア水道建設。

紀元前	中国
140	武帝、天下の大学者、董仲舒を得る。
136	武帝、五経博士を置く。
110	武帝、泰山で封禅を行なう。
104	太初暦（陰暦）完成。
99	匈奴軍に降った李陵を弁護したため、司馬遷宮刑に処される。
96	司馬遷、大赦により出獄し、中書令に任命される。
87	武帝死去。
86	司馬遷死去。（異説あり）。

紀元前	世界の国々
133	グラックス兄弟の改革。
87	民衆派ローマを占領。恐怖政治始まる。

BIG GOLD COMICS
ビッグゴールドコミックス

史記

呂后君臨

13

1997年 1 月10日　初版第一刷発行

著者
横山光輝
©1997 MITSUTERU YOKOYAMA
発行者
熊谷玄典

発行所
株式会社　小学館
振替(00180-1-200)
〒101-01 東京都千代田区一ツ橋2-3-1
[編集]TEL03・3230・5481 [販売]TEL03・3230・5749

印刷所
株式会社美松堂(カバー・表紙)
中央精版印刷株式会社

装幀
海野一雄
+
Bay Bridge Studio

●本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載・上演・放送等をすることは、
法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利侵害となります。あらかじめ小社あて許諾を求めてください。
●造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、「制作部」あてにお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。制作部(TEL0120-336-082)
Ⓡ本書の一部または全部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
本書から複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL03-3401-2382)にご連絡ください。

検印廃止

ISBN4-09-189193-4

Printed in Japan

●四六変型判●各224〜288ページ
●定価(各)650円〜700円〈税込〉

好評発売中!

小学館

ハートフル・ストーリー!!

里中満智子「アトンの娘」全③巻

近藤ようこ「心の迷宮」①〜②巻

水島新司「平成野球草子」①〜⑨巻

ジョージ秋山「博愛の人」全⑧巻

横山光輝「史記」①〜⑬巻 最新刊・⑬巻

松本零士「無限海漂流記」①〜②巻

松本零士「ケースハード」①〜⑥巻

水木しげる「妖怪博士の朝食」全④巻

齋藤なずな「作品集①迷路のない町」

齋藤なずな「作品集②恋愛烈伝」(上)

竹宮惠子「紅(くれなゐ)にほふ」全③巻

青柳裕介「作品集①男の船出」

青柳裕介「作品集②男達の航海」

ビッグゴールド BGC コミックス

心の底から暖かくなる

青柳裕介「ゼンマイ仕掛けの犯罪白書」全②巻

藤子不二雄Ⓐ「ワールド漂流記」①巻

岡崎二郎「作品集①トワイライト・ミュージアム」

畑中純「理想宮」全②巻

石ノ森章太郎「HATAGO〈旅籠〉」全②巻

石ノ森章太郎「石ノ森版立川文庫①猿飛佐助」

石ノ森章太郎「石ノ森版立川文庫②宮本武蔵」

石ノ森章太郎「石ノ森版立川文庫③塚原卜伝」

面家哲郎 高井研一郎「たらちねストリート」全②巻

戸川幸夫 矢口高雄「野性伝説」①〜②巻

村野守美「職人尽百景」①巻

久保田千太郎 ほんまりう「新・藩翰譜森一族」①巻

続刊 齋藤なずな「作品集②恋愛烈伝」(中)

※最新刊は12月15日ごろ書店に並びます。

小学館文庫★好評発売中!!

秋里和国弐「それでも地球は回ってる」全3巻
秋里和国弐「TOMOI」全1巻
あだち充「スローステップ」全4巻
あだち充「陽あたり良好!」全3巻
あだち充「ナイン」1・2巻
石ノ森章太郎「佐武と市捕物控」全10巻
楳図かずお「洗礼」全4巻
上村一夫「一葉裏日誌」全1巻
上村一夫「凍鶴」全1巻
工藤かずや/浦沢直樹「パイナップルARMY」全6巻
小山ゆう「おれは直角」1・2巻
柴門ふみ「東京ラブストーリー」全3巻
柴門ふみ「同・級・生」全1巻
さいとうちほ「青りんご迷宮」全1巻
佐藤史生「夢みる惑星」全3巻

佐藤史生「ワン・ゼロ」全3巻
篠原千絵「凍った夏の日」全1巻
篠原千絵「そして5回の鈴が鳴る」全1巻
篠原千絵「闇のパープル・アイ」全7巻
篠原千絵「陵子の心霊事件簿」全2巻
白土三平「カムイ伝」全15巻
白土三平「サスケ」全10巻
白土三平「忍法秘話」全6巻
惣領冬実「3(THREE)」1〜4巻
惣領冬実「ボーイフレンド」全6巻
高橋留美子「めぞん一刻」1・2巻
竹宮惠子「私を月まで連れてって!」全4巻
田村由美「巴がゆく!」全5巻
つげ義春「紅い花」全1巻
つげ義春「ねじ式」全1巻

名作・傑作を網羅！一流作家のコミックス

- 手塚治虫「I・L（アイ・エル）」全1巻
- 手塚治虫「きりひと讃歌」全3巻
- 手塚治虫「グリンゴ」全2巻
- 手塚治虫「地球を呑む」全2巻
- 手塚治虫「陽だまりの樹」全8巻
- 手塚治虫「MW（ムウ）」全2巻
- 名香智子「花の美女姫」全3巻
- 萩尾望都「ゴールデンライラック」全1巻
- 萩尾望都「11月のギムナジウム」全1巻
- 萩尾望都「11人いる！」全1巻
- 萩尾望都「スター・レッド」全1巻
- 萩尾望都「とってもしあわせモトちゃん」全1巻
- 萩尾望都「半神」全1巻
- 萩尾望都「トーマの心臓」全1巻
- 萩尾望都「訪問者」全1巻

- 矢島正雄／弘兼憲史「人間交差点（ヒューマンスクランブル）」全19巻
- 藤子・F・不二雄「藤子・F・不二雄異色短編集」全4巻
- 松本零士「1000年女王」全3巻
- 松本零士「四次元世界」全1巻
- 松本零士「聖凡人伝」全6巻
- 水島新司「一球さん」1・2巻
- 吉田秋生「カリフォルニア物語」全4巻
- 吉田秋生「河よりも長くゆるやかに」全1巻
- 吉田秋生「吉祥天女」全2巻
- 吉田秋生「きつねのよめいり」全1巻
- 吉田秋生「BANANA FISH」1・2巻
- 吉田秋生「夢みる頃をすぎても」全1巻
- 吉村明美「麒麟館グラフィティー」全8巻
- 渡辺多恵子「聖14（セントフォーティーン）グラフィティ」全1巻

※以下続刊

BIG OF BIG COMICS

愛蔵版コミック

小学館叢書

ゆっくり過ぎる四季の息づかい。江戸の生活感あふれる捕物帖。成人コミックに新世界を拓いた傑作シリーズ!!
石ノ森章太郎［佐武と市捕物控］①〜④巻

青木繁にライバル意識を燃やす明治の画学生の悲劇を描く処女作、「らんぷの下」他、「だんぶりの家」「女傑往来」「すがの幸福」等を収録!!
一ノ関圭［作品集①らんぷの下］全①巻

江戸から幕末へ、変身する時代相の中に浮世絵の真実を追い求める、二代広重、その波瀾の生涯を追う!! 伝説の閨秀作家の力作!!
一ノ関圭［作品集②茶箱広重］全①巻

人間の心の奥底にひそむ憎悪、哀しみ。それが表面に行動となって現れたとき人間はどうなる? 戦慄を呼ぶ入魂の大作。
楳図かずお［おろち］全③巻

しあわせの雨が降りそそぐ…。家族愛を詩情豊かに描いた感動作「雨の音がきこえる」。他に珠玉作6編収録!!
大島弓子［短編集①雨の音がきこえる］全①巻

中年夫婦にひそむ、みせかけの愛…。男の日常にあらわれた処女邪夢「たそがれは逢魔の時間」。他に名作7編収録。
大島弓子［短編集②たそがれは逢魔の時間］全①巻

激動の昭和時代を美しくもしたたかに生き抜いた芸者・つるの半生——。昭和の絵師・上村一夫が心をこめて描いた昭和女性史!!
上村一夫［凍鶴］全①巻

天紋を持つ融明（とおるあき）。地紋を持つ露近（つゆちか）。二つの紋がそろう時…。壮大なスケールで描く幻想絵巻!!
木原敏江［風恋記（夢の碑）］全②巻

戦国乱世の時代、病弱な兄の身替わりとなり武将を演ずる紫子（ゆかりこ）の運命は!? 小学館漫画賞受賞作。
木原敏江［夢の碑（とりかえばや異聞）］全①巻

超A級の狙撃者の必殺の一弾! フィクションの背後に光る恐るべき真実…!! 作者自選の傑作、話題作を収録した必読の六冊!!
さいとう・たかを［ゴルゴ13］①〜⑥巻

徹底した封建制の下にあって、宿命と戦い、あくまでも自分の意志のとおりに生きようとする青年群像。不滅の大河史劇!!
白土三平［カムイ伝］全⑮巻

封建社会の身分制度に疑問を抱き、忍の世界を抜けたカムイ。自由への過酷な旅は続く…。鬼才・白土三平、不滅の名作!!
白土三平［カムイ外伝］全⑫巻

天下が豊臣から徳川へと傾きつつある時。両陣営の忍者たちが凄絶な死闘をくりひろげるなかに、少年忍者、サスケがいた。
白土三平［サスケ］全⑧巻

非情な世界に生きる忍者とは、いったい何者なのか!? そしてその術の秘密とは——。劇画界の巨匠・白土三平の幻の名作を完全復刻!!
白土三平［初期傑作集］①〜④巻

戦国の世、天下を握る鍵、竜煙の書の謎を追う小太郎の行く手に待つものは? そして母との再開はいつの日に…!?
白土三平［忍者旋風］全②巻

家康の命令により、豊臣の重臣殺害をはかる暗夜軒…。謎の暗殺方法「丑三」とは何か? 真田忍群、風魔、徳川忍団の死闘!!
白土三平［忍者旋風シリーズ真田剣流］全②巻

「忍」の世界を支配せんとする大丸半蔵。対抗する風魔と猿飛忍群。忍大シジマも加わり、戦いは激化する!! 巨匠の放つ傑作忍者劇画。
白土三平［忍者旋風シリーズ風魔］全①巻

群雄割拠する戦国の世、天下統一を目ざす織田信長に公然と反抗する謎の忍者・影丸!! 感動の戦国ロマン史劇。
白土三平［忍者武芸帳・影丸伝］全⑧巻

非情の掟に生きる忍者の宿命を描く異色作品集。「スガル」「大魔のガロ」「絶顆僂漢」「粉忍」「螳螂」「剣風記」など収録。
白土三平［忍法秘話］全⑤巻

時は天正年間、百地と藤林の二党からなる伊賀忍びの里に、現れた少年忍者ワタリが、非情の忍者社会に挑む傑作活劇!!
白土三平［ワタリ］全④巻

両性体の皇子ティオキアは地下に眠る古代王国の謎を解き、魔力を得ていく。だが不思議な世界を巡ったのち彼には…!?
竹宮惠子［イズアローン伝説］全⑥巻

19世紀後半、フランス——美少年二人の生き方を通して愛と性を大胆に描いた、話題の大長編ドラマ!!
竹宮惠子［風と木の詩］全⑨巻

ひとりの若者が、そのパワーと型破りの生き方で相撲界に波乱を呼ぶ…!! ちばてつや話題の傑作、立志編・風雲編、登場!!
ちばてつや［のたり松太郎］①〜⑧巻

不安、緊張、そして心地よい無力感にひたる。まさしく「夢」の増殖としか呼びようのない名作短編! つげ宇宙へ導く必読のこの一冊!!
つげ義春［ねじ式・紅い花］全①巻

町工場・長屋そして路地が続く戦後の場末。暗がりの不条理の中で爆発する青春のエネルギーを描く、傑作短編!!
つげ義春［ヨシボーの犯罪］全①巻

映画監督・伊万里大作は、変身できる美女I・Lを使って現代社会の演出を試みる。男と女の愛の姿を描く巨匠・手塚の異色短編集!!
手塚治虫［I・L（アイエル）］全①巻

小学館

現代を代表する!!
コミック作家の名作、傑作選。

手塚治虫［きりひと讃歌］全②巻
謎の奇病モンモウ病に挑む青年医師・小山内桐人。彼の直面する現実は、自らの病の罹患、そして医学界の権力争い…!!

手塚治虫［グリンゴ］全②巻
辺境の地へ左遷された商社マン日本人(ひのもとひとし)は、再起をかけて闘うが…。日本人とは何か!?を問う、巨匠、未完の絶筆!!

手塚治虫［初期傑作集］①〜⑧巻
永遠の珠玉作!!「ロストワールド」「魔法屋敷」「ファウスト」など、全てはここから始まった。今、巨匠から現代人に…!!

手塚治虫［地球を呑む］全①巻
妖しい魅力に包まれた女・ゼフィルス。彼女を見た男達はその美しさに狂い破滅していく…。雄大なスケールで迫る手塚漫画の異色作。

手塚治虫［中期傑作集］①〜⑨巻
昭和30年代、少年サンデーの誕生と共に生まれた巨匠の名作!!「スリル博士」「キャプテンken」等の傑作を収録。

手塚治虫［陽だまりの樹］全⑦巻
近代国家への陣痛にうめく動乱の江戸末期、来るべき世界を見すえるエリートの熱血と苦悩!巨匠が自らのルーツに肉迫した巨編!!

手塚治虫［M(ムウ)W］全②巻
悪とは何か!?略奪、恐喝、誘拐、詐欺、殺戮…。現代人の心に巣くう様々な悪徳の姿をコミック界の巨匠が鋭く描破!!

萩尾望都［A-A'(SF傑作選)］全①巻
一角獣種のアディは不慮の事故死。クローンとして再生するが…!?初収録作とも9編特集。

萩尾望都［感謝知らずの男］全①巻
バレエ・ダンサーのレヴィは不眠症に悩まされていた。静かな安らぎを求めて引っ越しした先の隣人に…!?表題作ほか6編を収録。

萩尾望都［トーマの心臓］全①巻
ドイツの男子全寮制高等中学校を舞台に、少年たちの透きとおるような愛と友情を描いた感動の長編!!

萩尾望都［ポーの一族］全③巻
19世紀から20世紀にかけて欧州を舞台に永遠の時間を生き続けるバンパネラ一族を描いた壮大な叙情詩!!愛と苦悩の物語。

萩尾望都［マージナル］全③巻
女のいない地球。男たちは唯一の母(マザ)から子供をもらい社会を営む。しかし、ある日マザが暗殺され…。

林 静一［赤色エレジー］全①巻
幸子の幸せは…。裸電球の下、四畳半の下宿の部屋で繰り広げられる原点の愛。七〇年代のラブストーリーが甦る!

小池一夫／平野仁［青春の尻尾］全④巻
仙人との出遭いが一人の男の人生を変えた。男は鬼界支配の術を知り、幽玄なる世界を臨む。世の変革者たり得るのか…!!

藤子・F・不二雄［藤子・F・不二雄異色短編集］全③巻
痛烈な風刺のなかに、歳月の重さと、人生のすばらしさを、しみじみと謳いあげる短編集。大人のSFショート・ショート。

古谷三敏［寄席芸人伝］①〜②巻
寄席に生きる難行苦行。涙かくして笑ってみせる生涯こそが名人芸。高座にかけた、噺家達の喜怒哀楽、まずは一席!!

松本零士［銀河鉄道999］①〜⑩巻
二十一世紀の終わり、地球からアンドロメダまで宇宙を駆けめぐる謎めく愛、ロマンの旅。一度は乗りたい銀河鉄道!!

松本零士［ザ・コクピット］全⑤巻
戦争とは?平和とは?そして青春とは何か?過酷な戦場で、男の意地と誇りをかけて戦い、消えていった男たち!!

松本零士［1000年女王］全③巻
1999年9月9日0時9分9秒…。遊星ラーメタルが地球に接近!雨森始が出会った謎の美女の使命とは未来版竹取物語。

松本零士［四次元世界］全①巻
「ヤンの生きた世界」「未完成」など、ういういしい珠玉のファンタジーロマン23編を収録した、愛と感動の傑作短編集!!

松本零士［ワダチ］全①巻
次つぎと消える街並と人々。そんななか、屋台を引いて生計を立てている四畳半の怪人・ワダチ。彼を襲う奇妙な事件!?

村上もとか［岳人(クライマー)列伝］全①巻
烈風さかまく大岩壁を、空気も凍る極寒の尾根を自らの生命までも犠牲にして、なぜ男たちは山へ。注目の異色連作!!

横山光輝［伊賀の影丸］全④巻
少年忍者影丸に、甲賀忍者の不気味な罠がしのびよる。宿敵、不死身の男・邪鬼を相手にくりひろげる一大忍者アクション!!

吉田秋生［カリフォルニア物語］全④巻
大都会の片隅に生きる若者達の心の遍歴…。病めるアメリカで突っぱって生きるヒースとその仲間たち…!!

吉田秋生［吉祥天女］全②巻
謎の少女・叶小夜子が転校してきた日から、学園は変わった。美しさとあやしい魅力で人を引きつける小夜子とは…。

■最新刊!

白土三平［初期傑作集⑤狼小僧(下)］